

消防に関する世論調査

令和2年

東京消防庁

ま え が き

「消防に関する世論調査」は、都民の防火・防災に関する意識や、消防行政に何を望んでいるかなどを把握し、質の高い行政サービスを実現することを目的として、平成元年から毎年実施しています。

この調査結果が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、防火・防災に関心のある方々のお役に立つことができれば幸いです。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大のなか、この世論調査に御協力いただいた多くの皆様に深く感謝を申し上げます。

令和 3 年 2 月

東京消防庁企画調整部広報課

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査方法	1
(4) 集計表記規則	3
(5) 回収数	4
(6) 回答者属性	5
2. 調査結果（単純集計）	11
(1) 地震に関すること	11
(2) 救急に関すること	14
(3) 防災に関すること	22
(4) 消防団に関すること	24
(5) 火災予防に関すること	28
(6) 消防に対する要望	33
(7) 記述回答	37
3. 調査結果（クロス集計）	41
(1) 地震に関すること	42
(2) 救急に関すること	46
(3) 防災に関すること	53
(4) 消防団に関すること	57
(5) 火災予防に関すること	61
(6) 消防に対する要望	65
4. 資 料	
(1) 調査票	71
(2) 調査地点一覧	84
(3) 東京消防庁に関するご意見やご提案	85

1. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、都民の消防行政や防災に対する認識、日頃の防災体制の実態や消防行政に対する意見や要望などを把握し、今後の消防行政施策立案の基礎知識とすることを目的とする。

本調査は平成元年より毎年実施しており、今回で 32 回目となる。

(2) 調査内容

本調査では、以下の項目について調査を行った。

- I 地震に関すること
- II 救急に関すること
- III 防災に関すること
- IV 消防団に関すること
- V 火災予防に関すること
- VI 消防に対する要望

(3) 調査方法

調査の概要は以下のとおり。

①標本母集団及び調査対象抽出数

東京都在住（稲城市および島しょ地域を除く）の満 18 歳以上男女個人とし、抽出数は 3,000 人とした。

②標本抽出方法

層化二段無作為抽出法とした。

■第 1 段階：調査地点の抽出

東京都を下表のように 12 の地域に分け、それぞれの人口（令和 2 年 1 月 1 日現在）に応じ、全 250 地点（町丁目）を比例配分した。各地域内の調査地点は等間隔抽出法により決定した。調査地点の詳細は「4.資料（2）調査地点一覧」を参照。

■第 2 段階：調査対象者の抽出

該当する調査地点の区市町村の住民基本台帳から、1 地点につき 12 人を等間隔で抽出した。

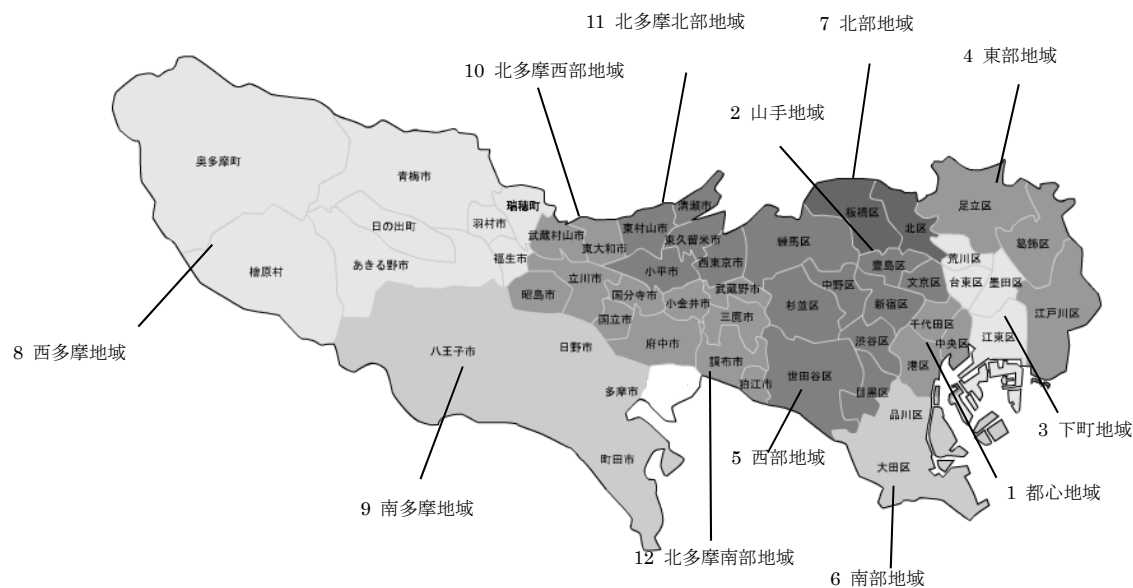
③調査期間等

令和 2 年 12 月 10 日から令和 2 年 12 月 25 日まで

調査票送付

郵送回収及びインターネット回答方式

12 地域	区市町村
①都心地域	千代田区 中央区 港区
②山手地域	新宿区 文京区 渋谷区 豊島区
③下町地域	台東区 墨田区 江東区 荒川区
④東部地域	足立区 葛飾区 江戸川区
⑤西部地域	練馬区 中野区 杉並区 世田谷区 目黒区
⑥南部地域	大田区 品川区
⑦北部地域	北区 板橋区
⑧西多摩地域	青梅市 福生市 羽村市 あきる野市 瑞穂町 日の出町 檜原村 奥多摩町
⑨南多摩地域	八王子市 町田市 日野市 多摩市
⑩北多摩西部地域	立川市 昭島市 国分寺市 国立市 東大和市 武蔵村山市
⑪北多摩北部地域	小平市 東村山市 清瀬市 東久留米市 西東京市
⑫北多摩南部地域	武蔵野市 三鷹市 府中市 調布市 小金井市 狛江市



標本抽出の際の対象地域区分図

※満年齢の扱い（満 18 歳以上）

西暦 2002 年 1 月 1 日（平成 14 年 1 月 1 日）以前の住民基本台帳記載生年月日者を対象とした。

※人口数の扱い

東京都ホームページ「東京都の統計」「住民基本台帳による世帯と人口：住民基本台帳による東京都と世帯と人口 令和 2 年 1 月」を用いた。

(4) 集計表記規則

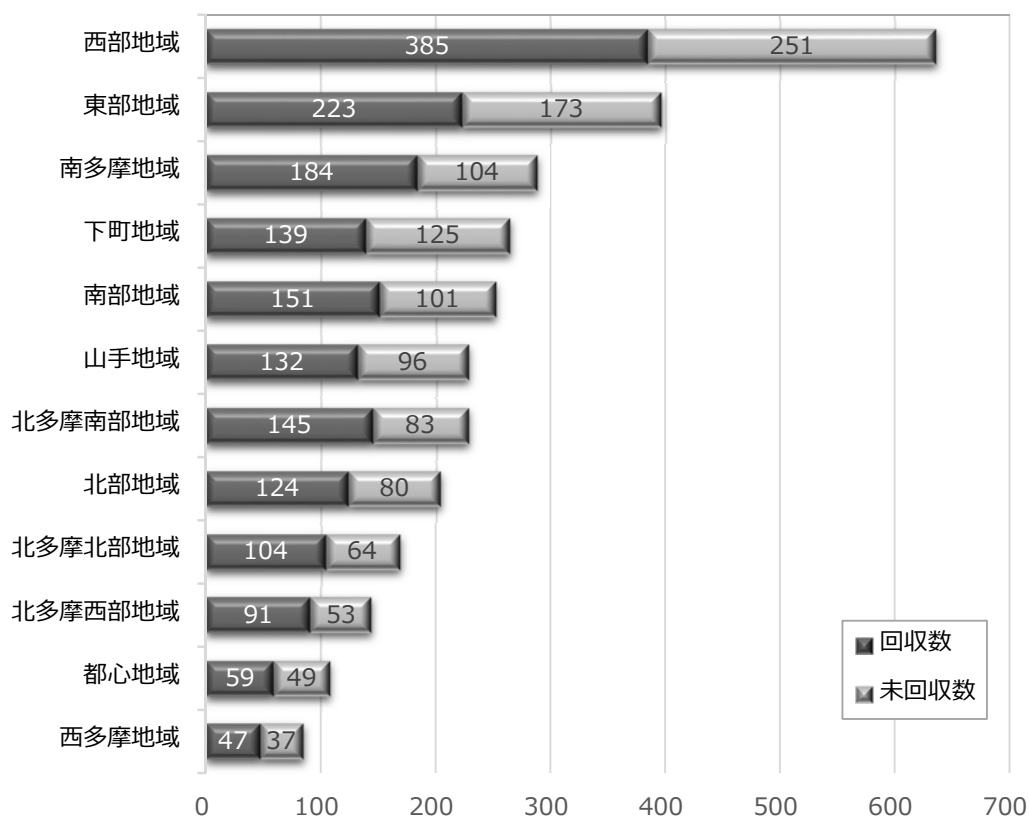
本報告書の集計結果表記規則を以下に記載する。

- 調査対象者（母集団 N=3,000）に対し、1,784 の回答を得た。（n=1,784）
表およびグラフの中の「n」は、各設問に対する回答比率の基数として示す。
- 母数「n」を基に算出した数値は百分率で表記し、小数点第 2 位を四捨五入している。
そのため、内訳合計が全体の計に一致しないことがあるが、表記上は「100.0」としている。
- 無回答の扱いについて
単一回答の設問の場合、無回答数は表およびグラフに表記する。
複数回答可の設問の場合、回答数から無回答数を引いた数値を母数「n」として扱い、無回答は表およびグラフに表記しない。
- 過去年度との比較について
一部設問において、必ずしも同じ条件下（回答項目内容、回答項目数）でない場合があり、その際の年度比較は参考として扱うこととする。
- 記述回答の扱いについて
記述回答は原文のまま記載を原則とするが、集計上、同じ意味合いの回答については要約しているものもある。
- 調査対象は 18 歳以上であるが、10 代は件数が少ないため、クロス集計においては、20 代とまとめ、「10 代・20 代」とした。

(5) 回収数

発送数 N=3,000 票、回収数 n=1,784（回収率 59.5%）であった。地域ごとの配布数および回収数、回収比率は以下のとおり。

地 域	配布数	回収数	回収率 (%)
都 心 地 域	108	59	54.6
山 手 地 域	228	132	57.9
下 町 地 域	264	139	52.7
東 部 地 域	396	223	56.3
西 部 地 域	636	385	60.5
南 部 地 域	252	151	59.9
北 部 地 域	204	124	60.8
西 多 摩 地 域	84	47	56.0
南 多 摩 地 域	288	184	63.9
北 多 摩 西 部 地 域	144	91	63.2
北 多 摩 北 部 地 域	168	104	61.9
北 多 摩 南 部 地 域	228	145	63.6
全 体(※)	3,000	1,784	59.5



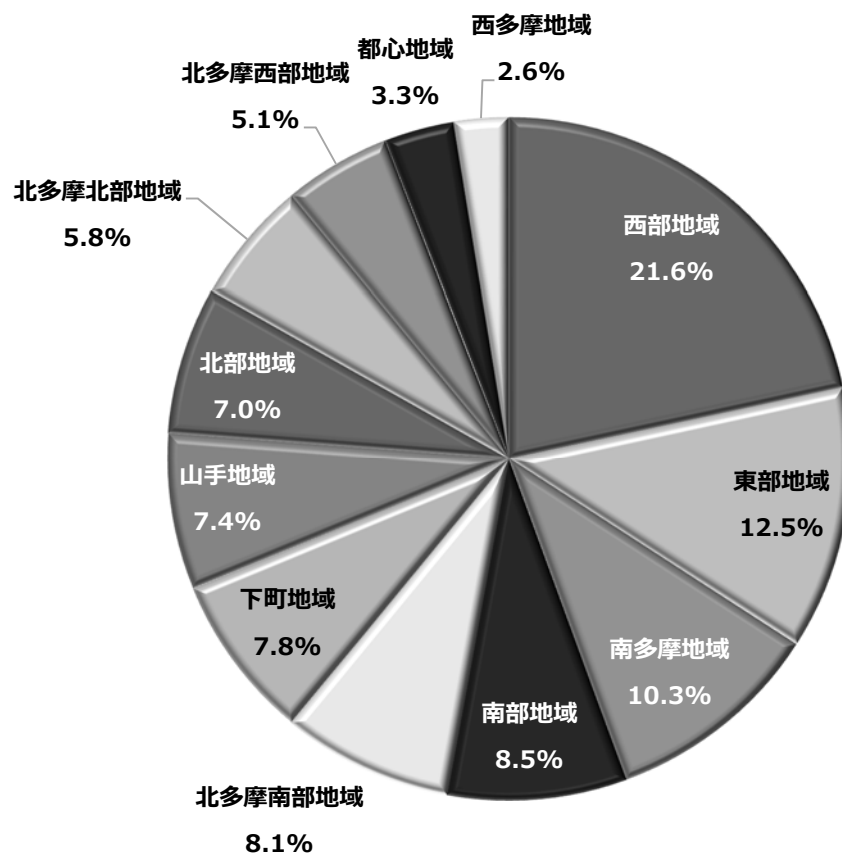
※回答方法（郵送及びインターネット）の内訳：全回収数 1,784 件のうち、郵送による回答は 1,261 件（70.7%）、インターネットによる回答は 523 件（29.3%）

(6) 回答者属性

回答者の属性に関する調査結果は以下のとおりである。

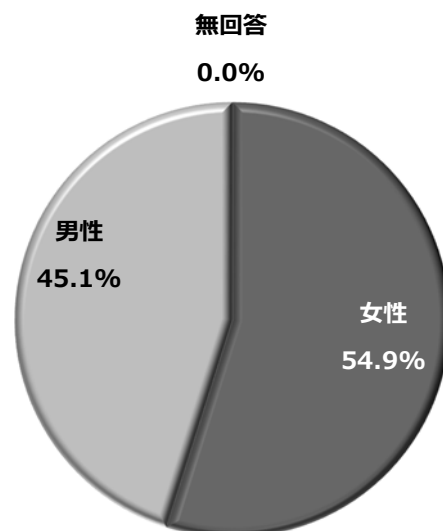
①居住地

	人数	割合(%)		人数	割合(%)
都 心 地 域	59	3.3	北 部 地 域	124	7.0
山 手 地 域	132	7.4	西 多 摩 地 域	47	2.6
下 町 地 域	139	7.8	南 多 摩 地 域	184	10.3
東 部 地 域	223	12.5	北 多 摩 西 部 地 域	91	5.1
西 部 地 域	385	21.6	北 多 摩 北 部 地 域	104	5.8
南 部 地 域	151	8.5	北 多 摩 南 部 地 域	145	8.1
			全 体	1,784	100.0



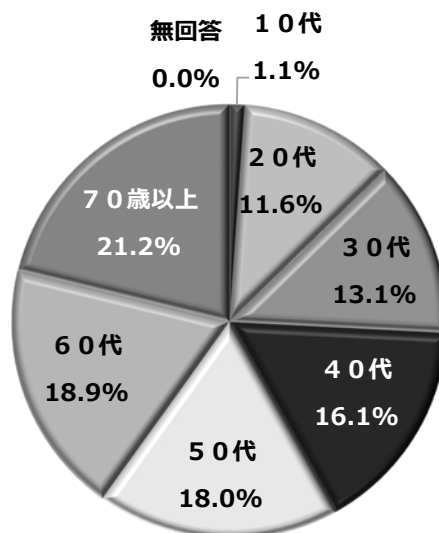
②性 別

	件 数	割合(%)
男性	805	45.1
女性	979	54.9
無回答	0.0	0.0
全 体	1,784	100



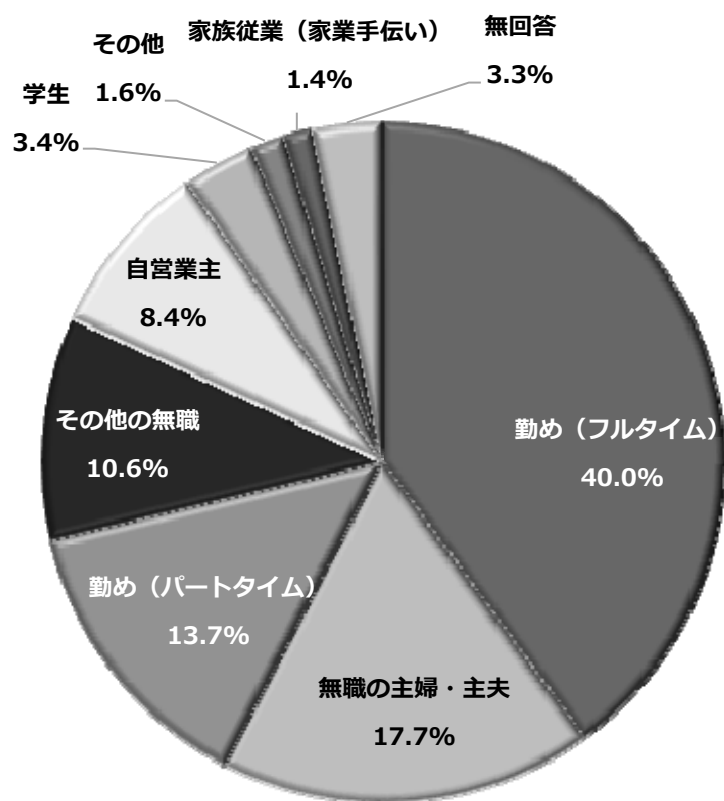
③年 齢

	件 数	割合(%)
1 0代	20	1.1
2 0代	207	11.6
3 0代	233	13.1
4 0代	287	16.1
5 0代	322	18.0
6 0代	337	18.9
7 0歳以上	378	21.2
無回答	0	0.0
全 体	1,784	100.0



④職 業

	件 数	割合(%)
自営業主	150	8.4
家族従業（家業手伝い）	25	1.4
勤め（フルタイム）	713	40.0
勤め（パートタイム）	244	13.7
無職の主婦・主夫	316	17.7
学生	60	3.4
その他の無職	189	10.6
その他	28	1.6
無回答	59	3.3
全体	1,784	100.0

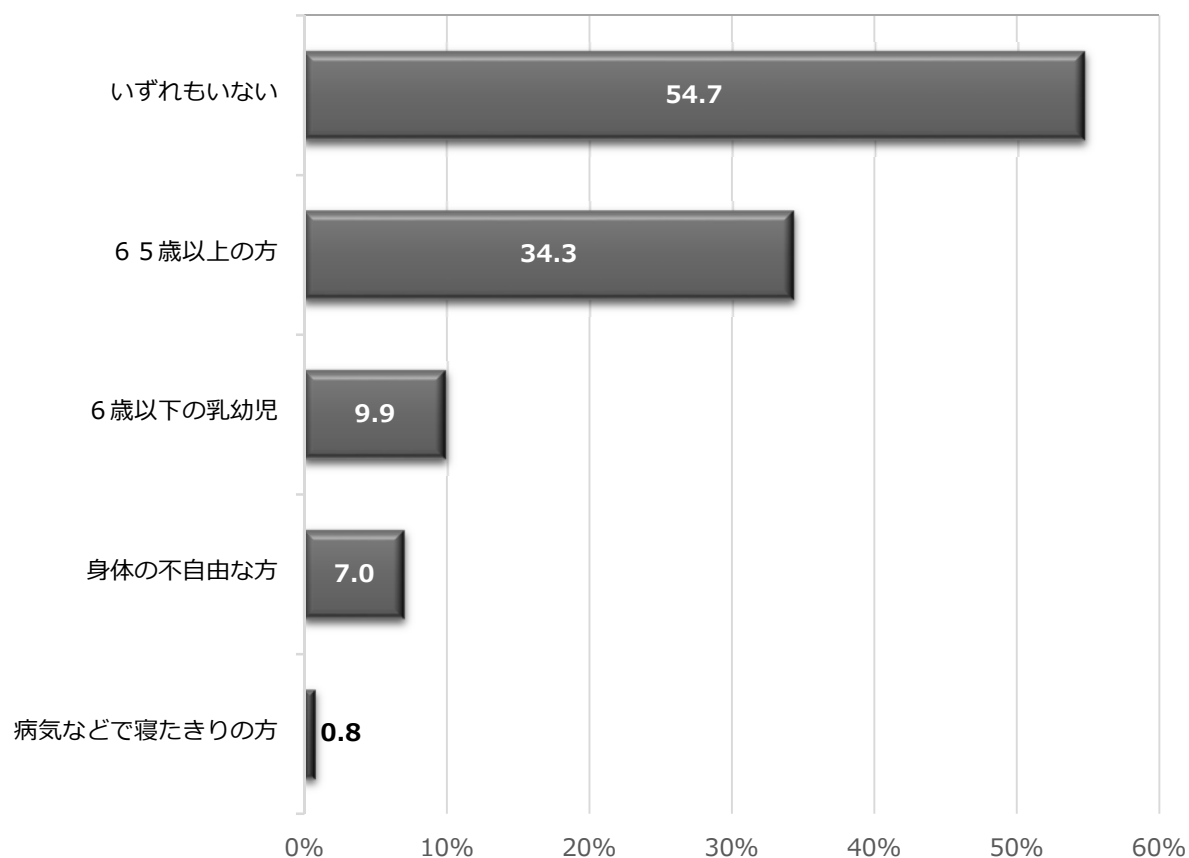


⑤世帯構成

	件 数	割合(%)
6歳以下の乳幼児	168	9.9
65歳以上の方	583	34.3
病気などで寝たきりの方	13	0.8
身体の不自由な方	119	7.0
いずれもいない	930	54.7
全 体	1,700	100.0

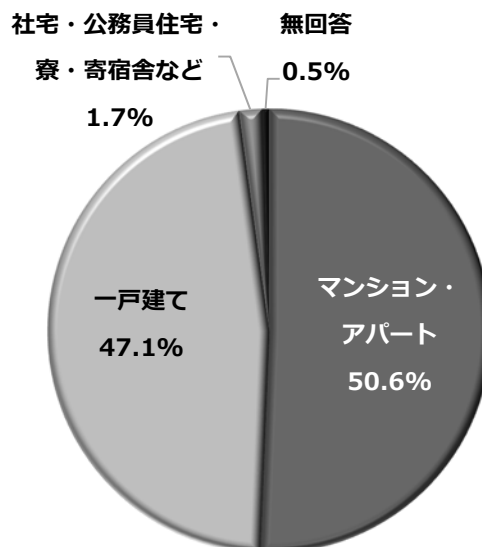
※割合は回答者総数（1,784件）から無回答（84件）を除いた回答者数（n = 1,700）に対する件数の割合

※複数回答



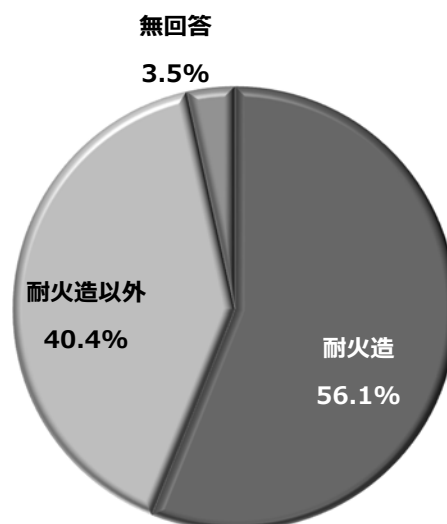
⑥居住形態

	件 数	割合(%)
一戸建て	841	47.1
マンション・アパート	903	50.6
社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	31	1.7
無回答	9	0.5
全 体	1,784	100.0



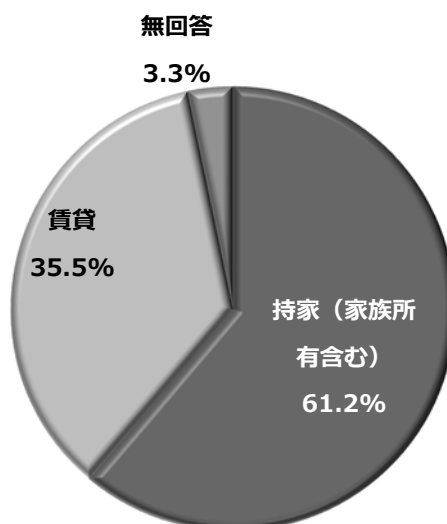
⑦建物構造

	件 数	割合(%)
耐火造	1,001	56.1
耐火造以外	720	40.4
無回答	63	3.5
全 体	1,784	100.0



⑧所有区分

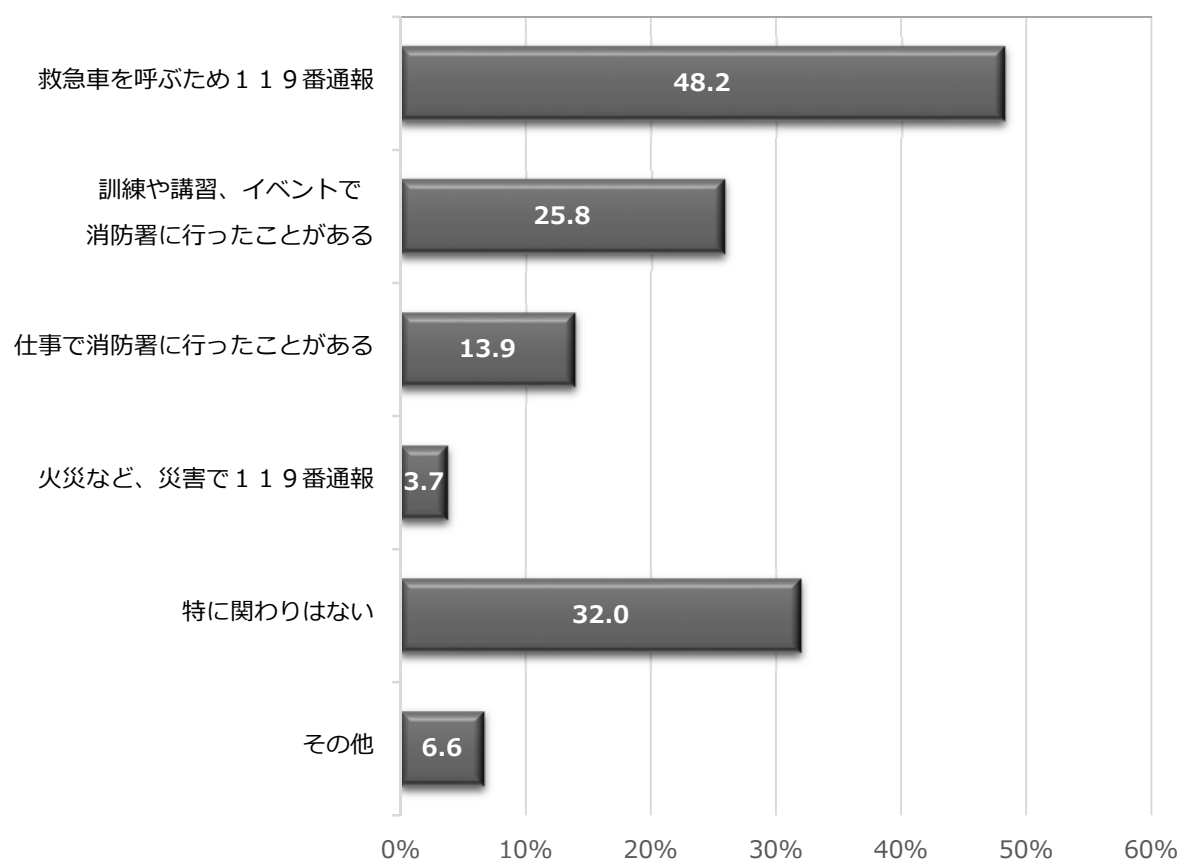
	件 数	割合(%)
持家（家族所有含む）	1,092	61.2
賃貸	633	35.5
無回答	59	3.3
全 体	1,784	100.0



⑨消防との関わり

	件 数	割合(%)
救急車を呼ぶため１１９番通報をしたことがある	812	48.2
火災など、災害で１１９番通報をしたことがある	63	3.7
仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）	234	13.9
訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある	435	25.8
特に関わりはない	540	32.0
その他	111	6.6
全 体	1,686	100.0

※複数回答



2. 調査結果（単純集計）

2. 調査結果（単純集計）

（1） 地震に関すること

■大地震発生時の行動等について

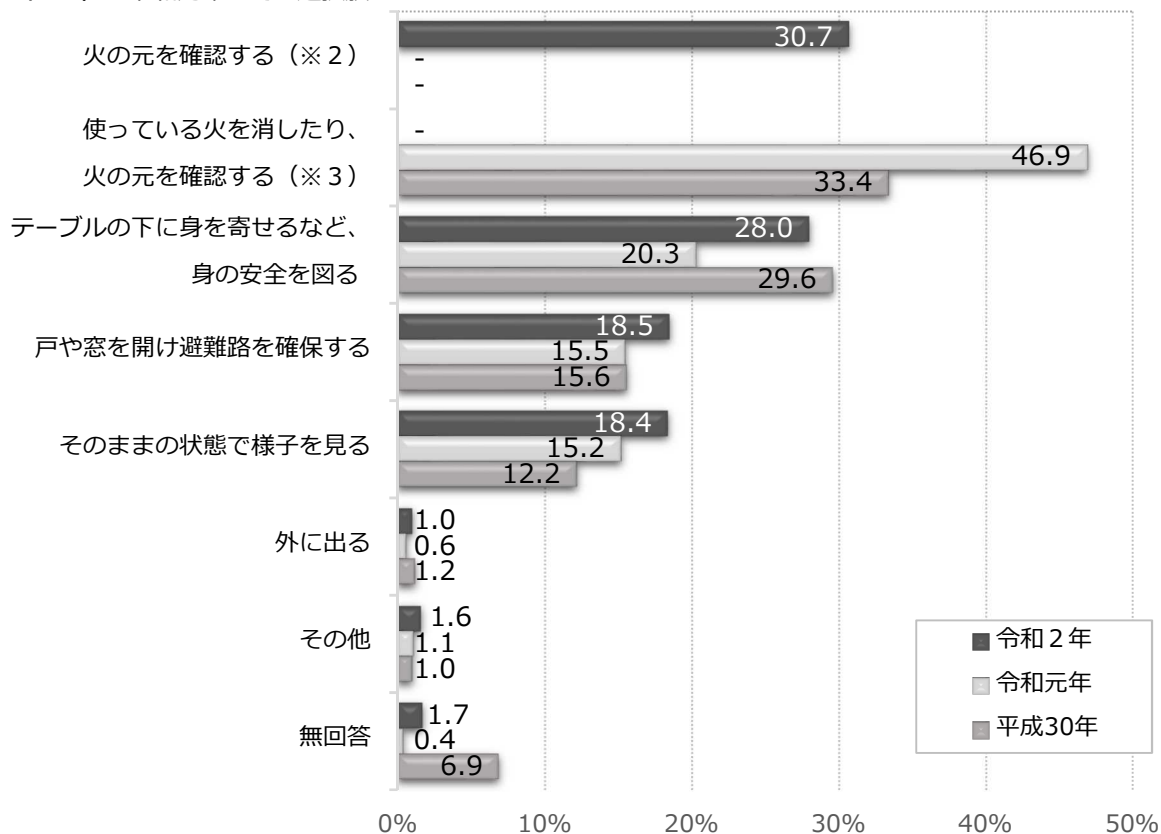
Q 1 あなたが家でテレビを見ている時、大きな揺れを感じました。（※1）あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

	平成 30 年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和 2 年 (n=1,784)
火の元を確認する（※2）	-	-	30.7
使っている火を消したり、火の元を確認する（※3）	33.4	46.9	-
テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る	29.6	20.3	28.0
戸や窓を開け避難路を確保する	15.6	15.5	18.5
そのままの状態様子を見る	12.2	15.2	18.4
外に出る	1.2	0.6	1.0
その他	1.0	1.1	1.6
無回答	6.9	0.4	1.7

（※1）令和元年のみ、「あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな揺れがくることを示す緊急地震速報がテレビ、携帯電話、スマートフォンなどから流れました。」

（※2）は令和2年新規の選択肢

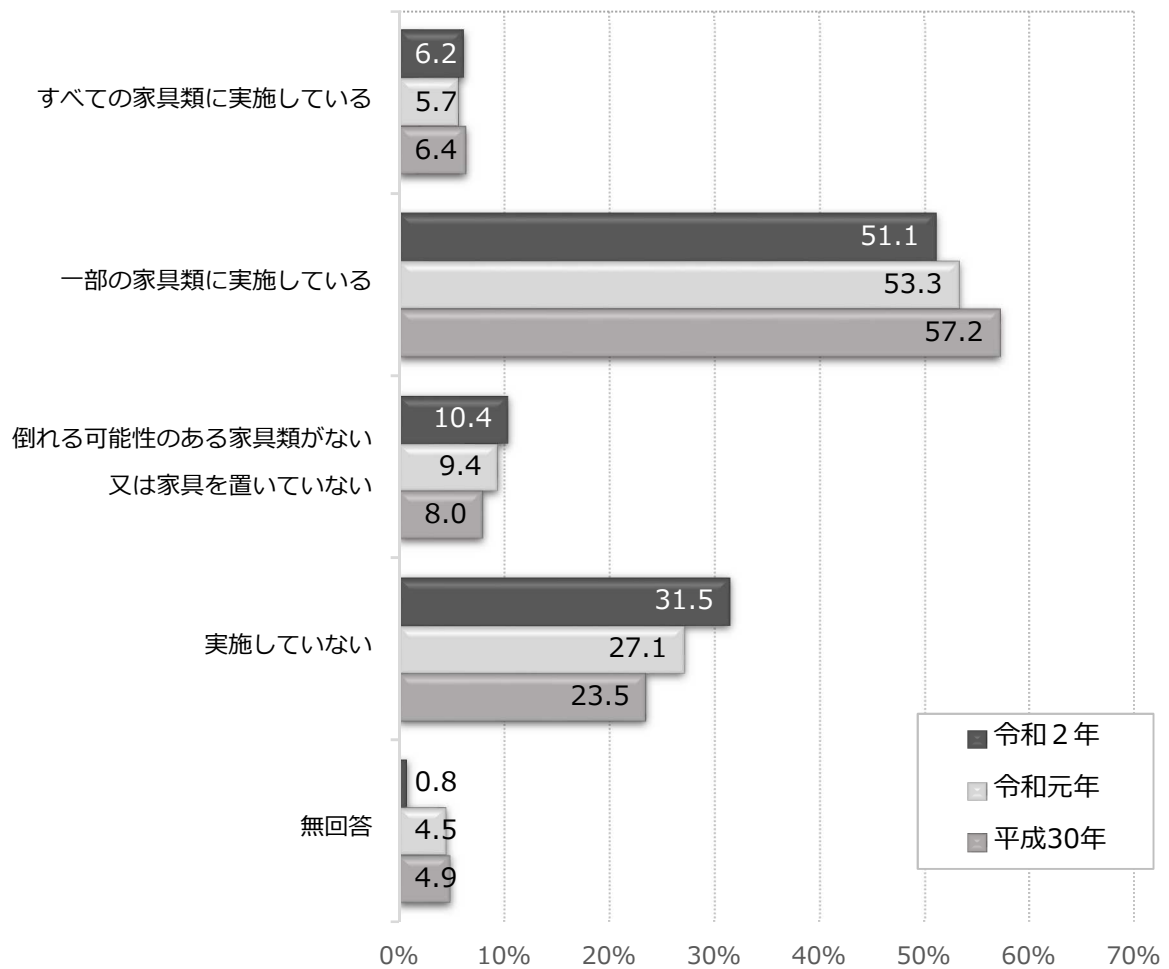
（※3）は令和元年までの選択肢



■家庭での地震に対する備えについて

Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

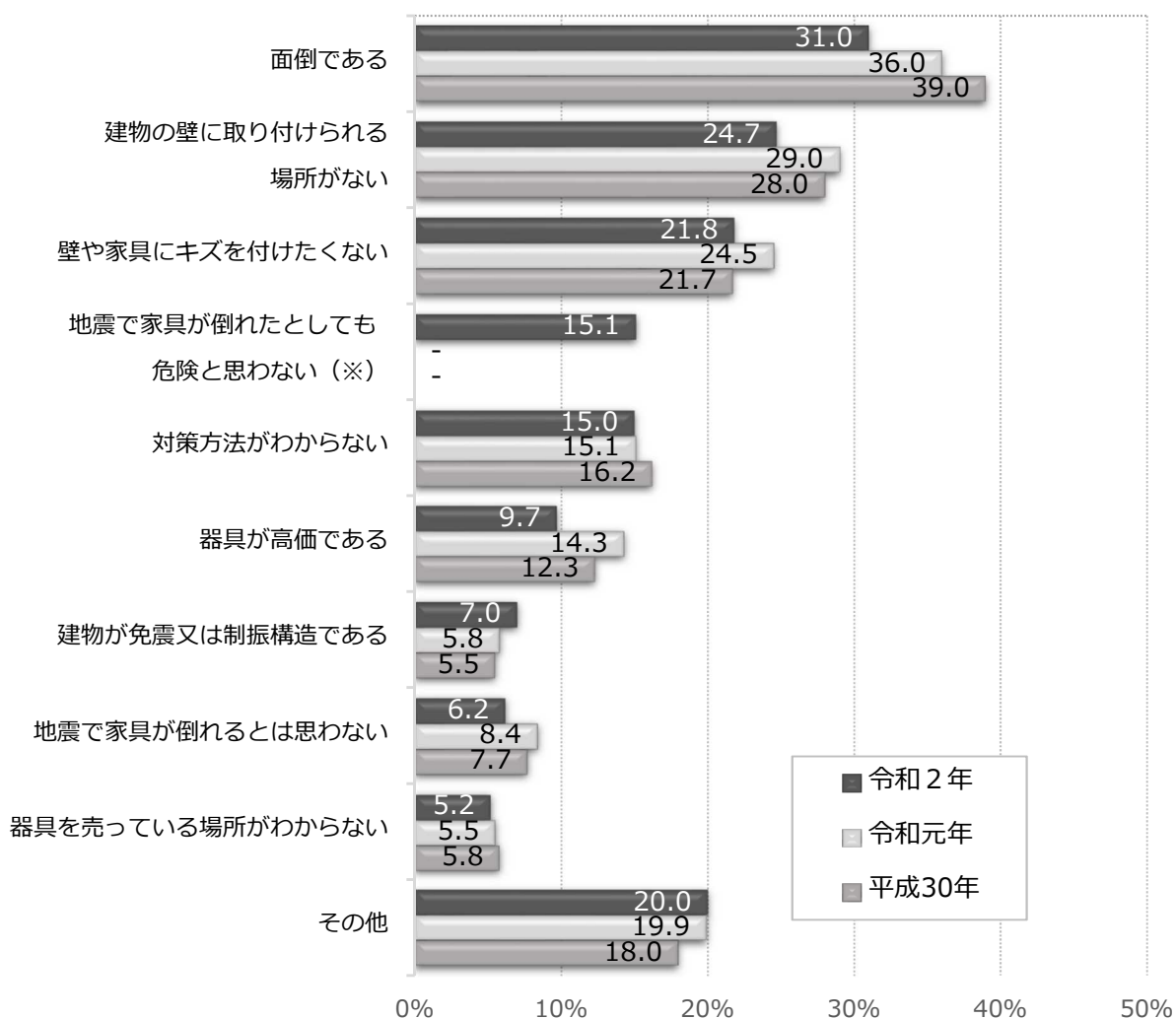
	平成30年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和2年 (n=1,784)
すべての家具類に実施している	6.4	5.7	6.2
一部の家具類に実施している	57.2	53.3	51.1
倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない	8.0	9.4	10.4
実施していない	23.5	27.1	31.5
無回答	4.9	4.5	0.8



Q 3 Q 2で「一部の家具類に実施している」又は「実施していない」を選んだ方にお聞きます。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

	平成 30 年 (n=1,204)	令和元年 (n=1,130)	令和 2 年 (n=1,456)
面倒である	39.0	36.0	31.0
建物の壁に取り付けられる場所がない	28.0	29.0	24.7
壁や家具にキズを付けたくない	21.7	24.5	21.8
地震で家具が倒れたとしても危険と思わない（※）	-	-	15.1
対策方法がわからない	16.2	15.1	15.0
器具が高価である	12.3	14.3	9.7
建物が免震又は制振構造である	5.5	5.8	7.0
地震で家具が倒れるとは思わない	7.7	8.4	6.2
器具を売っている場所がわからない	5.8	5.5	5.2
その他	18.0	19.9	20.0

（※）は令和 2 年新規の選択肢



(2) 救急に関すること

■今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方について

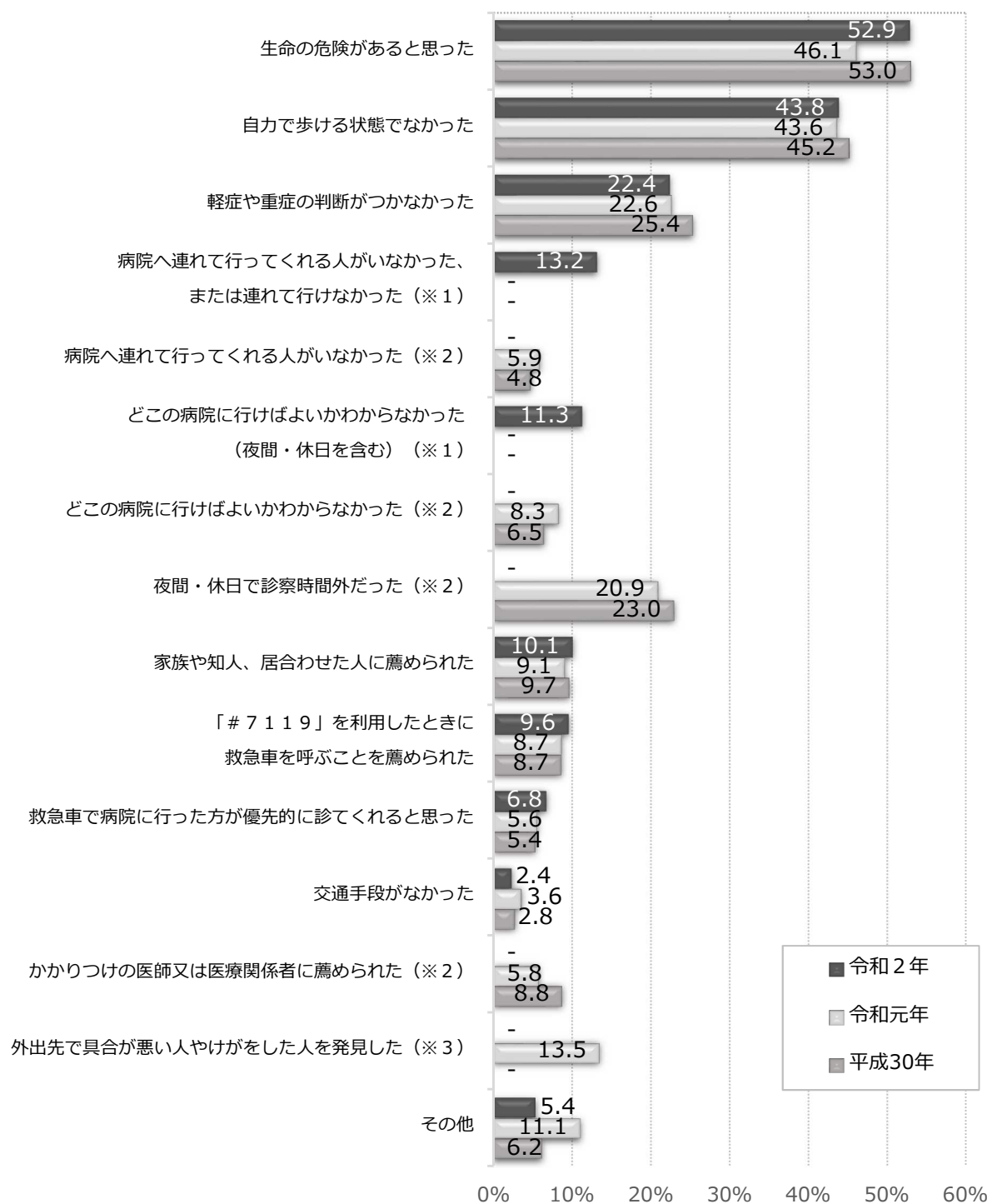
Q 4 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成 30 年 (n=826)	令和元年 (n=809)	令和 2 年 (n=874)
生命の危険があったと思った	53.0	46.1	52.9
自力で歩ける状態でなかった	45.2	43.6	43.8
軽症や重症の判断がつかなかった	25.4	22.6	22.4
病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった(※1)	-	-	13.2
病院へ連れて行ってくれる人がいなかった(※2)	4.8	5.9	-
どこの病院に行けばよいかわからなかった(夜間・休日を含む)(※1)	-	-	11.3
どこの病院に行けばよいかわからなかった(※2)	6.5	8.3	-
夜間・休日で診察時間外だった(※2)	23.0	20.9	-
家族や知人、居合わせた人に薦められた	9.7	9.1	10.1
「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた	8.7	8.7	9.6
救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った	5.4	5.6	6.8
交通手段がなかった	2.8	3.6	2.4
かかりつけの医師又は医療関係者に薦められた(※2)	8.8	5.8	-
外出先で具合が悪い人やけがをした人を発見した(※3)	-	13.5	-
その他	6.2	11.1	5.4

(※1) は令和2年新規の選択肢

(※2) は令和元年までの選択肢

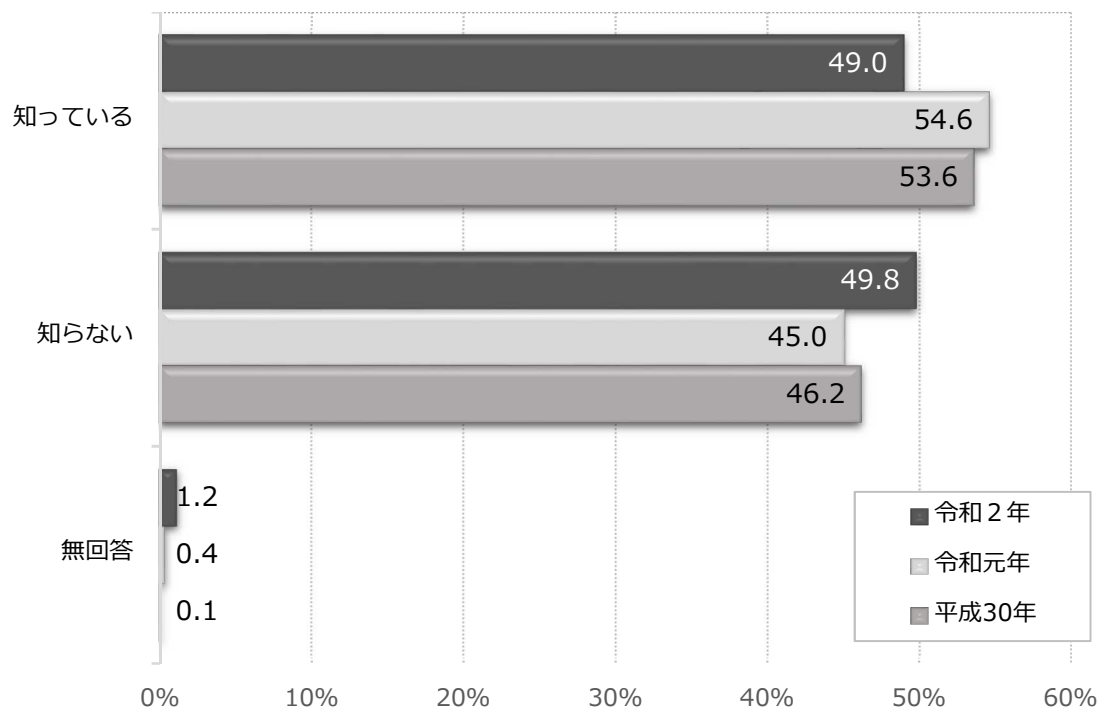
(※3) は令和元年のみの選択肢



■「東京消防庁救急相談センター」及び「東京版救急受診ガイド」に関することについて

Q 5 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「# 7 1 1 9※」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

	平成 30 年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和 2 年 (n=1,784)
知っている	53.6	54.6	49.0
知らない	46.2	45.0	49.8
無回答	0.1	0.4	1.2



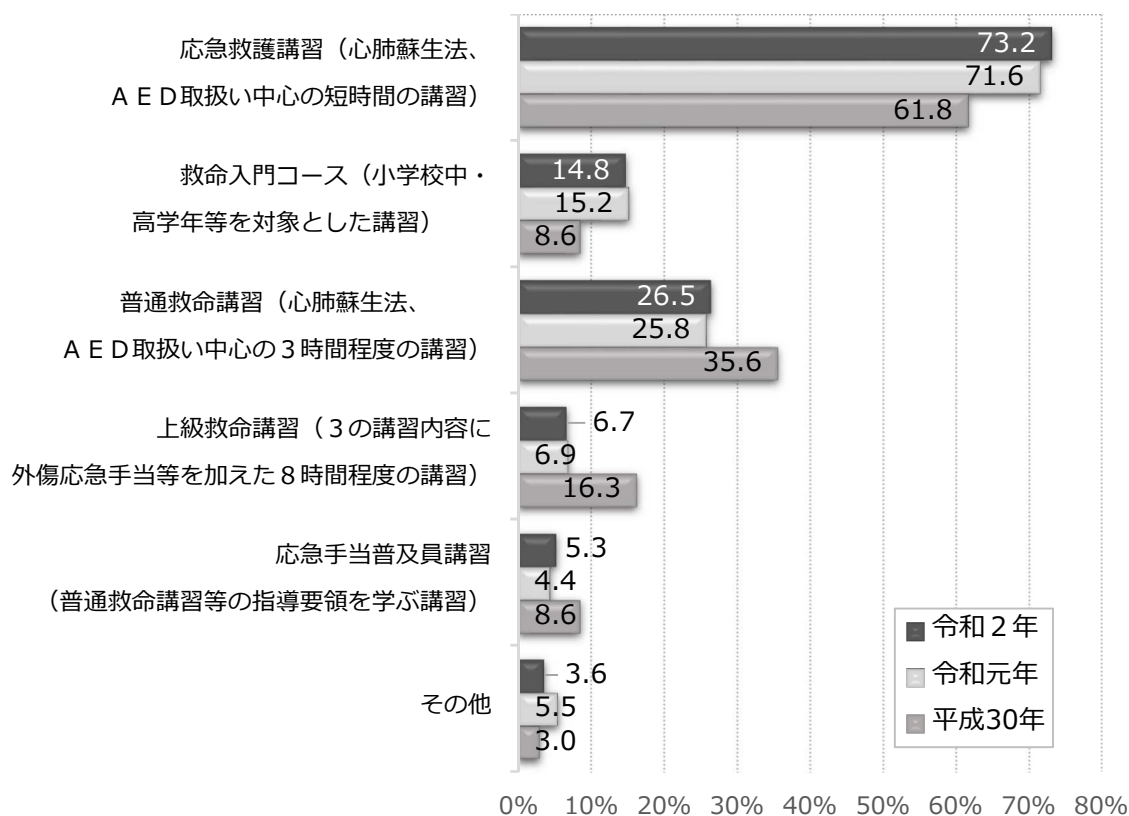
※「# 7 1 1 9」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京消防庁救急受診ガイド」を総称したものです。

■ 応急手当について

Q 6 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成 30 年 (n=233)	令和元年 (n=613)	令和 2 年 (※) (n=831)	令和 2 年 (n=1,775)
応急救護講習（心肺蘇生法、A E D 取扱い 中心の短時間の講習）	61.8	71.6	73.2	34.3
救命入門コース（小学校中・高学年等を対 象とした講習）	8.6	15.2	14.8	6.9
普通救命講習（心肺蘇生法、A E D 取扱い 中心の 3 時間程度の講習）	35.6	25.8	26.5	12.4
上級救命講習（3 の講習内容に外傷応急手 当等を加えた 8 時間程度の講習）	16.3	6.9	6.7	3.2
応急手当普及員講習（普通救命講習等の指 導要領を学ぶ講習）	8.6	4.4	5.3	2.5
受けたことがない (※)	-	-	-	52.7
その他	3.0	5.5	3.6	1.7

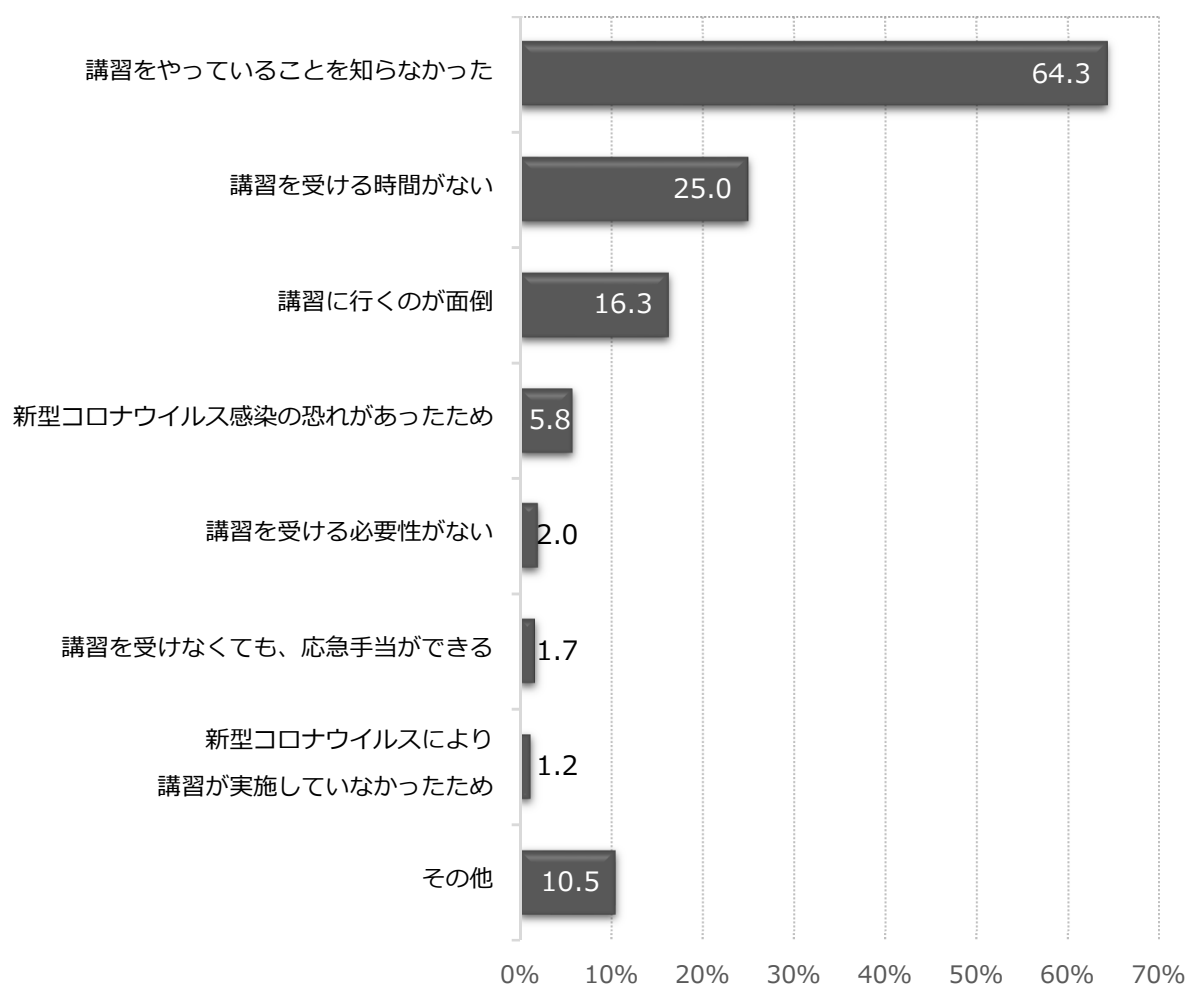
(※) 令和 2 年より、選択肢「受けたことがない」を追加。経年比較のため、「受けたことがない」を回答したサンプルを外して集計したものも掲載



Q 7 Q 6で「受けたことがない」を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けない理由を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=928)
講習をやっていることを知らなかった	64.3
講習を受ける時間がない	25.0
講習に行くのが面倒	16.3
新型コロナウイルス感染の恐れがあったため	5.8
講習を受ける必要性がない	2.0
講習を受けなくても、応急手当ができる	1.7
新型コロナウイルスにより講習が実施していなかったため	1.2
その他	10.5

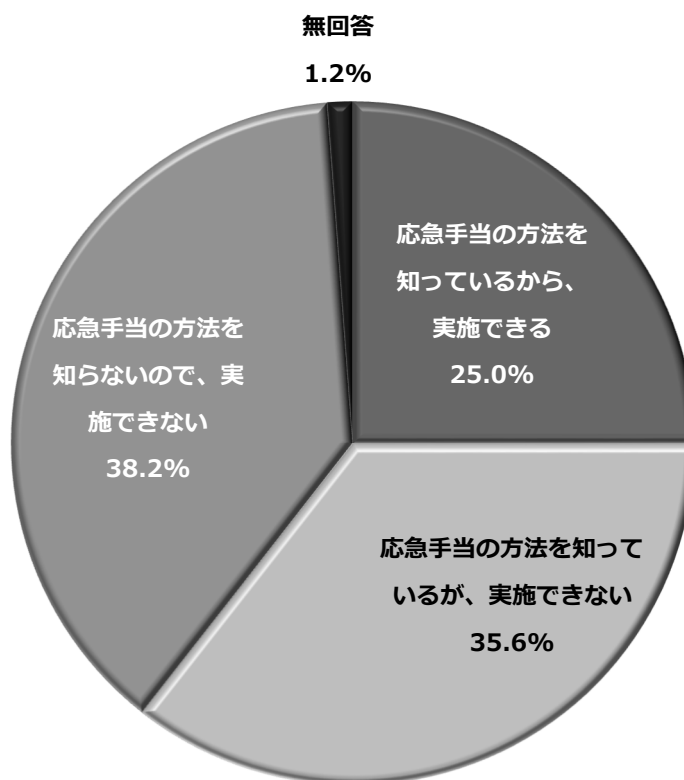


Q 8 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは応急手当のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。なお、ここでいう応急手当とは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、A E D（自動体外式除細動器）のことを指します。

※令和2年新規の設問

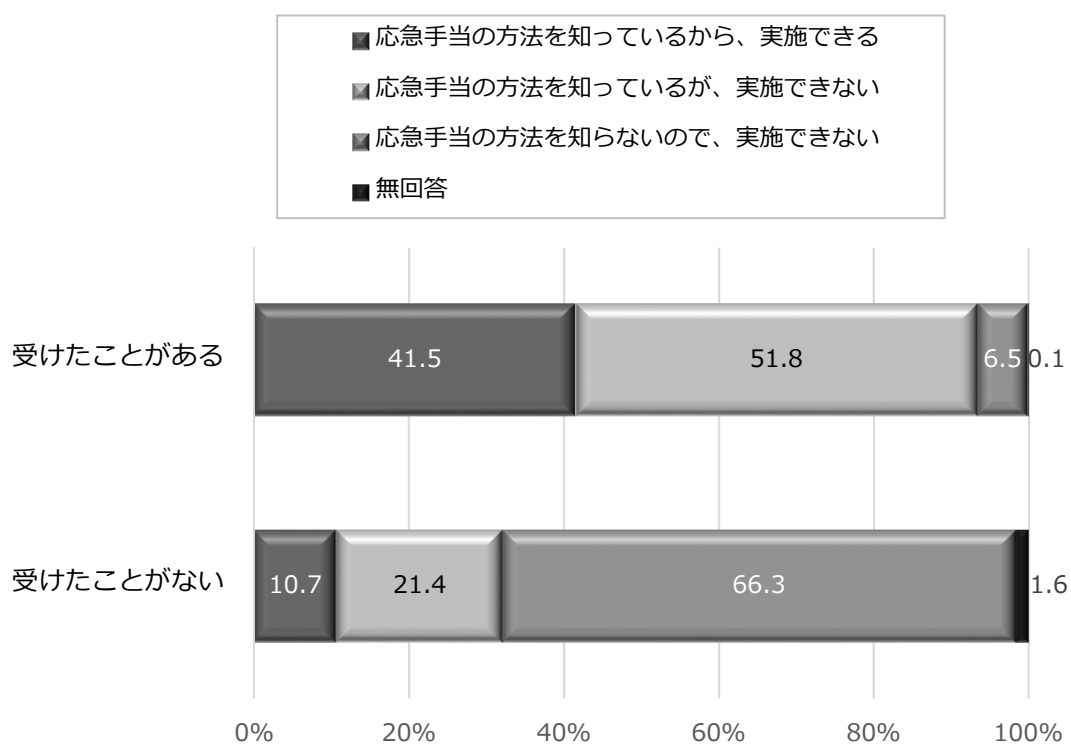
※前年までは「あなたの周りの人が急病やけがをしたとき、あなたにできる応急手当を、次の中からいくつでも選んでください」という設問であった。選択肢にあつては、「声をかけるなど励ます」、「毛布をかけるなどして保温する」や「何もしない」などであった。

	令和2年 (n=1,784)
応急手当の方法を知っているから、実施できる	25.0
応急手当の方法を知っているが、実施できない	35.6
応急手当の方法を知らないので、実施できない	38.2
無回答	1.2



【参考：応急手当講習の受講有無（Q6）毎の集計】

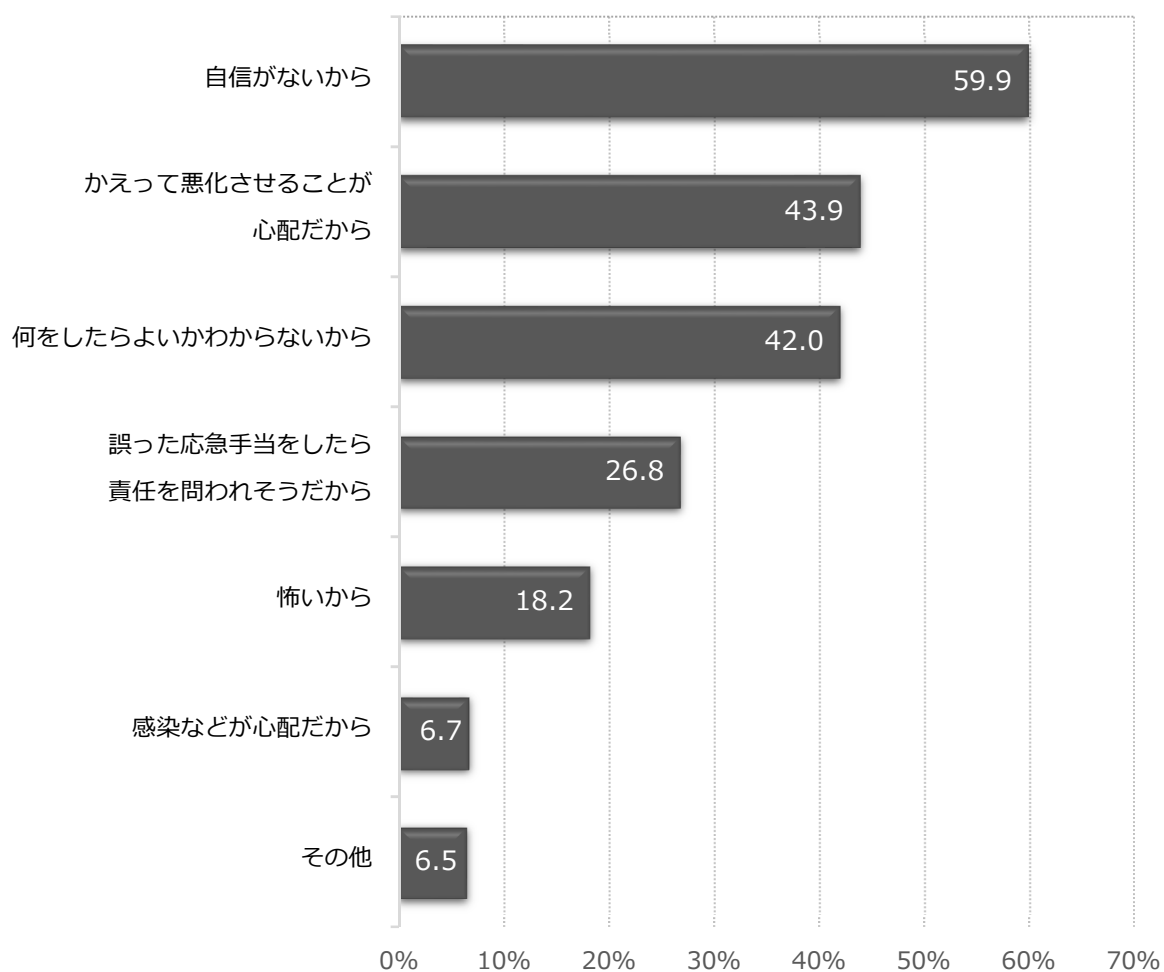
	受けたことがある (n=814) ※ 無回答 1 件	受けたことがない (n=935) ※ 無回答 15 件
応急手当の方法を知っているから、実施できる	41.5	10.7
応急手当の方法を知っているが、実施できない	51.8	21.4
応急手当の方法を知らないなので、実施できない	6.5	66.3
無回答	0.1	1.6



Q 9 Q 8で「応急手当の方法を知っているが、実施できない」又は「応急手当の方法を知らないので、実施できない」を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当をできない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=1,311)
自信がないから	59.9
かえって悪化させることが心配だから	43.9
何をしたらよいかわからないから	42.0
誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから	26.8
怖いから	18.2
感染などが心配だから	6.7
その他	6.5



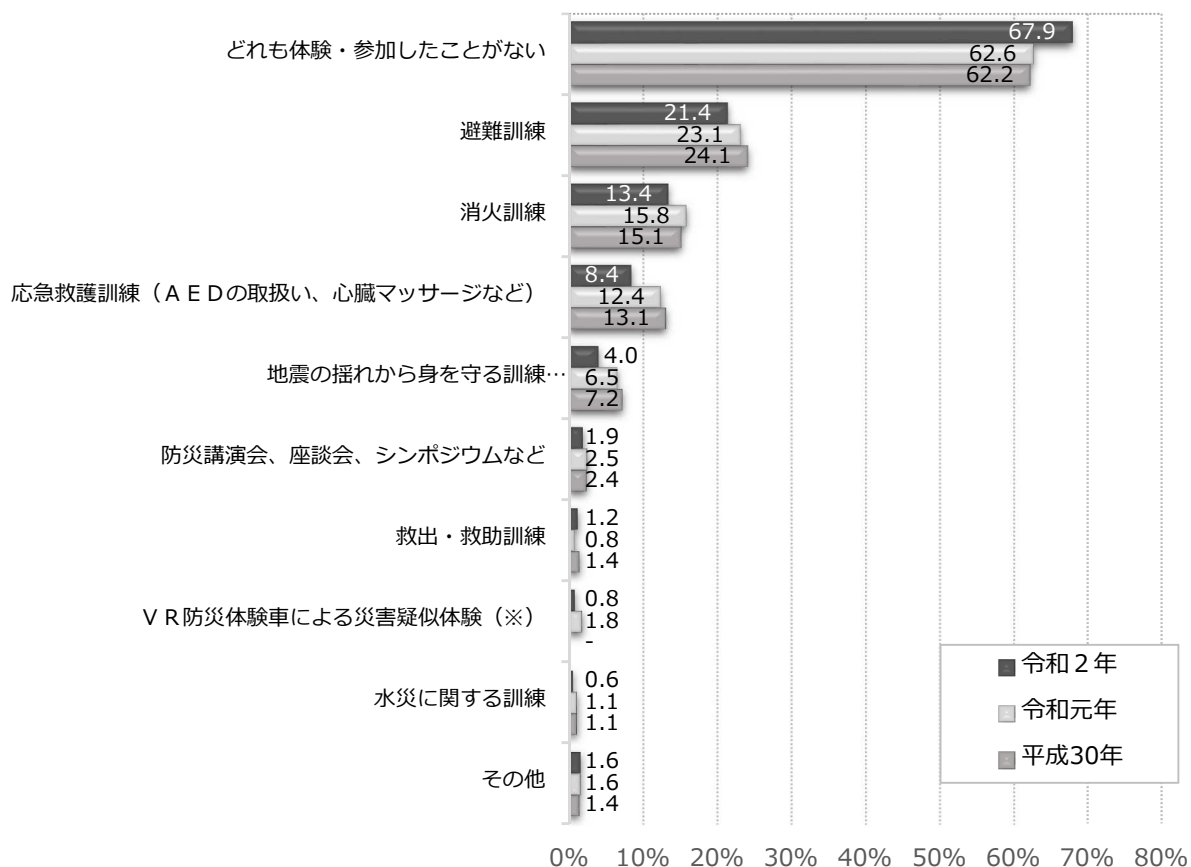
(3) 防災に関すること

■ 防火防災訓練などについて

Q10 あなたが最近1年間で参加したことがある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなど
はありますか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成30年 (n=1,521)	令和元年 (n=1,418)	令和2年 (n=1,772)
どれも体験・参加したことがない	62.2	62.6	67.9
避難訓練	24.1	23.1	21.4
消火訓練	15.1	15.8	13.4
応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）	13.1	12.4	8.4
地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）	7.2	6.5	4.0
防災講演会、座談会、シンポジウムなど	2.4	2.5	1.9
救出・救助訓練	1.4	0.8	1.2
V R防災体験車による災害疑似体験（※）	-	1.8	0.8
水災に関する訓練	1.1	1.1	0.6
その他	1.4	1.6	1.6

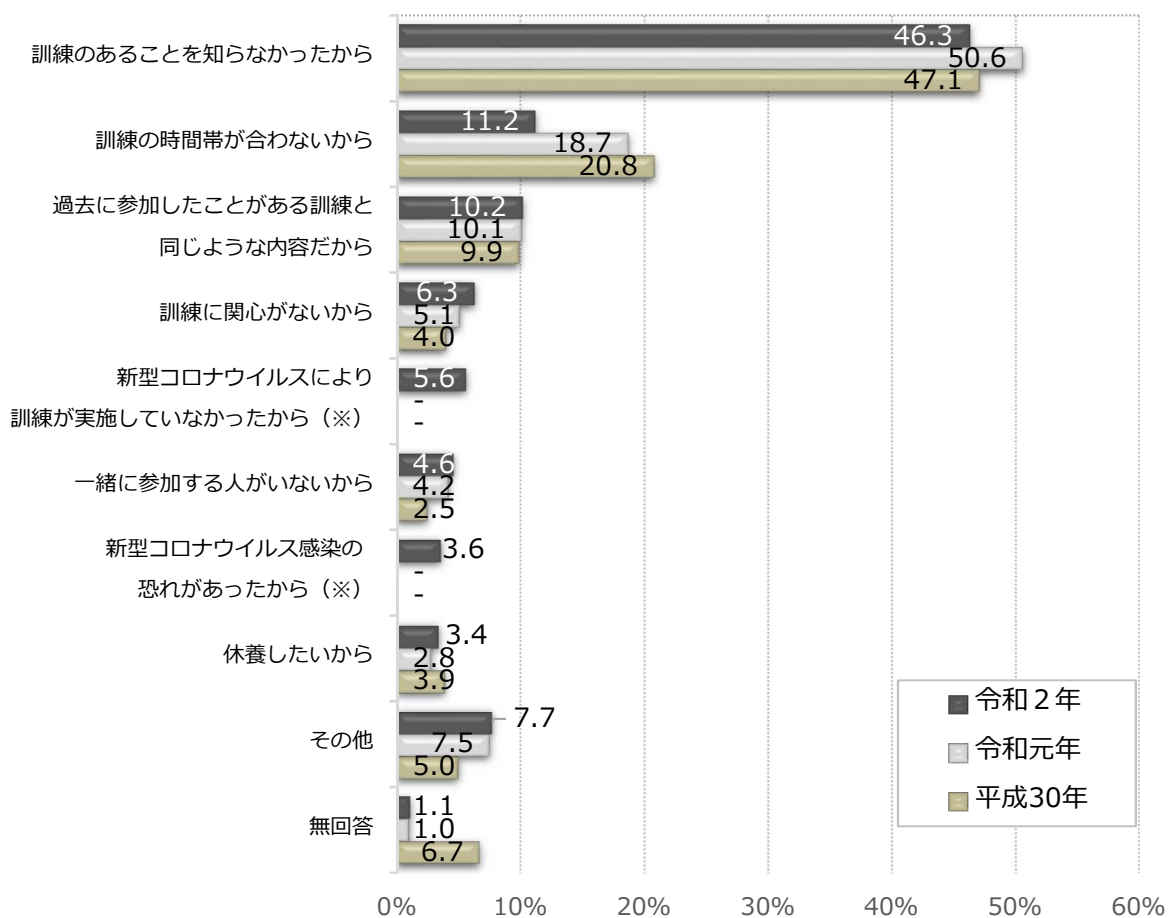
（※）は令和元年からの選択肢



Q11 Q10で「どれも体験・参加したことがない」を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=946)	令和元年 (n=888)	令和2年 (n=1,204)
訓練のあることを知らなかったから	47.1	50.6	46.3
訓練の時間帯が合わないから	20.8	18.7	11.2
過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから	9.9	10.1	10.2
訓練に関心がないから	4.0	5.1	6.3
新型コロナウイルスにより訓練が実施していなかったから（※）	-	-	5.6
一緒に参加する人がいないから	2.5	4.2	4.6
新型コロナウイルス感染の恐れがあったから（※）	-	-	3.6
休養したいから	3.9	2.8	3.4
その他	5.0	7.5	7.7
無回答	6.7	1.0	1.1

（※）は令和2年新規の選択肢



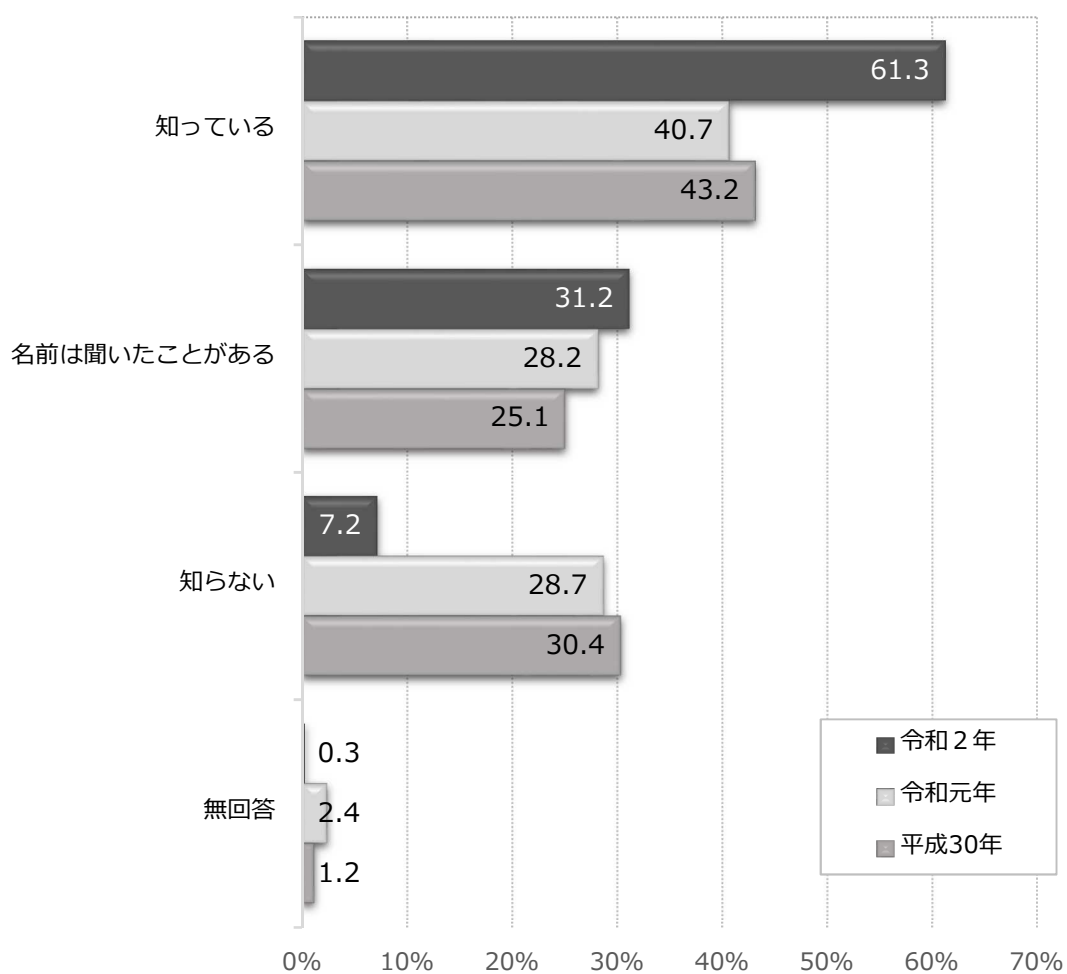
(4) 消防団に関すること

■消防団について

Q12 消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

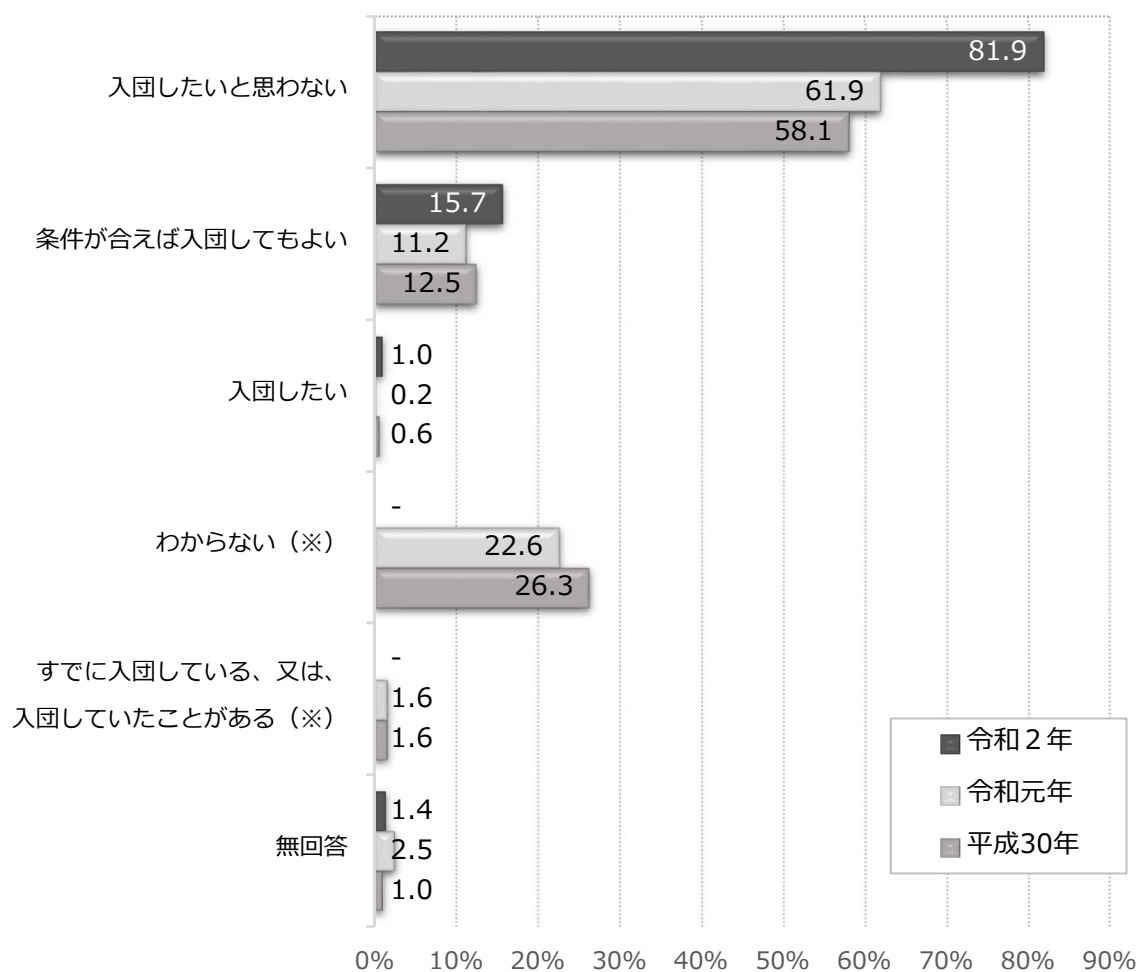
	平成 30 年 (n=1,521)	令和元年 (n=1,448)	令和 2 年 (n=1,784)
知っている	43.2	40.7	61.3
名前は聞いたことがある	25.1	28.2	31.2
知らない	30.4	28.7	7.2
無回答	1.2	2.4	0.3



Q13 Q12で「知っている」又は「名前は聞いたことがある」を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=1,047)	令和元年 (n=998)	令和2年 (n=1,650)
入団したいと思わない	58.1	61.9	81.9
条件が合えば入団してもよい	12.5	11.2	15.7
入団したい	0.6	0.2	1.0
わからない(※)	26.3	22.6	-
すでに入団している、又は、入団していたことがある(※)	1.6	1.6	-
無回答	1.0	2.5	1.4

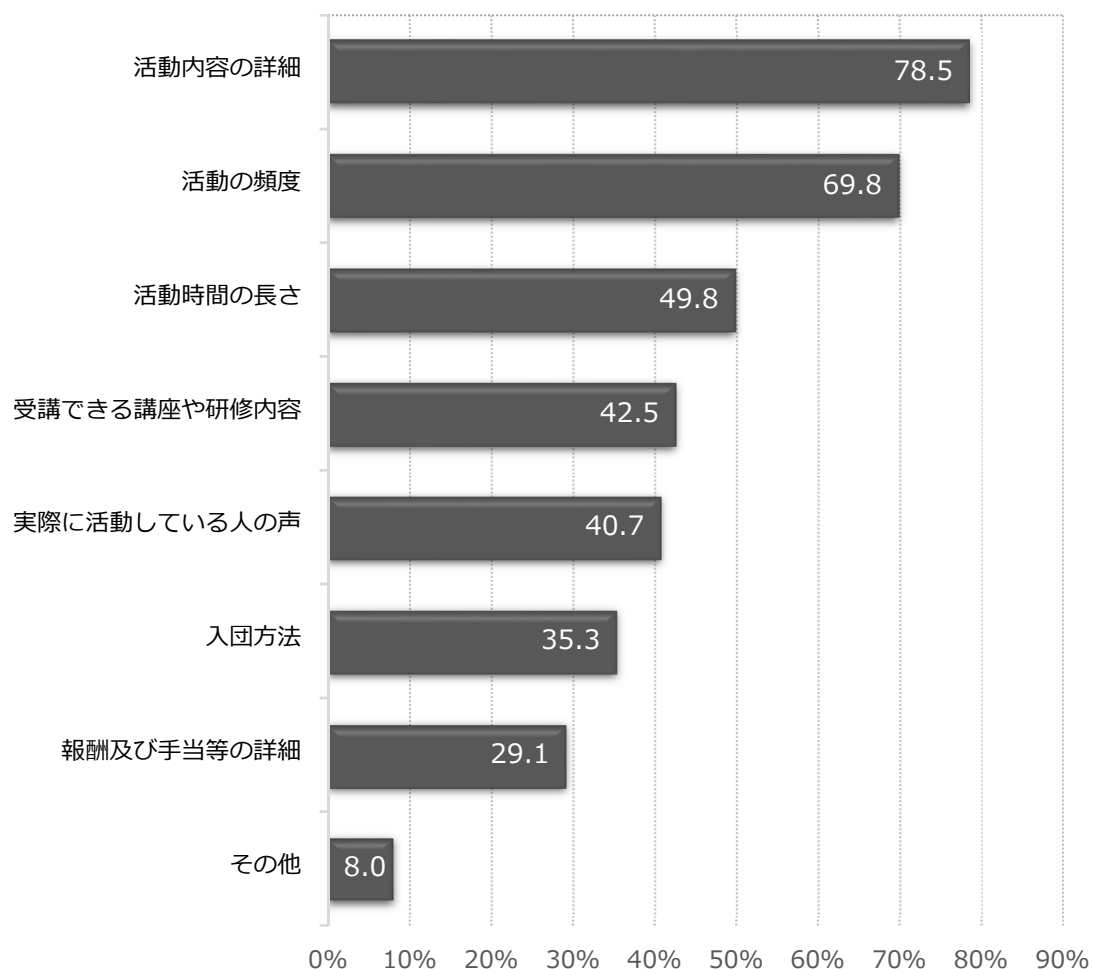
(※) は令和元年までの選択肢



Q14 Q13 で「入団したい」又は「条件が合えば入団してもよい」を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するとしたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

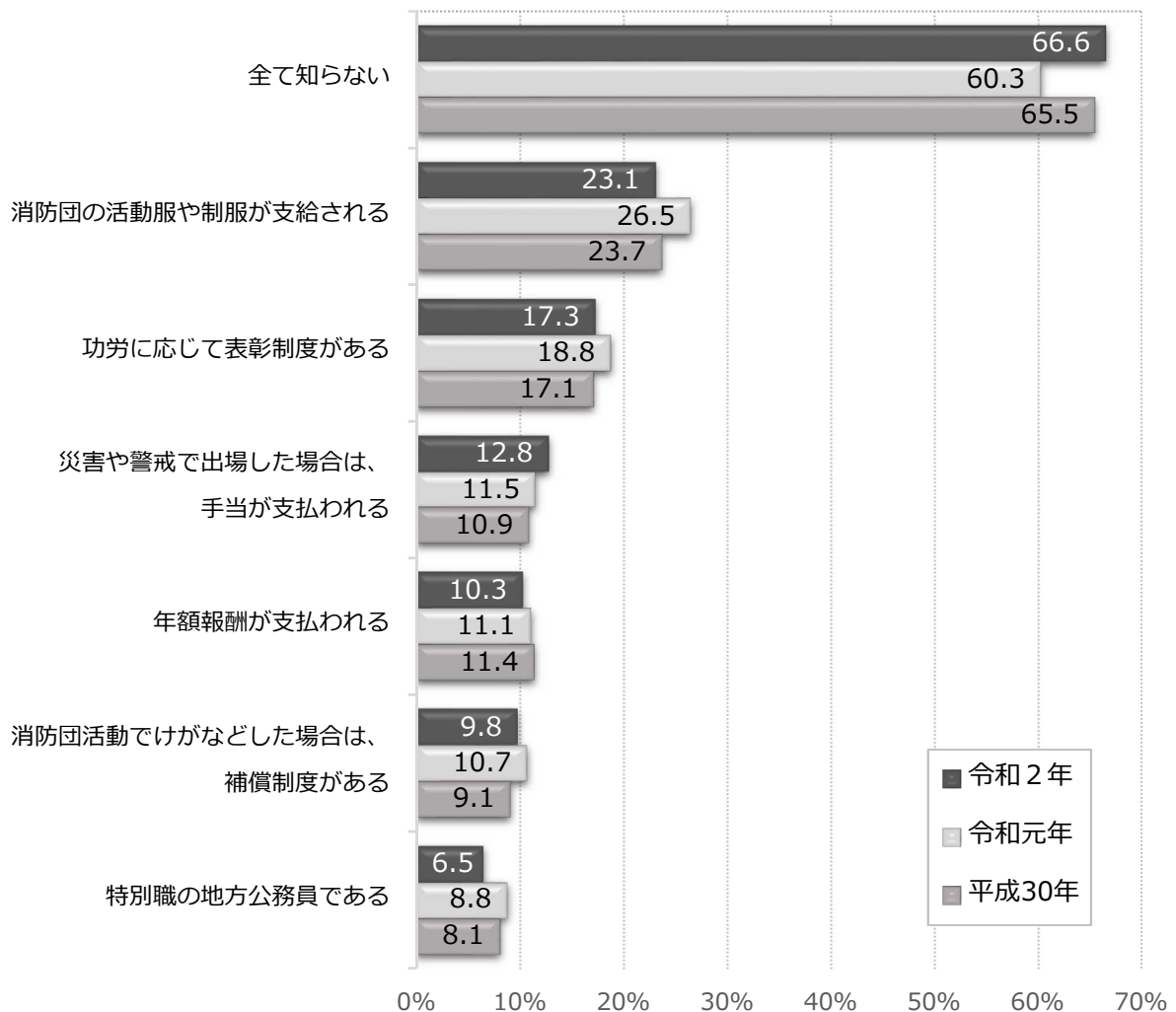
※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=275)
活動内容の詳細	78.5
活動の頻度	69.8
活動時間の長さ	49.8
受講できる講座や研修内容	42.5
実際に活動している人の声	40.7
入団方法	35.3
報酬及び手当等の詳細	29.1
その他	8.0



Q15 次の内容は消防団員の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	平成 30 年 (n=1,501)	令和元年 (n=968)	令和 2 年 (n=1,761)
全て知らない	65.5	60.3	66.6
消防団の活動服や制服が支給される	23.7	26.5	23.1
功労に応じて表彰制度がある	17.1	18.8	17.3
災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる	10.9	11.5	12.8
年額報酬が支払われる	11.4	11.1	10.3
消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある	9.1	10.7	9.8
特別職の地方公務員である	8.1	8.8	6.5

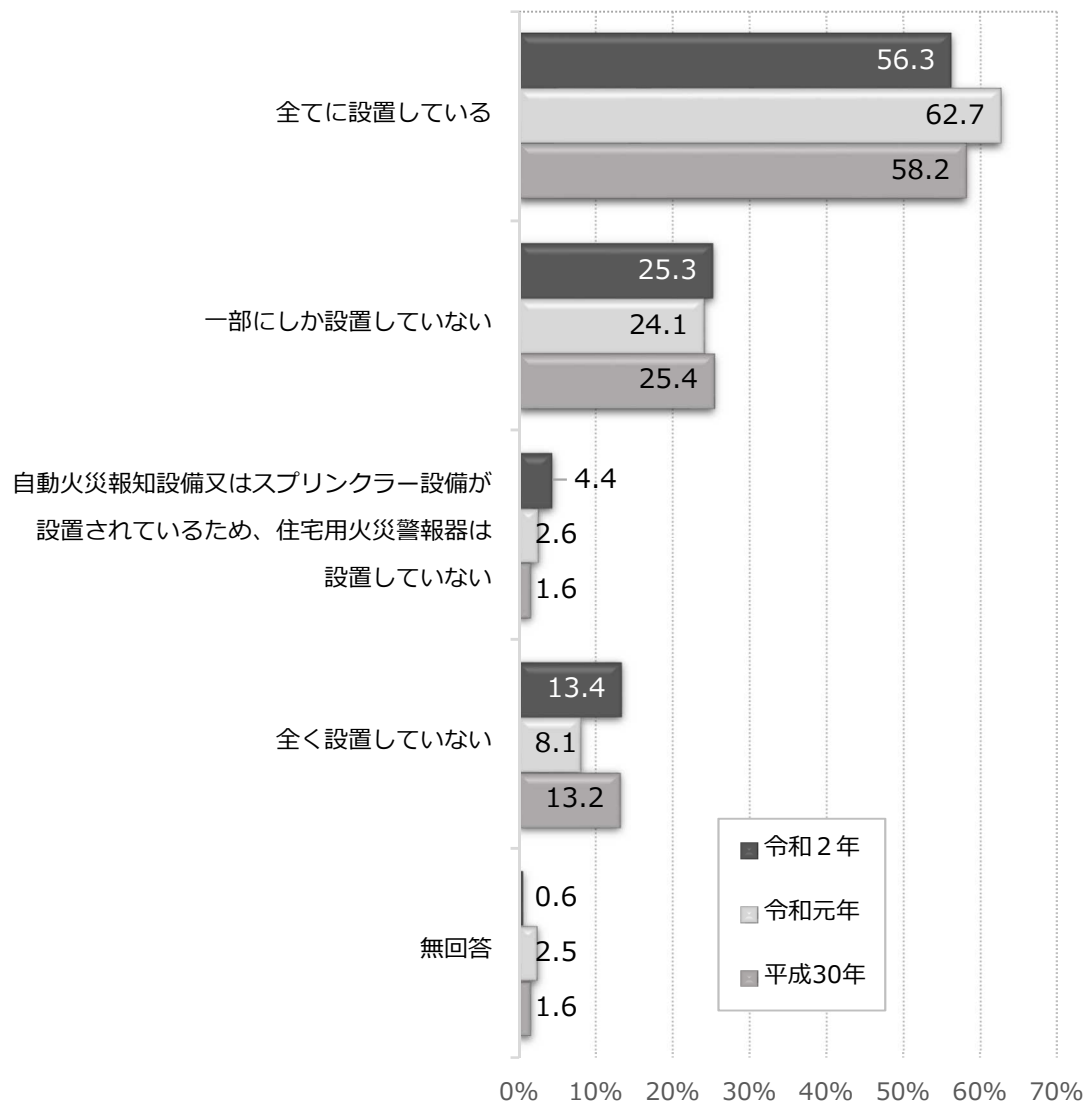


(5) 火災予防に関すること

■住宅用火災警報器について

Q16 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

	平成30年 (n=1,531)	令和元年 (n=1,448)	令和2年 (n=1,784)
全てに設置している	58.2	62.7	56.3
一部にしか設置していない	25.4	24.1	25.3
自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない	1.6	2.6	4.4
全く設置していない	13.2	8.1	13.4
無回答	1.6	2.5	0.6

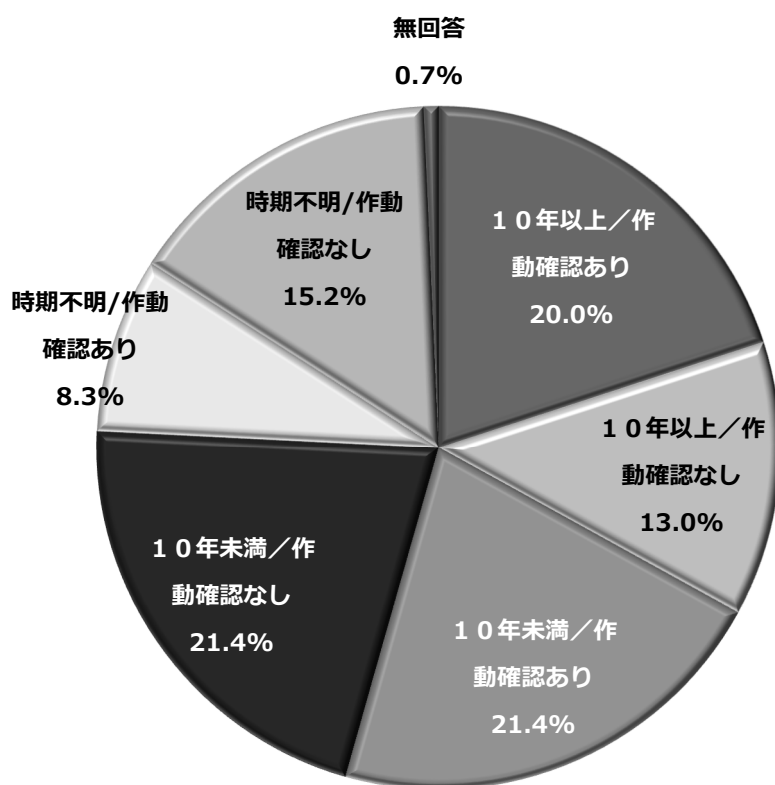


Q17 あなたはこれまでお住まいの住宅用火災警報器の作動確認※を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。（Q16で「全てに設置している」又は「一部にしか設置していない」方が対象）

※作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを言います。

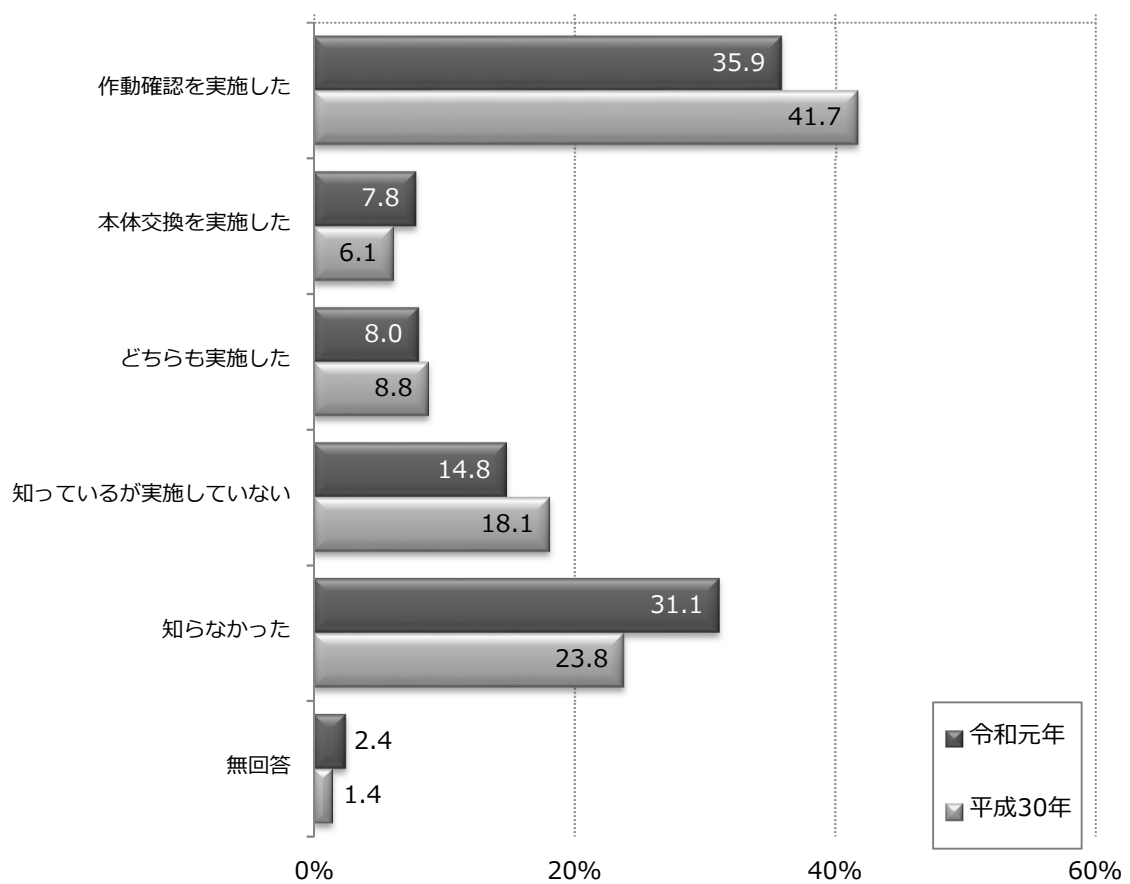
※令和2年より聴取方法変更

	令和2年 (n=1,456)
設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがある。	20.0
設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがない。	13.0
設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがある。	21.4
設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがない。	21.4
設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。	8.3
設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。	15.2
無回答	0.7



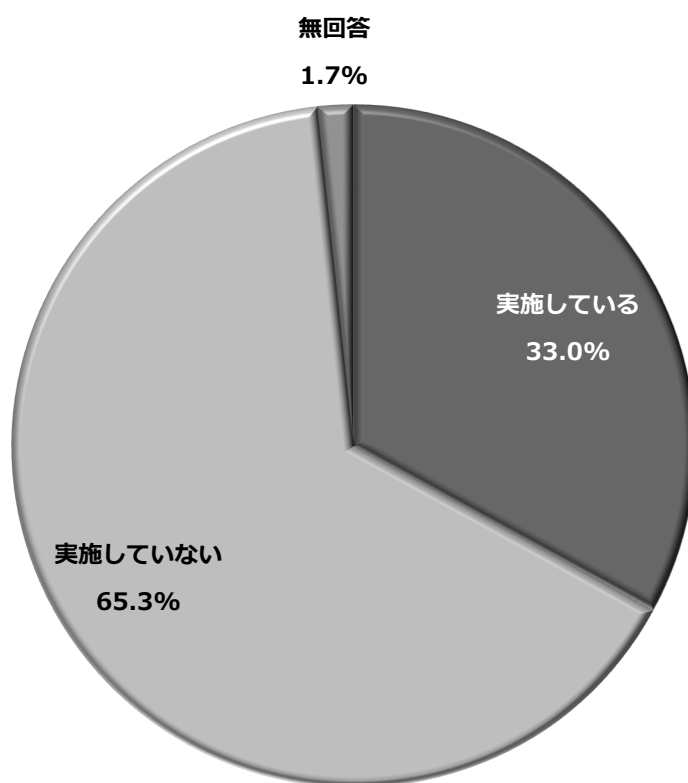
【参考：令和元年までの結果】

	平成 30 年 (n=1,280)	令和元年 (n=1,257)
作動確認を実施した	41.7	35.9
本体交換を実施した	6.1	7.8
どちらも実施した	8.8	8.0
知っているが実施していない	18.1	14.8
知らなかった	23.8	31.1
無回答	1.4	2.4



- Q18** 住宅用火災警報器の本体交換※の実施状況について、次の中から１つだけ選んでください。（Q 1 6で「全てに設置している」又は「一部にしか設置していない」方が対象）
- ※住宅用火災警報器は設置から１０年が経過している場合は本体交換を推奨しています。また、正常に作動しているか定期的な点検をすることも大切です。
- ※令和２年新規の設問

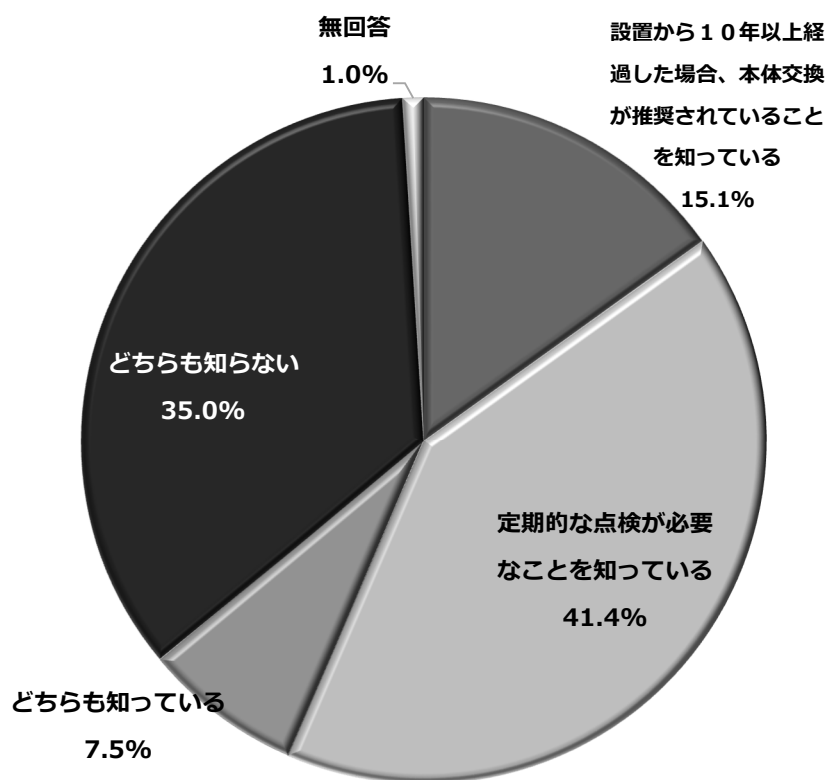
	令和２年 (n=1,456)
実施している	33.0
実施していない	65.3
無回答	1.7



Q19 住宅用火災警報器の本体交換や定期的な点検について知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

※令和2年新規の設問

	令和2年 (n=1,784)
設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている	15.1
定期的な点検が必要なことを知っている	41.4
どちらも知っている	7.5
どちらも知らない	35.0
無回答	1.0

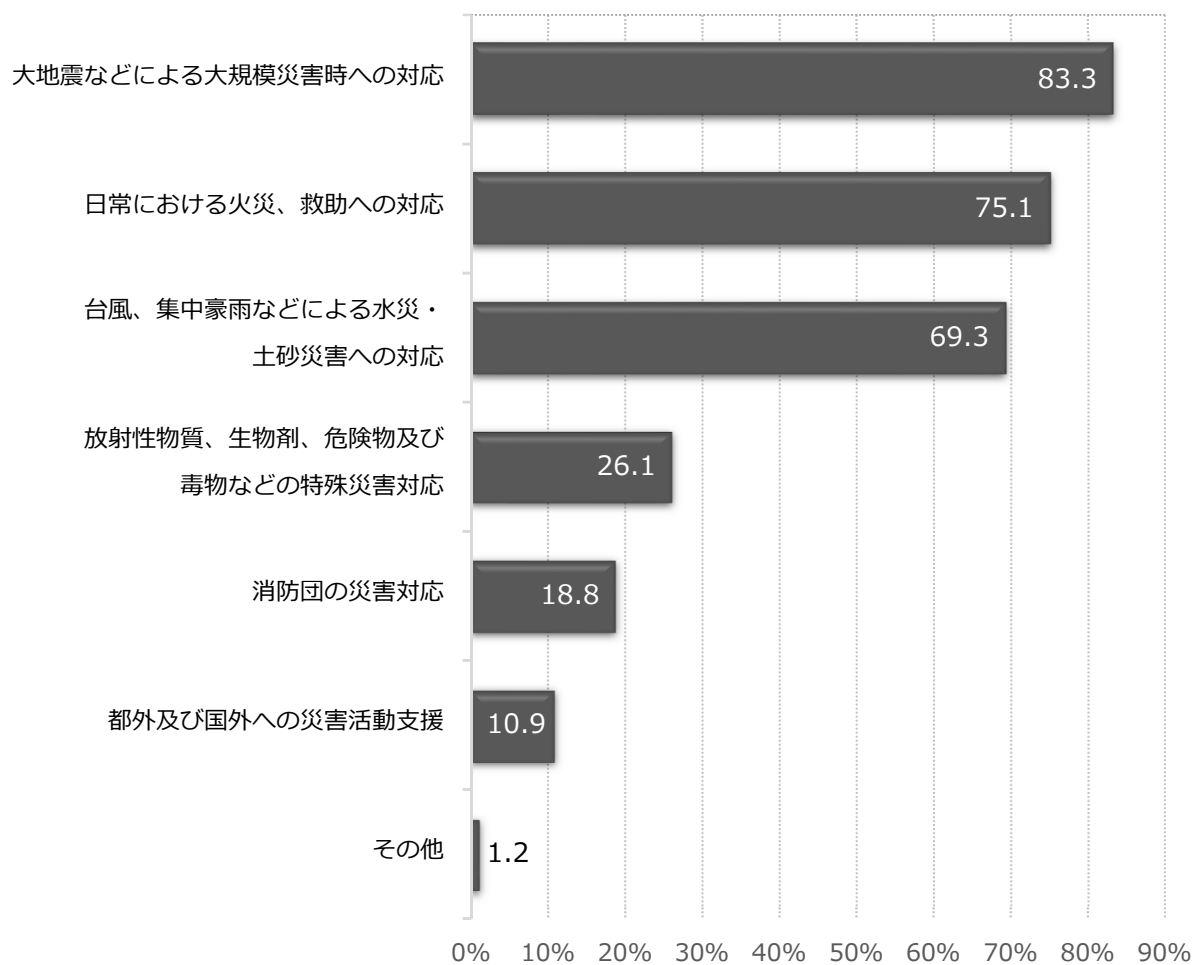


(6) 消防に対する要望

Q20 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつか選んでください。

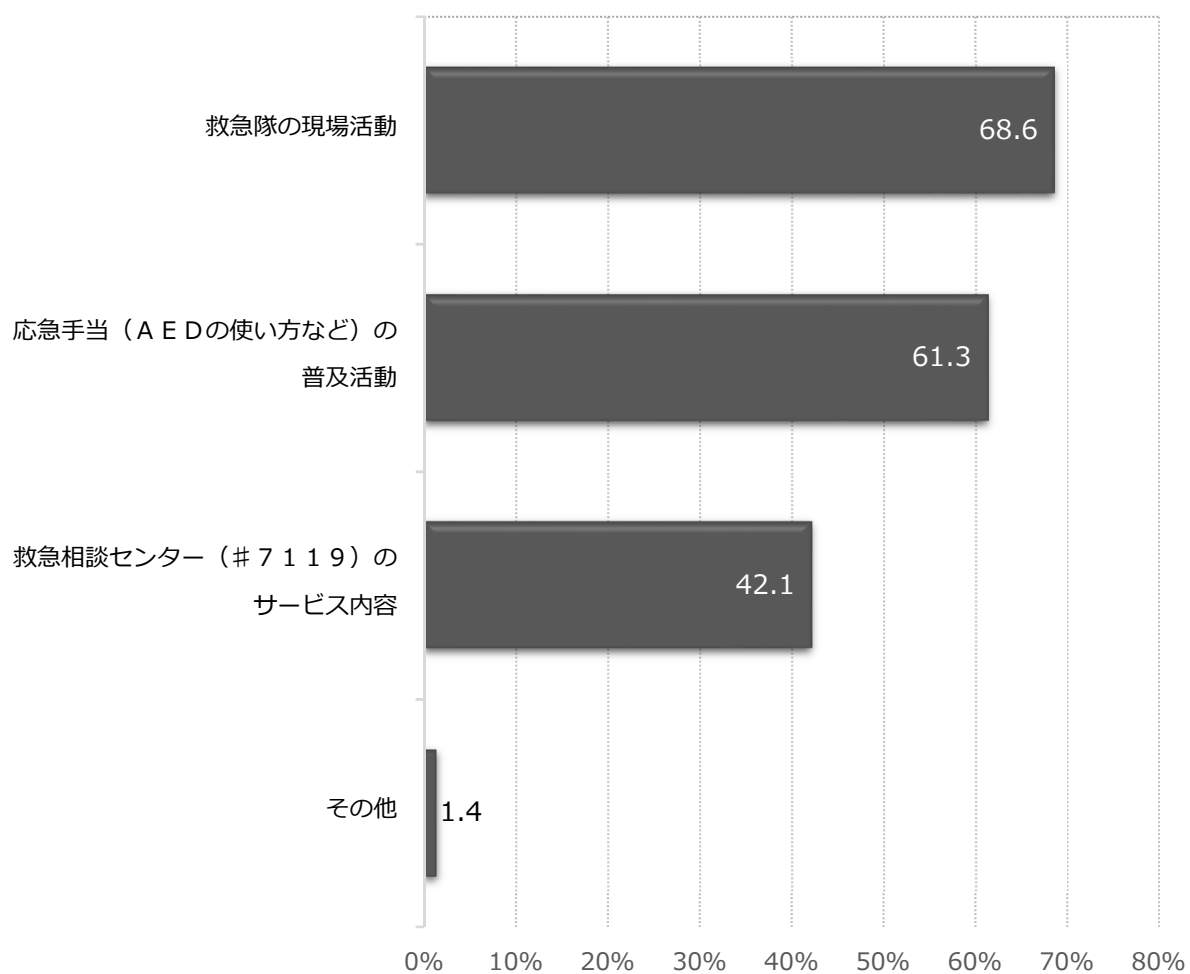
A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

	令和2年 (n=1,685)
大地震などによる大規模災害時への対応	83.3
日常における火災、救助への対応	75.1
台風、集中豪雨などによる水災・土砂災害への対応	69.3
放射性物質、生物剤、危険物及び毒物などの特殊災害対応	26.1
消防団の災害対応	18.8
都外及び国外への災害活動支援	10.9
その他	1.2



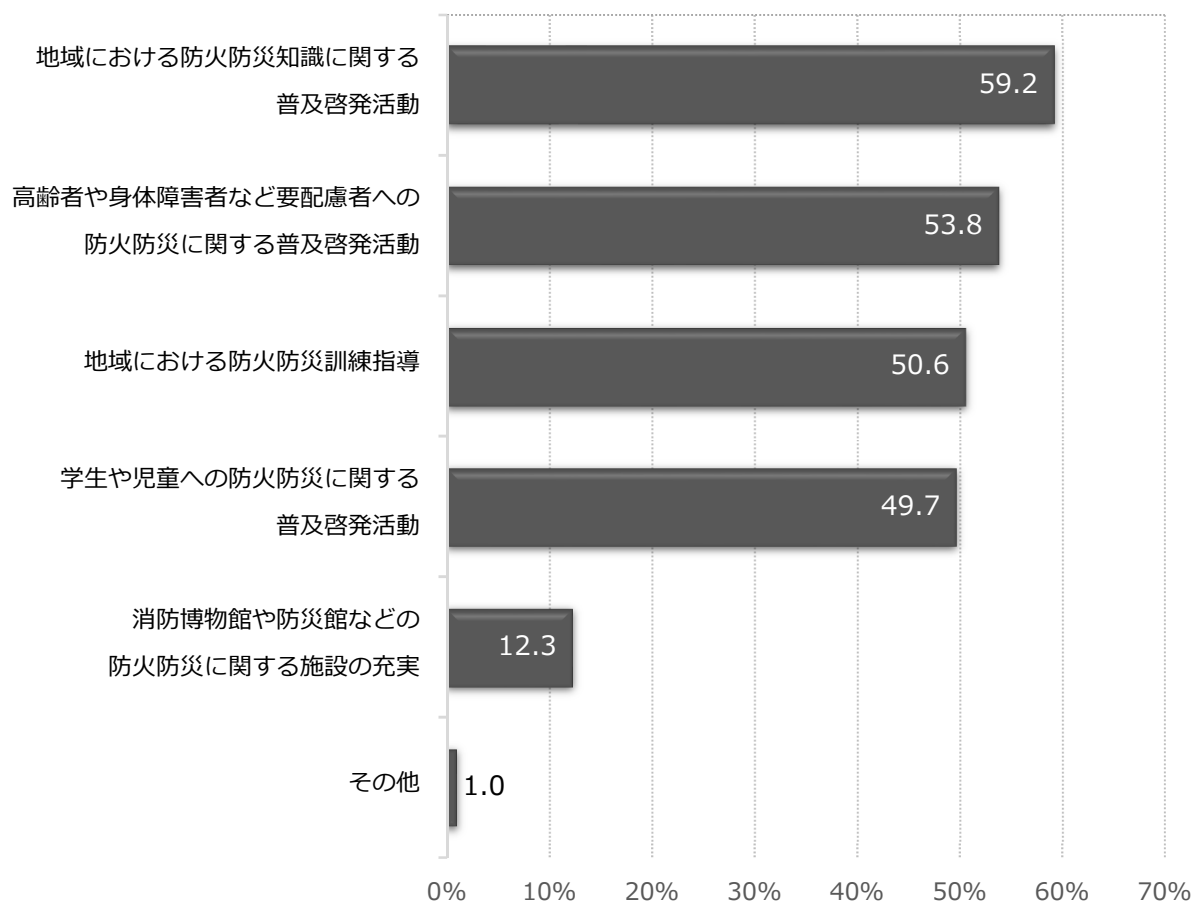
B 東京消防庁の救急業務に関する取組

	令和2年 (n=1,665)
救急隊の現場活動	68.6
応急手当（AEDの使い方など）の普及活動	61.3
救急相談センター（＃7119）のサービス内容	42.1
その他	1.4



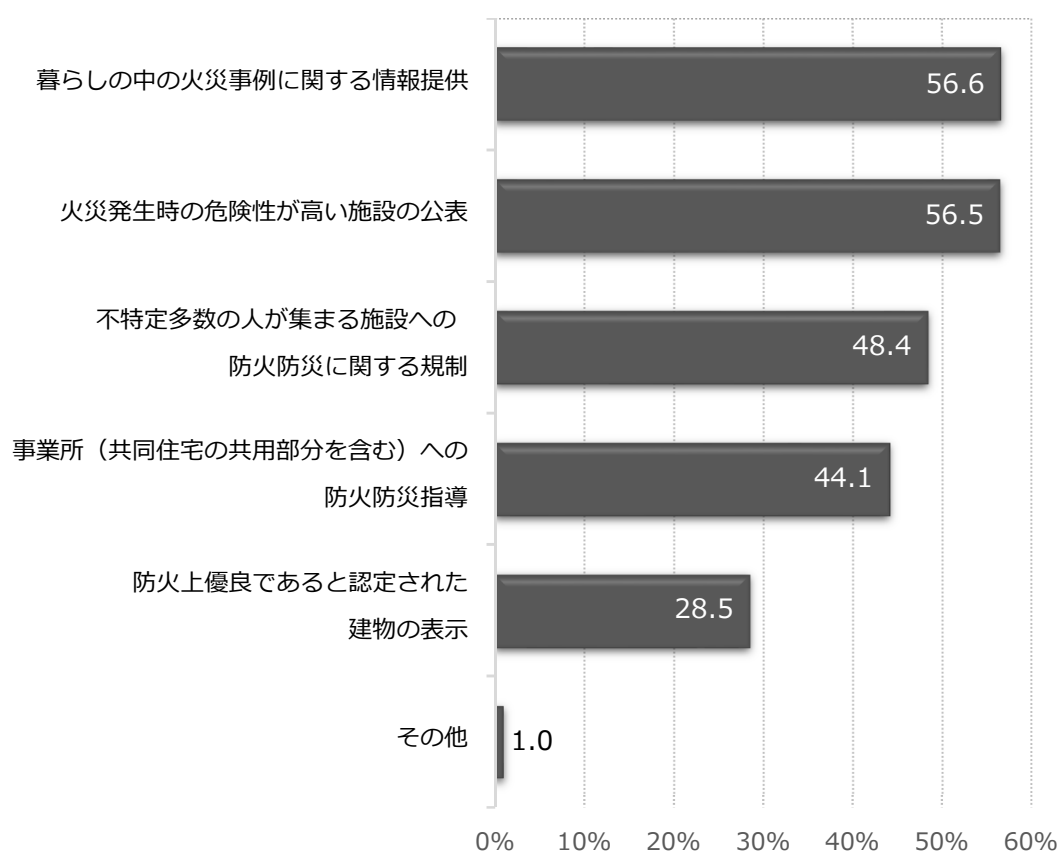
C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

	令和2年 (n=1,673)
地域における防火防災知識に関する普及啓発活動	59.2
高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動	53.8
地域における防火防災訓練指導	50.6
学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動	49.7
消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実	12.3
その他	1.0



D 東京消防庁の火災予防に関する取組

	令和2年 (n=1,670)
暮らしの中の火災事例に関する情報提供	56.6
火災発生時の危険性が高い施設の公表	56.5
不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制	48.4
事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導	44.1
防火上優良であると認定された建物の表示	28.5
その他	1.0



(7) 記述回答

ここでは、各設問の「その他」記述回答について、ご意見、ご要望、利用したご感想などを掲載する。

Q 1 大きな揺れを感じた時の行動（その他内容） 24 件

内容	件数
状況を確認する	6
情報を収集する	6
家具・家電をおさえる	5
家族の安否確認をする	4
その他	3

Q 3 「家具類の転倒・落下・移動防止対策」を実施していない理由（その他内容） 285 件

内容	件数
低い家具等には実施していない	92
先延ばし、忘れていた	40
賃貸・借家などで傷をつけることができない	28
あまりいることのない部屋だから対策はしていない	27
倒れそうな家具はない	25
自力での対策ができない	13
家具を配置しているところには危険がない	11
棚などは備え付けのため必要がない	9
建物の構造上対策が難しい	8
時間やコスト面で余裕がない	6
見た目が悪い	4
その他	22

Q 4 救急車を呼んだ理由（その他内容） 44 件

内容	件数
急病・異変・意識がなかったから	12
救急車を呼ぶほどのけが・病気だったから	7
救急車以外では無理と判断したから	5
交通事故等	4
かかりつけ医などから指示があった	4
当人に依頼されて	3
その他	9

Q 6 救命講習の受講状況（その他内容） 27 件

内容	件数
会社	7
地域・町会など	5
自動車運転教習所	4
医療従事者のため習得	4
その他	7

Q 7 救命講習を受けていない理由（その他内容） 75 件

内容	件数
高齢のため	16
講習日時や場所などがわからない	13
日程、日時が合わない	12
きっかけ、機会がない	11
身体が不自由、体調がよくない	8
その他	15

Q 9 応急手当ができない理由（その他内容） 75 件

内容	件数
正しいやり方、正確な方法がわからない	34
講習内容を忘れてしまった	14
身体が不自由、体調がよくない	11
高齢のため	7
他人のことには関与したくない	3
その他	6

Q 10 最近 1 年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベント（その他内容） 22 件

内容	件数
学校や地域での訓練	7
例年実施されているが、コロナのため中止になった	5
会社での訓練	4
消防団	2
その他	4

Q 1 1 防火防災訓練やイベントに参加したことがない理由（その他内容） 89 件

内容	件数
身体が不自由、体調がよくない	21
きっかけ、機会がない	19
日程が合わない	18
高齢のため	11
開催情報がない	7
その他	13

Q 1 4 消防団の入団検討に必要な情報源（その他内容） 15 件

内容	件数
年齢制限	4
活動に参加する自由度	3
身体、体力的なこと	3
女性の活動	1
活動の時間帯	1
その他	3

Q20A 東京消防庁に力を入れて欲しい取組

火災などの災害に関する取組（その他内容） 19 件

内容	件数
未然防止活動	3
情報発信	2
要配慮者等の見守り、救助対応	2
消防・防災訓練	2
感謝、すでに取り組んでいる	6
その他	4

Q20B 東京消防庁に力を入れて欲しい取組

救急業務に関する取組（その他内容） 13 件

内容	件数
救急車の救急外使用への対応(有料化など)	3
感謝、すでに取り組んでいる	7
その他	3

Q20C 東京消防庁に力を入れて欲しい取組**都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組（その他内容）** 11 件

内容	件数
防災行動向上のための情報発信	5
感謝、すでに取り組んでいる	1
その他	5

Q20D 東京消防庁に力を入れて欲しい取組**火災予防に関する取組（その他内容）** 14 件

内容	件数
火災予防のための情報発信と注意喚起	4
耐火性の低い建物・場所の把握と規制等	3
火災予防機器の普及	2
感謝、すでに取り組んでいる	1
その他	4

消防と関わった経験（その他内容） 111 件

内容	件数
消防・防災訓練や研修・講習に関わったことがある	24
本人、家族、知人が消防官や消防団に所属している・していた	20
消防署見学会やイベントに関わったことがある	14
消防署の訪問・見回り・指導を受けた	8
仕事上で関わったことがある	7
防火管理者である（資格がある）	4
救急車に乗ったことがある	3
消防署が家や職場の近くにある(あった)	3
救急場面に遭遇した	3
消防博物館、防災館見学	3
救急事故で処置を受けたことがある	2
消防に関して相談したことがある	1
感謝する	2
その他	17

3. 調査結果（クロス集計）

3. 調査結果（クロス集計）

各設問において、回答者属性（居住地域・性別・年齢・職業・世帯構成・居住形態・消防との関わり）とのクロス集計をおこなった。また、クロス集計結果について有意差検定（t 検定）をおこなった。

■有意差検定（t 検定）について

各クロス集計における選択肢の比率と全体比率との有意差を検定した。統計解析に用いられることが多い標準的汎用プログラムを用い検定処理をおこなった。

有意水準は一般的に用いられる 5 % および 1 % とした。

検定処理の結果、求めた p 値（確率）が 0.05 より小さい場合、有意水準 5% において有意差があると判定でき、同じく、求めた p 値（確率）が 0.01 より小さい場合、有意水準 1% において有意差があると判定できる。

次ページ以降のクロス集計表内において、記号を用いて検定の結果を付記した。

△：有意水準 5 % (p 値 < 0.05) において、全体の比率と比較して大きい値のもの

▽：有意水準 5 % (p 値 < 0.05) において、全体の比率と比較して小さい値のもの

▲：有意水準 1 % (p 値 < 0.01) において、全体の比率と比較して大きい値のもの

▼：有意水準 1 % (p 値 < 0.01) において、全体の比率と比較して小さい値のもの

表内記号なし：有意差なし

この有意差検定（t 検定）により、「居住地域」「性別・年齢別」「職業別」「世帯構成別」「居住形態別」「消防との関わり」の分類各項目において、設問の各選択肢への回答割合が有意差があるかないか、全体に比べ高いか低いかを知ることができる。

例えば、次ページの『Q 1 大地震発生時の行動等について』の、回答 2 「火の元を確認する」の全体の回答比率 30.7% と都心地域の回答比率 18.6% の関係において、有意水準 5% の確率においてこの差は偶然ではない（有意である）と判断できる。

回答 4 「外に出る」の全体の回答比率 1.0% と男性（10 代・20 代）の回答比率 4.3% の関係において、有意水準 1% の確率においてこの差は偶然ではない（有意である）と判断できる。

(1) 地震に関すること

Q 1 大地震発生時の行動等について

		n	1 テーブルの下に身を 隠すなど、身の安全を 図る	2 火の元を確認する	3 戸や窓を開け避難路 を確保する	4 外に出る	5 そのまゝの状態様 子を見る	6 その他	7 無回答
居住地域別	都心地域	59	28.8	▽18.6	25.4	-	20.3	3.4	3.4
	山手地域	132	27.3	28.8	17.4	0.8	22.0	2.3	1.5
	下町地域	139	25.2	28.1	△25.2	0.7	18.7	-	2.2
	東部地域	223	27.4	31.4	18.8	1.8	16.1	2.2	2.2
	西部地域	385	28.6	31.4	18.7	1.0	16.1	2.6	1.6
	南部地域	151	23.2	28.5	19.2	1.3	△25.2	0.7	2.0
	北部地域	124	29.0	30.6	22.6	-	15.3	1.6	0.8
	西多摩地域	47	38.3	23.4	14.9	△4.3	14.9	2.1	2.1
	南多摩地域	184	26.6	36.4	15.8	1.1	18.5	0.5	1.1
	北多摩西部地域	91	26.4	36.3	11.0	1.1	24.2	-	1.1
	北多摩北部地域	104	35.6	26.0	15.4	1.0	17.3	1.9	2.9
	北多摩南部地域	145	29.0	34.5	16.6	-	17.9	1.4	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	92	31.5	▽19.6	17.4	▲4.3	25.0	1.1	1.1
	男性（30代）	102	▲41.2	▽20.6	14.7	2.0	17.6	2.9	1.0
	男性（40代）	129	33.3	▽22.5	19.4	0.8	21.7	2.3	-
	男性（50代）	146	28.1	35.6	15.8	0.7	18.5	1.4	-
	男性（60代）	156	27.6	△39.7	▽11.5	-	17.9	1.9	1.3
	男性（70歳以上）	180	▽21.7	34.4	16.7	1.1	20.6	2.2	3.3
	男性小計	805	29.4	30.3	▼15.8	1.2	20.0	2.0	1.2
	女性（10代・20代）	135	▲42.2	▼17.0	18.5	-	20.7	0.7	0.7
	女性（30代）	131	32.8	▼19.1	23.7	1.5	16.0	▲4.6	2.3
	女性（40代）	158	32.3	28.5	19.6	-	17.7	-	1.9
	女性（50代）	176	▽20.5	33.0	20.5	0.6	22.7	1.7	1.1
	女性（60代）	181	22.7	△38.1	23.8	0.6	▼10.5	1.1	3.3
	女性（70歳以上）	198	▼17.7	▲42.4	18.7	2.0	16.2	0.5	2.5
	女性小計	979	26.9	31.1	▲20.7	0.8	17.2	1.3	2.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	150	22.0	33.3	19.3	0.7	20.0	1.3	3.3
	家族従業（家業手伝い）	25	28.0	24.0	12.0	-	20.0	▲12.0	4.0
	勤め（フルタイム）	713	△31.3	▽27.6	18.4	1.1	19.4	1.3	1.0
	勤め（パートタイム）	244	▽21.3	△36.5	18.0	0.8	19.3	2.0	2.0
	無職の主婦・主夫	316	27.2	△36.1	△22.5	-	▼12.0	0.6	1.6
	学生	60	▲56.7	▼13.3	11.7	-	15.0	3.3	-
	その他の無職	189	▽20.6	27.5	18.0	△2.6	▲25.4	3.2	2.6
	その他	28	21.4	▲53.6	10.7	3.6	10.7	-	-
	無回答	59	33.9	28.8	13.6	1.7	18.6	-	3.4
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	168	▲39.3	▼21.4	22.6	1.2	▽11.9	1.8	1.8
	65歳以上の方	583	▼20.9	▲37.0	18.7	1.0	19.0	1.4	1.9
	病気などで寝たきりの方	13	23.1	46.2	7.7	-	23.1	-	-
	身体の不自由な方	119	24.4	31.1	17.6	1.7	19.3	0.8	▲5.0
	いずれもない	930	△30.4	▽28.1	18.1	1.0	19.2	1.9	1.3
居住形態別	一戸建て	841	27.7	▲34.7	▽16.3	1.3	16.9	1.5	1.5
	マンション・アパート	903	27.7	▼26.9	△20.8	0.6	△20.4	1.8	1.9
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	△48.4	25.8	12.9	3.2	9.7	-	-
	無回答	9	22.2	55.6	11.1	▲11.1	-	-	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	812	27.5	32.5	18.8	0.9	17.2	1.4	1.7
	火災など、災害で119番通報	63	▽15.9	△44.4	22.2	-	9.5	△4.8	3.2
	仕事で消防署に行ったことがある	234	31.6	31.2	19.2	-	▽13.2	2.1	2.6
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	28.3	30.3	21.4	0.9	16.1	1.4	1.6
	特に関わりはない	540	29.1	▼25.9	17.8	1.1	▲22.4	2.0	1.7
	その他	111	△36.9	26.1	18.9	0.9	13.5	2.7	0.9
全体		1784	28.0	30.7	18.5	1.0	18.4	1.6	1.7

Q2「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況

		n	1 施 す べ て の 家 具 類 に 実 施 し て い る	2 一 部 の 家 具 類 に 実 施 し て い る	3 倒 れ る 可 能 性 の あ る 家 具 を 置 い て い な い 又 は 家 具 を 置 い て い な い	4 実 施 し て い な い	5 無 回 答
居住地域別	都 心 地 域	59	5.1	▽37.3	▲22.0	33.9	1.7
	山 手 地 域	132	5.3	50.8	7.6	35.6	0.8
	下 町 地 域	139	4.3	48.9	13.7	33.1	-
	東 部 地 域	223	5.8	53.8	7.2	32.3	0.9
	西 部 地 域	385	6.5	50.4	10.9	31.2	1.0
	南 部 地 域	151	3.3	48.3	13.2	34.4	0.7
	北 部 地 域	124	5.6	53.2	8.9	31.5	0.8
	西 多 摩 地 域	47	8.5	59.6	10.6	21.3	-
	南 多 摩 地 域	184	6.0	51.6	11.4	30.4	0.5
	北 多 摩 西 部 地 域	91	△12.1	51.6	8.8	26.4	1.1
	北 多 摩 北 部 地 域	104	4.8	59.6	5.8	29.8	-
	北 多 摩 南 部 地 域	145	9.7	48.3	9.7	31.0	1.4
	無 回 答	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	92	3.3	47.8	16.3	32.6	-
	男 性 （ 3 0 代 ）	102	3.9	42.2	8.8	▲44.1	1.0
	男 性 （ 4 0 代 ）	129	3.1	54.3	7.8	34.1	0.8
	男 性 （ 5 0 代 ）	146	△10.3	46.6	8.9	33.6	0.7
	男 性 （ 6 0 代 ）	156	9.6	56.4	9.0	▽24.4	0.6
	男性（70歳以上）	180	△10.6	51.7	10.0	26.1	1.7
	男 性 小 計	805	7.5	50.4	9.8	31.4	0.9
	女性（10代・20代）	135	-	49.6	11.9	37.8	0.7
	女 性 （ 3 0 代 ）	131	▼0.8	▽42.7	10.7	▲45.0	0.8
	女 性 （ 4 0 代 ）	158	5.7	55.1	9.5	29.7	-
	女 性 （ 5 0 代 ）	176	6.3	56.8	10.2	26.1	0.6
	女 性 （ 6 0 代 ）	181	7.2	56.9	10.5	▽24.9	0.6
	女性（70歳以上）	198	8.6	47.0	12.1	30.8	1.5
	女 性 小 計	979	5.2	51.7	10.8	31.6	0.7
	無 回 答	-	-	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	150	△10.7	54.7	8.0	26.0	0.7
	家族従業（家業手伝い）	25	-	△72.0	-	24.0	4.0
	勤め（フルタイム）	713	5.2	49.1	11.4	33.9	0.4
	勤め（パートタイム）	244	4.5	50.8	11.9	32.4	0.4
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	316	8.5	53.8	9.5	27.5	0.6
	学 生	60	1.7	56.7	8.3	31.7	1.7
	そ の 他 の 無 職	189	6.9	49.2	10.1	32.8	1.1
	そ の 他	28	△17.9	46.4	10.7	25.0	-
	無 回 答	59	1.7	47.5	10.2	35.6	▲5.1
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	168	▽2.4	53.0	▽4.8	△39.9	-
	6 5 歳 以 上 の 方	583	▲9.4	▲56.9	▼7.4	▼25.6	0.7
	病気などで寝たきりの方	13	-	38.5	7.7	53.8	-
	身 体 の 不 自 由 な 方	119	6.7	52.1	▽5.0	36.1	-
	い ず れ も い な い	930	5.2	▼48.1	▲13.3	32.7	0.8
居住形態別	一 戸 建 て	841	▲8.1	▲59.1	▼7.4	▼24.9	0.6
	マンション・アパート	903	▼4.3	▼44.3	▲13.1	▲37.5	0.8
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	31	9.7	38.7	16.1	32.3	3.2
	無 回 答	9	11.1	33.3	-	44.4	▲11.1
	救急車を呼ぶため119番通報	812	7.0	51.6	10.7	29.9	0.7
消防との 関わり	火災など、災害で119番通報	63	4.8	54.0	12.7	27.0	1.6
	仕事で消防署に行ったことがある	234	6.8	52.1	12.4	27.8	0.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	6.2	52.6	10.8	29.0	1.4
	特 に 関 わ り は な い	540	5.2	50.4	10.0	34.1	0.4
	そ の 他	111	5.4	△61.3	7.2	25.2	0.9
全 体		1784	6.2	51.1	10.4	31.5	0.8

Q 3 「家具類の転倒・落下・移動防止対策」を実施していない理由

(1/2)

		n	1 面 倒 で あ る	2 と は 地 震 で 家 具 が 倒 れ る と は 思 わ な い	3 と は 地 震 で 家 具 が 倒 れ た と し て も 危 険 と 思 わ な い	4 器 具 を 売 っ て い る 場 所 が わ か ら な い	5 器 具 が 高 価 で あ る	6 い 対 策 方 法 が わ か ら な い	7 建 物 の 壁 に 取 り 付 け ら れ る 場 所 が な い
居住地域別	都 心 地 域	42	31.0	4.8	14.3	7.1	9.5	9.5	33.3
	山 手 地 域	113	38.1	6.2	14.2	5.3	5.3	10.6	26.5
	下 町 地 域	112	27.7	8.0	16.1	▲11.6	10.7	17.9	28.6
	東 部 地 域	188	32.4	5.9	13.3	4.8	10.6	17.0	23.9
	西 部 地 域	313	28.8	5.4	17.9	3.5	11.2	15.7	22.0
	南 部 地 域	125	33.6	5.6	16.0	5.6	8.8	18.4	24.0
	北 部 地 域	102	30.4	4.9	9.8	4.9	8.8	13.7	27.5
	西 多 摩 地 域	38	34.2	5.3	15.8	5.3	2.6	18.4	18.4
	南 多 摩 地 域	150	27.3	6.7	15.3	6.7	14.0	12.7	22.7
	北 多 摩 西 部 地 域	71	28.2	11.3	12.7	2.8	7.0	11.3	33.8
	北 多 摩 北 部 地 域	91	38.5	△11.0	17.6	3.3	7.7	12.1	20.9
	北 多 摩 南 部 地 域	111	27.9	▽1.8	13.5	3.6	9.0	18.0	25.2
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	74	40.5	△12.2	18.9	2.7	16.2	20.3	24.3
	男 性 （ 3 0 代 ）	88	▲48.9	5.7	19.3	△10.2	8.0	13.6	18.2
	男 性 （ 4 0 代 ）	114	△39.5	6.1	17.5	6.1	12.3	11.4	23.7
	男 性 （ 5 0 代 ）	117	▽22.2	8.5	18.8	1.7	12.0	▼6.0	24.8
	男 性 （ 6 0 代 ）	124	28.2	8.9	△22.6	1.6	8.1	10.5	△33.9
	男性（70歳以上）	137	▼21.2	8.8	18.2	△9.5	5.1	12.4	△32.8
	男 性 小 計	654	31.8	▲8.3	▲19.3	5.4	9.8	▼11.8	27.1
	女性（10代・20代）	118	▲43.2	4.2	11.9	6.8	10.2	▲23.7	▼13.6
	女 性 （ 3 0 代 ）	113	36.3	3.5	12.4	8.8	8.8	△23.0	22.1
	女 性 （ 4 0 代 ）	134	32.8	3.0	11.9	2.2	8.2	16.4	25.4
	女 性 （ 5 0 代 ）	144	24.3	▼0.7	12.5	6.3	13.9	16.7	22.9
	女 性 （ 6 0 代 ）	144	▽23.6	6.9	▼5.6	3.5	11.1	16.7	31.3
	女性（70歳以上）	149	25.5	8.1	16.1	3.4	5.4	12.1	20.1
	女 性 小 計	802	30.3	▼4.5	▼11.7	5.0	9.6	▲17.7	22.8
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	119	25.2	5.9	16.8	5.9	10.1	13.4	21.0
	家族従業（家業手伝い）	24	16.7	-	20.8	-	8.3	12.5	29.2
	勤め（フルタイム）	588	△34.7	5.3	15.3	5.4	10.0	14.3	24.8
	勤め（パートタイム）	200	29.5	4.5	12.5	6.0	11.0	▲23.5	27.0
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	250	28.0	8.0	14.0	4.0	9.6	12.4	26.8
	学 生	53	41.5	△13.2	11.3	1.9	5.7	18.9	▽13.2
	そ の 他 の 無 職	154	26.6	8.4	18.2	6.5	9.7	14.3	25.3
	そ の 他	20	15.0	-	10.0	5.0	-	15.0	30.0
	無 回 答	48	37.5	6.3	18.8	4.2	8.3	6.3	18.8
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	155	35.5	3.9	14.8	△9.0	9.7	20.0	24.5
	6 5 歳 以 上 の 方	471	▼25.7	▲8.7	13.8	5.7	9.1	12.5	▲29.3
	病 気 な ど で 寝 た き り の 方	12	41.7	8.3	8.3	8.3	▲33.3	16.7	41.7
	身 体 の 不 自 由 な 方	103	26.2	7.8	13.6	5.8	△16.5	9.7	20.4
	い ず れ も い な い	748	32.0	▽4.8	16.2	▽4.0	9.8	16.4	22.9
居住形態別	一 戸 建 て	696	32.6	6.6	14.8	4.7	9.5	15.5	▼21.4
	マンション・アパート	731	29.1	5.6	15.5	5.7	9.8	14.5	▲28.2
	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅 ・ 寮 ・ 寄 宿 舎 な ど	22	31.8	4.5	18.2	-	9.1	18.2	18.2
	無 回 答	7	57.1	△28.6	-	-	14.3	14.3	14.3
	救急車を呼ぶため119番通報	652	30.8	5.7	14.3	5.7	▲12.0	13.3	26.1
消防との関わり	火災など、災害で119番通報	51	27.5	7.8	13.7	2.0	11.8	13.7	35.3
	仕事で消防署に行ったことがある	185	30.3	5.4	▲22.7	3.2	10.8	▼8.6	27.6
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	352	31.3	4.8	17.3	5.1	11.1	12.8	23.0
	特 に 関 わ り は な い	452	33.0	7.1	15.3	4.4	▽6.9	△18.4	23.2
	そ の 他	96	28.1	5.2	11.5	6.3	9.4	11.5	26.0
全 体		1456	31.0	6.2	15.1	5.2	9.7	15.0	24.7

Q3「家具類の転倒・落下・移動防止対策」を実施していない理由

(2/2)

		n	8 壁や家具にキズを付 けたくない	9 建物が免震又は制振 構造である	10 その他
居住地域別	都心地域	42	26.2	▲19.0	16.7
	山手地域	113	23.9	8.8	16.8
	下町地域	112	26.8	5.4	16.1
	東部地域	188	23.4	4.3	20.2
	西部地域	313	21.7	8.0	19.8
	南部地域	125	25.6	6.4	16.8
	北部地域	102	23.5	5.9	▲30.4
	西多摩地域	38	▽7.9	7.9	15.8
	南多摩地域	150	18.0	6.7	22.7
	北多摩西部地域	71	19.7	2.8	22.5
	北多摩北部地域	91	▽12.1	7.7	19.8
	北多摩南部地域	111	24.3	8.1	18.9
性別・年齢別	無回答	-	-	-	-
	男性(10代・20代)	74	25.7	5.4	▼8.1
	男性(30代)	88	26.1	4.5	▽10.2
	男性(40代)	114	25.4	3.5	▽11.4
	男性(50代)	117	23.9	▽2.6	24.8
	男性(60代)	124	20.2	▽2.4	23.4
	男性(70歳以上)	137	▽14.6	4.4	19.7
	男性小計	654	22.0	▼3.7	▽17.3
	女性(10代・20代)	118	20.3	7.6	14.4
	女性(30代)	113	27.4	9.7	19.5
	女性(40代)	134	26.9	△11.9	△28.4
	女性(50代)	144	23.6	7.6	25.0
	女性(60代)	144	18.8	5.6	22.9
	女性(70歳以上)	149	▽14.8	▲15.4	21.5
職業別	女性小計	802	21.7	▲9.7	△22.2
	無回答	-	-	-	-
	自営業主	119	18.5	6.7	△28.6
	家族従業(家業手伝い)	24	20.8	12.5	20.8
	勤め(フルタイム)	588	▲27.2	▼4.8	▼16.2
	勤め(パートタイム)	200	24.0	8.0	22.5
	無職の主婦・主夫	250	17.2	▲12.4	18.0
	学生	53	13.2	7.5	15.1
	その他の無職	154	17.5	▽2.6	▲27.9
世帯構成別	その他の他	20	10.0	△20.0	35.0
	無回答	48	▽8.3	8.3	18.8
	6歳以下の乳幼児	155	23.9	6.5	16.1
	65歳以上の方	471	▼16.6	6.6	22.5
	病気などで寝たきりの方	12	25.0	-	16.7
居住形態別	身体の不自由な方	103	14.6	3.9	▲33.0
	いずれもいない	748	▲25.4	7.5	19.7
	一戸建て	696	▼16.4	6.8	19.8
	マンション・アパート	731	▲26.9	7.4	20.4
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	22	27.3	4.5	18.2
消防との関わり	無回答	7	14.3	-	-
	救急車を呼ぶため119番通報	652	21.6	6.3	22.2
	火災など、災害で119番通報	51	27.5	11.8	19.6
	仕事で消防署に行ったことがある	185	23.8	7.6	18.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	352	22.4	7.1	21.3
	特に関わりはない	452	21.5	6.2	17.5
その他	その他	96	△30.2	4.2	▲40.6
	全	1456	21.8	7.0	20.0

(2) 救急に関すること

Q 4 救急車を呼んだ理由

(1/2)

		n	1 生命の危険があると思った	2 軽症や重症の判断がつかなかった	3 自力で歩ける状態ではなかった	4 交通手段がなかった	5 病院へ連れて行ってくれなかった	6 この病院に行けばよかった(夜間・休日を含む)	7 救急車で病院に行けた方が優先的だった
居住地域別	都心地域	28	60.7	21.4	53.6	-	10.7	14.3	-
	山手地域	61	▽39.3	23.0	42.6	1.6	16.4	13.1	9.8
	下町地域	74	59.5	27.0	△56.8	4.1	14.9	△18.9	9.5
	東部地域	107	57.9	24.3	35.5	1.9	9.3	6.5	5.6
	西部地域	168	47.6	22.0	▲53.0	1.8	14.3	13.1	5.4
	南部地域	71	59.2	22.5	47.9	1.4	16.9	8.5	7.0
	北部地域	65	44.6	20.0	46.2	1.5	12.3	12.3	7.7
	西多摩地域	26	65.4	26.9	38.5	3.8	23.1	11.5	3.8
	南多摩地域	97	49.5	21.6	41.2	3.1	11.3	13.4	9.3
	北多摩西部地域	47	63.8	19.1	36.2	4.3	12.8	4.3	8.5
	北多摩北部地域	64	53.1	20.3	▼28.1	1.6	6.3	9.4	9.4
	北多摩南部地域	66	53.0	21.2	36.4	4.5	15.2	9.1	1.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性(10代・20代)	30	43.3	36.7	30.0	6.7	16.7	20.0	▲26.7
	男性(30代)	51	52.9	27.5	31.4	-	11.8	5.9	3.9
	男性(40代)	61	50.8	△32.8	37.7	▲8.2	21.3	11.5	3.3
	男性(50代)	83	56.6	19.3	44.6	1.2	10.8	14.5	2.4
	男性(60代)	88	53.4	18.2	51.1	-	▽5.7	17.0	9.1
	男性(70歳以上)	95	55.8	21.1	52.6	2.1	14.7	12.6	10.5
	男性小計	408	53.4	23.8	44.1	2.5	12.7	13.5	7.8
	女性(10代・20代)	45	53.3	22.2	46.7	-	13.3	11.1	2.2
	女性(30代)	49	55.1	28.6	42.9	-	10.2	6.1	4.1
	女性(40代)	66	48.5	28.8	42.4	4.5	12.1	13.6	-
	女性(50代)	100	57.0	21.0	41.0	2.0	13.0	▽5.0	4.0
	女性(60代)	99	56.6	23.2	41.4	5.1	17.2	12.1	10.1
	女性(70歳以上)	107	44.9	▼11.2	47.7	0.9	13.1	9.3	9.3
	女性小計	466	52.4	21.2	43.6	2.4	13.5	9.4	5.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	90	54.4	28.9	46.7	1.1	11.1	13.3	3.3
	家族従業(家業手伝い)	16	43.8	25.0	56.3	6.3	18.8	12.5	6.3
	勤め(フルタイム)	326	52.5	25.5	39.9	1.8	11.0	10.4	5.5
	勤め(パートタイム)	135	54.8	19.3	44.4	4.4	14.1	10.4	6.7
	無職の主婦・主夫	162	53.1	19.1	43.8	1.9	13.0	11.1	△11.1
	学生	9	44.4	22.2	55.6	11.1	22.2	-	11.1
	その他の無職	98	49.0	17.3	▲57.1	3.1	18.4	13.3	7.1
	その他	14	57.1	14.3	35.7	-	21.4	14.3	-
	無回答	24	62.5	20.8	▽20.8	-	12.5	16.7	8.3
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	76	48.7	▲34.2	36.8	1.3	15.8	5.3	3.9
	65歳以上の方	332	55.1	19.6	▲49.4	3.0	▽10.2	10.2	7.8
	病気などで寝たきりの方	11	81.8	27.3	63.6	▲18.2	27.3	18.2	9.1
	身体の不自由な方	88	55.7	17.0	52.3	4.5	14.8	14.8	5.7
	いずれもない	416	51.4	22.4	42.8	2.2	14.4	12.7	6.0
居住形態別	一戸建て	467	△56.5	21.0	41.1	1.5	▽10.9	10.7	7.9
	マンション・アパート	393	▽48.3	23.7	△48.1	3.3	15.5	11.7	5.3
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	10	50.0	40.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0
	無回答	4	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	731	54.0	22.2	44.0	2.3	13.8	10.8	6.6
	火災など、災害で119番通報	37	△70.3	18.9	37.8	2.7	5.4	13.5	13.5
	仕事で消防署に行ったことがある	129	△62.0	22.5	45.7	3.1	△19.4	13.2	8.5
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	213	52.6	24.9	39.0	3.3	16.0	9.4	6.6
	特に関わりはない	59	42.4	27.1	42.4	5.1	13.6	13.6	6.8
	その他	63	60.3	23.8	44.4	4.8	7.9	14.3	3.2
全体		874	52.9	22.4	43.8	2.4	13.2	11.3	6.8

Q 4 救急車を呼んだ理由

(2/2)

		n	8 家族や知人、居合わせた人に薦められた	9 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた	10 その他
居住地域別	都心地域	28	10.7	10.7	-
	山手地域	61	11.5	8.2	8.2
	下町地域	74	12.2	8.1	4.1
	東部地域	107	8.4	6.5	2.8
	西部地域	168	11.9	10.1	4.8
	南部地域	71	8.5	8.5	4.2
	北部地域	65	13.8	10.8	6.2
	西多摩地域	26	3.8	7.7	3.8
	南多摩地域	97	11.3	14.4	8.2
	北多摩西部地域	47	12.8	6.4	6.4
	北多摩北部地域	64	3.1	14.1	7.8
	北多摩南部地域	66	7.6	7.6	6.1
	無回答	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	30	10.0	3.3	3.3
	男性（30代）	51	11.8	13.7	7.8
	男性（40代）	61	6.6	11.5	3.3
	男性（50代）	83	7.2	3.6	4.8
	男性（60代）	88	6.8	8.0	4.5
	男性（70歳以上）	95	14.7	8.4	3.2
	男性小計	408	9.6	8.1	4.4
	女性（10代・20代）	45	13.3	13.3	2.2
	女性（30代）	49	12.2	10.2	4.1
	女性（40代）	66	10.6	12.1	10.6
	女性（50代）	100	▽4.0	10.0	5.0
	女性（60代）	99	11.1	8.1	5.1
	女性（70歳以上）	107	14.0	13.1	8.4
	女性小計	466	10.5	10.9	6.2
	無回答	-	-	-	-
職業別	自営業主	90	▽3.3	11.1	4.4
	家族従業（家業手伝い）	16	18.8	18.8	6.3
	勤め（フルタイム）	326	9.5	10.1	4.9
	勤め（パートタイム）	135	8.9	8.1	△9.6
	無職の主婦・主夫	162	△14.8	10.5	4.9
	学生	9	22.2	-	-
	その他の無職	98	9.2	6.1	3.1
	その他	14	7.1	7.1	7.1
	無回答	24	12.5	12.5	4.2
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	76	6.6	15.8	3.9
	65歳以上の方	332	12.3	9.9	5.1
	病気などで寝たきりの方	11	9.1	-	9.1
	身体の不自由な方	88	11.4	8.0	4.5
	いずれもいない	416	8.7	8.7	5.8
居住形態別	一戸建て	467	10.7	9.9	5.6
	マンション・アパート	393	9.4	8.9	4.8
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	10	10.0	20.0	△20.0
	無回答	4	-	25.0	-
	無回答	4	-	25.0	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	731	10.1	9.7	4.8
	火災など、災害で119番通報	37	8.1	8.1	2.7
	仕事で消防署に行ったことがある	129	10.1	11.6	5.4
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	213	11.7	11.7	8.0
	特に関わりはない	59	10.2	3.4	6.8
	その他	63	11.1	11.1	7.9
全体		874	10.1	9.6	5.4

Q5「#7119」の認知度

		n	1 知っている	2 知らない	3 無回答
居住地域別	都心地域	59	40.7	59.3	-
	山手地域	132	44.7	54.5	0.8
	下町地域	139	49.6	48.2	2.2
	東部地域	223	53.4	45.7	0.9
	西部地域	385	47.0	52.2	0.8
	南部地域	151	▼38.4	▲60.3	1.3
	北部地域	124	54.0	43.5	2.4
	西多摩地域	47	57.4	42.6	-
	南多摩地域	184	54.3	45.1	0.5
	北多摩西部地域	91	48.4	50.5	1.1
	北多摩北部地域	104	49.0	49.0	1.9
	北多摩南部地域	145	51.7	46.2	2.1
性別・年齢別	無回答	-	-	-	-
	男性（10代・20代）	92	▼27.2	▲72.8	-
	男性（30代）	102	▽39.2	△60.8	-
	男性（40代）	129	48.1	51.9	-
	男性（50代）	146	44.5	54.8	0.7
	男性（60代）	156	47.4	51.3	1.3
	男性（70歳以上）	180	46.7	48.3	▲5.0
	男性小計	805	▼43.5	▲55.0	1.5
	女性（10代・20代）	135	41.5	△58.5	-
	女性（30代）	131	△58.0	42.0	-
	女性（40代）	158	50.0	50.0	-
	女性（50代）	176	52.8	45.5	1.7
	女性（60代）	181	△56.4	▽41.4	2.2
	女性（70歳以上）	198	▲59.6	▼39.4	1.0
職業別	女性小計	979	▲53.5	▼45.6	0.9
	無回答	-	-	-	-
	自営業主	150	44.7	54.7	0.7
	家族従業（家業手伝い）	25	40.0	56.0	4.0
	勤め（フルタイム）	713	47.7	52.0	▼0.3
	勤め（パートタイム）	244	50.0	48.8	1.2
	無職の主婦・主夫	316	△55.4	▼42.7	1.9
	学生	60	▼26.7	▲73.3	-
	その他の無職	189	52.4	44.4	▲3.2
世帯構成別	その他の他	28	57.1	42.9	-
	無回答	59	49.2	47.5	3.4
	6歳以下の乳幼児	168	56.0	44.0	-
	65歳以上の方	583	▲54.9	▼43.7	1.4
	病気などで寝たきりの方	13	61.5	38.5	-
居住形態別	身体の不自由な方	119	55.5	42.9	1.7
	いずれもいない	930	▼44.4	▲54.5	1.1
	一戸建て	841	▲53.9	▼45.3	0.8
	マンション・アパート	903	▼44.3	▲54.2	1.6
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	31	54.8	45.2	-
消防との関わり	無回答	9	44.4	55.6	-
	救急車を呼ぶため119番通報	812	▲54.1	▼44.3	1.6
	火災など、災害で119番通報	63	58.7	▽36.5	▲4.8
	仕事で消防署に行ったことがある	234	△55.6	▽43.2	1.3
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	▲60.0	▼39.8	▽0.2
	特に関わりはない	540	▼40.7	▲58.5	0.7
その他		111	52.3	45.9	1.8
全体		1784	49.0	49.8	1.2

Q 6 救命講習の受講状況

		n	1 蘇生法、AED の講習 （心肺 蘇生法、 AEDの 講習）	2 救命入門コース （小・中・高 学年等 を対象 とした 講習）	3 蘇生法、 AEDの 講習 （心肺 蘇生法、 AEDの 講習）	4 上級救命講習 （3時間 程度） （講習 内容に 外傷 応急 手当 等を 加えた 8時間 程度 の講習）	5 応急手当普及員講習 （普通救命講習等の 指導要領を学ぶ講 習）	6 受けたことがない	7 その他
居住地域別	都心地域	58	36.2	5.2	6.9	3.4	1.7	53.4	-
	山手地域	132	27.3	6.8	9.8	3.8	1.5	58.3	3.8
	下町地域	137	37.2	8.8	10.2	3.6	1.5	53.3	0.7
	東部地域	221	32.1	5.4	11.3	4.1	▽0.5	54.3	3.2
	西部地域	385	32.7	7.3	▽8.6	2.1	1.3	▲58.7	1.3
	南部地域	149	32.2	3.4	15.4	0.7	4.0	53.7	1.3
	北部地域	123	33.3	10.6	▲22.0	3.3	1.6	45.5	2.4
	西多摩地域	47	44.7	▲17.0	△23.4	△8.5	4.3	▼25.5	4.3
	南多摩地域	184	38.6	6.5	12.5	3.3	4.3	48.9	1.1
	北多摩西部地域	91	40.7	3.3	14.3	4.4	4.4	47.3	-
	北多摩北部地域	104	32.7	6.7	13.5	2.9	△5.8	50.0	1.0
	北多摩南部地域	144	35.4	7.6	13.9	3.5	3.5	52.1	1.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	92	▲46.7	▲27.2	▲23.9	5.4	3.3	▼35.9	-
	男性（30代）	102	42.2	6.9	13.7	2.9	2.0	45.1	2.9
	男性（40代）	128	32.8	5.5	11.7	1.6	4.7	53.1	-
	男性（50代）	146	▽25.3	4.1	14.4	5.5	3.4	59.6	0.7
	男性（60代）	156	35.9	▼1.9	14.7	5.8	3.8	48.7	1.9
	男性（70歳以上）	173	31.8	-	8.7	1.7	1.7	△60.1	2.9
	男性小計	797	34.6	6.0	13.8	3.8	3.1	51.9	1.5
	女性（10代・20代）	135	▲47.4	▲31.1	17.0	4.4	-	▼30.4	1.5
	女性（30代）	131	30.5	9.9	13.0	2.3	1.5	56.5	0.8
	女性（40代）	158	31.0	5.1	9.5	2.5	0.6	57.0	1.9
	女性（50代）	176	36.4	▽2.8	8.5	2.8	1.7	53.4	1.7
	女性（60代）	180	34.4	▽2.8	14.4	2.8	2.8	51.1	1.7
	女性（70歳以上）	198	▽26.8	▼1.0	▽7.1	1.5	4.0	▲65.7	3.0
	女性小計	978	33.9	7.7	11.2	2.7	1.9	53.3	1.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	150	32.0	7.3	16.7	3.3	3.3	50.0	2.0
	家族従業（家業手伝い）	25	28.0	4.0	12.0	-	4.0	60.0	4.0
	勤め（フルタイム）	712	△37.8	7.4	▲15.4	▲4.6	2.5	▼48.0	▽0.8
	勤め（パートタイム）	243	37.9	8.6	10.7	1.6	2.9	47.7	2.5
	無職の主婦・主夫	315	31.4	▼1.9	▼6.3	1.6	2.2	▲60.6	1.6
	学生	60	38.3	▲43.3	△21.7	3.3	1.7	▼31.7	1.7
	その他の無職	184	▼24.5	▼1.6	▽7.6	2.2	1.1	▲67.9	2.2
	その他	28	39.3	3.6	14.3	-	3.6	50.0	▲10.7
	無回答	58	24.1	1.7	8.6	5.2	3.4	△65.5	1.7
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	168	38.1	△10.7	15.5	3.0	3.6	▽44.6	0.6
	65歳以上の方	580	33.1	▼2.8	11.2	3.1	2.9	55.3	1.9
	病気などで寝たきりの方	13	30.8	7.7	-	-	-	53.8	7.7
	身体の不自由な方	118	▽25.4	3.4	8.5	1.7	△5.9	60.2	▲5.9
	いずれもない	926	35.1	▲9.5	13.1	3.5	1.9	51.4	1.6
居住形態別	一戸建て	840	34.6	6.8	13.0	3.1	2.9	52.0	1.8
	マンション・アパート	895	33.7	7.2	11.5	3.1	2.2	53.6	1.7
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	38.7	6.5	△25.8	3.2	-	41.9	-
	無回答	9	33.3	-	-	11.1	-	55.6	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	809	34.5	5.7	△14.5	△4.2	▲3.6	51.5	1.5
	火災など、災害で119番通報	62	33.9	1.6	17.7	6.5	-	53.2	3.2
	仕事で消防署に行ったことがある	233	▲46.8	6.9	▲24.0	▲11.6	3.4	▼35.6	0.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	▲51.3	▲10.8	▲27.1	▲10.8	▲4.6	▼24.6	1.4
	特に関わりはない	537	▼26.3	6.9	▼6.3	-	▼0.6	▲65.4	1.5
	その他	110	▲47.3	△12.7	16.4	4.5	1.8	▼36.4	△4.5
全体		1775	34.3	6.9	12.4	3.2	2.5	52.7	1.7

Q 7 救命講習を受けていない理由

		n	1 講習 を受ける 時間 がない	2 倒 講習 に行く のが 面	3 講習 を受ける 必要 性がない	4 講習 を受け なくて も 応急 手当が でき	5 講習 を 知 ら な い つ る	6 ス 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル の 実 態 を 知 ら な い	7 ス 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル の 恐 れ が あ る	8 そ の 他
居住地 地域別	都 心 地 域	31	19.4	16.1	-	-	74.2	3.2	3.2	3.2
	山 手 地 域	76	21.1	14.5	2.6	-	68.4	-	6.6	10.5
	下 町 地 域	73	34.2	23.3	1.4	2.7	63.0	1.4	4.1	6.8
	東 部 地 域	118	23.7	13.6	3.4	-	56.8	1.7	5.1	10.2
	西 部 地 域	225	▽20.0	13.8	1.8	3.1	65.8	1.3	4.4	13.3
	南 部 地 域	78	26.9	19.2	3.8	3.8	66.7	-	3.8	7.7
	北 部 地 域	56	26.8	14.3	1.8	-	55.4	1.8	7.1	▲21.4
	西 多 摩 地 域	12	33.3	8.3	-	8.3	50.0	-	16.7	-
	南 多 摩 地 域	89	31.5	19.1	3.4	1.1	68.5	1.1	5.6	7.9
	北 多 摩 西 部 地 域	43	27.9	23.3	2.3	-	67.4	△4.7	△14.0	2.3
	北 多 摩 北 部 地 域	52	30.8	15.4	-	1.9	59.6	-	7.7	15.4
	北 多 摩 南 部 地 域	75	21.3	16.0	-	1.3	68.0	-	6.7	9.3
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年 齢別	男性（10代・20代）	33	36.4	27.3	3.0	-	69.7	-	3.0	-
	男 性 （ 3 0 代 ）	46	17.4	19.6	2.2	-	▲82.6	-	-	8.7
	男 性 （ 4 0 代 ）	68	33.8	△25.0	1.5	▲5.9	60.3	-	2.9	4.4
	男 性 （ 5 0 代 ）	87	32.2	13.8	1.1	-	66.7	1.1	3.4	11.5
	男 性 （ 6 0 代 ）	76	28.9	19.7	2.6	1.3	68.4	-	5.3	9.2
	男性（70歳以上）	103	▼11.7	10.7	2.9	3.9	61.2	1.0	6.8	15.5
	男 性 小 計	413	25.4	17.7	2.2	2.2	66.6	0.5	▽4.1	9.7
	女性（10代・20代）	41	29.3	▽4.9	4.9	2.4	75.6	-	-	7.3
	女 性 （ 3 0 代 ）	72	23.6	19.4	4.2	-	△77.8	-	1.4	5.6
	女 性 （ 4 0 代 ）	89	30.3	13.5	1.1	1.1	68.5	△3.4	3.4	10.1
	女 性 （ 5 0 代 ）	94	30.9	13.8	1.1	3.2	59.6	1.1	7.4	11.7
	女 性 （ 6 0 代 ）	91	19.8	14.3	-	-	57.1	2.2	▲13.2	14.3
	女性（70歳以上）	128	18.8	18.8	2.3	1.6	▼51.6	2.3	▲10.9	13.3
	女 性 小 計	515	24.7	15.1	1.9	1.4	62.5	1.7	△7.2	11.1
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	75	33.3	16.0	-	-	57.3	1.3	8.0	9.3
	家族従業（家業手伝い）	15	26.7	6.7	-	-	66.7	-	6.7	13.3
	勤め（フルタイム）	341	▲30.2	15.5	1.5	1.2	▲70.1	0.9	▼2.3	8.8
	勤め（パートタイム）	116	△33.6	12.1	1.7	1.7	65.5	0.9	3.4	9.5
	無職の主婦・主夫	188	▼16.5	20.7	2.1	1.6	60.6	1.1	▲13.3	10.1
	学 生	19	42.1	10.5	-	-	78.9	-	-	-
	そ の 他 の 無 職	122	▼9.0	19.7	△4.9	△4.1	56.6	1.6	5.7	▲18.0
	そ の 他	14	7.1	7.1	▲14.3	7.1	50.0	△7.1	7.1	21.4
	無 回 答	38	26.3	13.2	-	2.6	63.2	2.6	5.3	7.9
世帯構 成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	74	27.0	16.2	4.1	-	▲79.7	2.7	2.7	▽2.7
	6 5 歳 以 上 の 方	316	▽20.9	15.5	2.2	0.9	▽59.2	1.3	▲8.9	12.7
	病気などで寝たきりの方	7	△57.1	14.3	-	△14.3	42.9	-	14.3	28.6
	身 体 の 不 自 由 な 方	69	29.0	20.3	4.3	1.4	53.6	-	7.2	17.4
	い ず れ も い な い	475	26.5	16.4	1.7	2.5	65.9	0.8	4.4	10.3
居住形 態別	一 戸 建 宅	434	24.4	15.2	3.0	1.4	62.7	0.9	6.7	10.4
	マンション・アパート	476	25.2	17.4	1.3	2.1	65.8	1.5	5.0	10.3
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	13	23.1	15.4	-	-	76.9	-	7.7	15.4
	無 回 答	5	60.0	-	-	-	40.0	-	-	20.0
	そ の 他	40	17.5	10.0	2.5	2.5	△80.0	-	2.5	▲27.5
関わり 消防との	救急車を呼ぶため119番通報	414	▲29.5	16.7	2.2	1.9	▼59.7	1.4	7.5	12.6
	火災など、災害で119番通報	33	15.2	18.2	-	3.0	60.6	-	9.1	6.1
	仕事で消防署に行ったことがある	83	25.3	20.5	1.2	2.4	60.2	2.4	4.8	9.6
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	107	26.2	15.0	2.8	1.9	69.2	2.8	2.8	10.3
	特 に 関 わ り は な い	348	21.6	17.5	2.3	1.1	68.1	1.1	4.0	9.2
	そ の 他	40	17.5	10.0	2.5	2.5	△80.0	-	2.5	▲27.5
全 体		928	25.0	16.3	2.0	1.7	64.3	1.2	5.8	10.5

Q 8 応急手当を実施できるか

		n	1 応急手当の方法を知 っているから実施で きる	2 応急手当の方法を知 っているが、実施で きない	3 応急手当の方法を知 らないので、実施で きない	4 無回答
居住地域別	都心地域	59	25.4	25.4	47.5	1.7
	山手地域	132	21.2	33.3	44.7	0.8
	下町地域	139	23.7	33.1	40.3	2.9
	東部地域	223	22.4	34.5	42.2	0.9
	西部地域	385	23.1	39.0	37.4	0.5
	南部地域	151	21.9	37.7	37.7	2.6
	北部地域	124	25.8	35.5	36.3	2.4
	西多摩地域	47	▲42.6	42.6	▼14.9	-
	南多摩地域	184	26.1	35.3	38.0	0.5
	北多摩西部地域	91	28.6	35.2	36.3	-
	北多摩北部地域	104	28.8	38.5	30.8	1.9
	北多摩南部地域	145	29.0	31.0	38.6	1.4
	無回答	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性(10代・20代)	92	▲39.1	30.4	30.4	-
	男性(30代)	102	△34.3	38.2	▽26.5	1.0
	男性(40代)	129	29.5	32.6	37.2	0.8
	男性(50代)	146	30.8	▽28.1	41.1	-
	男性(60代)	156	25.6	39.7	32.7	1.9
	男性(70歳以上)	180	20.0	31.1	△46.1	△2.8
	男性小計	805	▲28.6	33.3	36.9	1.2
	女性(10代・20代)	135	▲37.0	△45.2	▼17.8	-
	女性(30代)	131	26.7	29.0	44.3	-
	女性(40代)	158	21.5	39.2	38.6	0.6
	女性(50代)	176	27.8	35.8	35.8	0.6
	女性(60代)	181	▽18.2	39.8	38.1	▲3.9
	女性(70歳以上)	198	▼7.6	35.9	▲55.1	1.5
	女性小計	979	▼22.1	37.5	39.2	1.2
	無回答	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	150	30.7	▽28.0	41.3	-
	家族従業(家業手伝い)	25	20.0	24.0	56.0	-
	勤め(フルタイム)	713	▲31.8	36.6	▼31.0	▽0.6
	勤め(パートタイム)	244	22.1	36.9	38.9	2.0
	無職の主婦・主夫	316	▼14.2	38.0	▲46.2	1.6
	学生	60	▲40.0	38.3	▼21.7	-
	その他の無職	189	▼14.3	32.3	▲49.7	▲3.7
	その他	28	28.6	42.9	28.6	-
	無回答	59	16.9	33.9	47.5	1.7
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	168	▲34.5	29.2	35.7	0.6
	65歳以上の方	583	▼20.1	35.0	▲42.9	△2.1
	病気などで寝たきりの方	13	30.8	46.2	23.1	-
	身体の不自由な方	119	20.2	30.3	△47.9	1.7
居住形態別	いずれもいない	930	△27.4	37.1	▼34.6	0.9
	一戸建て	841	23.9	35.4	39.6	1.1
	マンション・アパート	903	25.5	35.8	37.3	1.4
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	38.7	35.5	25.8	-
	無回答	9	33.3	33.3	33.3	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	812	▲28.0	36.5	▼34.1	1.5
	火災など、災害で119番通報	63	25.4	36.5	34.9	3.2
	仕事で消防署に行ったことがある	234	▲41.5	37.2	▼20.5	0.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	▲41.6	▲42.3	▼15.6	0.5
	特に関わりはない	540	▼16.5	▽31.7	▲50.7	1.1
	その他	111	▲36.9	35.1	▽27.0	0.9
全体		1784	25.0	35.6	38.2	1.2

Q 9 応急手当ができない理由

		n	1 何をしたらよいかわからないから	2 かえって悪化させることが心配だから	3 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから	4 感染などが心配だから	5 怖いから	6 自信がないから	7 その他
居住地域別	都心地域	43	53.5	58.1	25.6	11.6	18.6	48.8	-
	山手地域	102	45.1	46.1	30.4	6.9	17.6	58.8	2.9
	下町地域	101	46.5	48.5	21.8	8.9	17.8	66.3	5.0
	東部地域	171	40.9	39.2	▽19.3	5.8	15.8	▼50.3	△10.5
	西部地域	294	38.4	41.8	24.5	6.1	19.0	64.3	5.1
	南部地域	113	43.4	46.9	31.0	6.2	23.0	58.4	8.0
	北部地域	88	50.0	46.6	35.2	6.8	21.6	63.6	10.2
	西多摩地域	27	33.3	40.7	25.9	14.8	11.1	74.1	7.4
	南多摩地域	134	39.6	47.0	▲36.6	8.2	△26.1	59.0	7.5
	北多摩西部地域	65	41.5	41.5	35.4	9.2	23.1	63.1	-
	北多摩北部地域	72	33.3	36.1	22.2	2.8	▽6.9	61.1	8.3
	北多摩南部地域	101	44.6	42.6	20.8	3.0	▽8.9	55.4	7.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	56	42.9	55.4	△39.3	7.1	21.4	▼42.9	5.4
	男性（30代）	66	37.9	43.9	34.8	-	18.2	66.7	3.0
	男性（40代）	90	51.1	47.8	△37.8	6.7	16.7	54.4	3.3
	男性（50代）	101	40.6	▲61.4	34.7	5.9	▽10.9	▼45.5	4.0
	男性（60代）	112	37.5	42.0	△36.6	4.5	▼8.0	53.6	6.3
	男性（70歳以上）	136	42.6	▼23.5	▽17.6	6.6	▼5.9	56.6	8.1
	男性小計	561	42.1	43.5	▲31.9	5.3	▼11.9	▼53.5	5.3
	女性（10代・20代）	85	35.3	50.6	▲41.2	8.2	▲31.8	64.7	2.4
	女性（30代）	96	42.7	45.8	29.2	7.3	▲28.1	58.3	5.2
	女性（40代）	123	39.8	▲56.9	22.8	4.1	22.0	64.2	5.7
	女性（50代）	126	38.9	42.9	24.6	8.7	18.3	65.1	9.5
	女性（60代）	140	44.3	42.1	▽19.3	▲13.6	22.1	△67.9	6.4
	女性（70歳以上）	180	46.1	▼33.9	▼12.8	5.0	20.6	65.6	▲11.1
	女性小計	750	41.9	44.1	▼22.9	7.7	▲22.9	▲64.7	7.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	102	46.1	▽33.3	22.5	2.9	▼7.8	53.9	8.8
	家族従業（家業手伝い）	19	47.4	36.8	21.1	15.8	26.3	57.9	15.8
	勤め（フルタイム）	481	▼35.8	▲50.9	▲33.7	6.2	19.5	59.7	▽4.4
	勤め（パートタイム）	185	47.6	44.9	29.7	7.0	20.5	57.8	5.9
	無職の主婦・主夫	266	45.1	41.0	▼18.8	8.6	19.5	65.0	5.6
	学生	36	36.1	50.0	33.3	5.6	22.2	61.1	-
	その他の無職	154	44.2	▽35.7	22.1	7.8	18.8	57.8	▲11.7
	その他の	20	40.0	35.0	20.0	-	10.0	55.0	△20.0
	無回答	48	52.1	35.4	14.6	4.2	▽6.3	62.5	8.3
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	109	45.0	51.4	30.3	10.1	▲29.4	57.8	4.6
	65歳以上の方	451	45.2	▼37.0	▽22.8	8.4	16.6	61.0	6.9
	病気などで寝たきりの方	9	33.3	55.6	33.3	11.1	△44.4	77.8	-
	身体の不自由な方	92	45.7	40.2	27.2	△13.0	△26.1	58.7	▲16.3
	いずれもない	665	▽39.1	▲48.4	△29.3	▽5.3	18.2	59.7	5.9
居住形態別	一戸建て	629	42.1	41.5	26.7	6.7	16.9	59.9	6.7
	マンション・アパート	657	42.2	46.4	27.1	6.7	19.5	59.8	6.2
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	19	31.6	31.6	21.1	10.5	26.3	63.2	5.3
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	-	-	50.0	16.7
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	571	41.5	46.1	27.8	7.7	△20.8	62.0	△8.1
	火災など、災害で119番通報	45	37.8	44.4	26.7	2.2	17.8	68.9	2.2
	仕事で消防署に行ったことがある	133	▼27.1	△51.9	32.3	7.5	13.5	66.2	6.8
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	249	▼23.7	48.6	29.3	8.8	20.1	▲67.9	6.8
	特に関わりはない	445	▲47.2	43.8	26.3	6.7	19.3	▽55.3	4.7
	その他	69	31.9	36.2	△37.7	8.7	20.3	59.4	△13.0
全体		1311	42.0	43.9	26.8	6.7	18.2	59.9	6.5

(3) 防災に関すること

Q 10 最近1年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベント (1/2)

		n	1 消火訓練	2 応急救護訓練(ＡＥＤの取扱い、心臓マッサージなど)	3 避難訓練	4 救出・救助訓練	5 水災に関する訓練	6 地震の揺れから身を守る訓練(起震車による地震体験など)	7 VR防災体験車による災害疑似体験
居住地域別	都心地域	58	19.0	8.6	20.7	1.7	1.7	5.2	△3.4
	山手地域	132	11.4	8.3	▽13.6	1.5	0.8	1.5	-
	下町地域	137	17.5	11.7	24.1	1.5	0.7	5.8	0.7
	東部地域	222	15.8	6.3	17.6	-	0.5	4.5	-
	西部地域	383	▽10.2	▼3.7	22.5	0.5	0.5	3.4	1.0
	南部地域	149	12.1	6.7	19.5	2.0	1.3	▲8.1	0.7
	北部地域	123	16.3	11.4	25.2	2.4	0.8	5.7	1.6
	西多摩地域	47	14.9	12.8	31.9	-	-	2.1	-
	南多摩地域	183	10.9	▲14.2	22.4	1.1	-	▽1.1	1.6
	北多摩西部地域	91	19.8	7.7	26.4	3.3	1.1	6.6	2.2
	北多摩北部地域	103	15.5	8.7	19.4	-	1.0	1.0	-
	北多摩南部地域	144	10.4	11.1	22.2	2.1	-	4.2	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性(10代・20代)	92	15.2	△14.1	15.2	1.1	1.1	1.1	-
	男性(30代)	102	12.7	10.8	23.5	1.0	-	2.9	△2.9
	男性(40代)	129	14.7	7.8	23.3	0.8	0.8	4.7	2.3
	男性(50代)	146	15.1	6.8	△28.8	▲3.4	△2.1	4.1	0.7
	男性(60代)	155	△20.0	9.0	△29.0	1.9	-	3.9	0.6
	男性(70歳以上)	174	14.9	9.2	▼10.9	1.7	0.6	4.6	0.6
	男性小計	798	△15.7	9.3	21.8	△1.8	0.8	3.8	1.1
	女性(10代・20代)	135	9.6	△13.3	20.7	-	0.7	3.0	0.7
	女性(30代)	131	▽7.6	5.3	26.7	-	-	2.3	-
	女性(40代)	158	▽7.6	▼1.9	25.3	0.6	-	5.1	0.6
	女性(50代)	175	10.9	6.3	25.1	1.7	1.7	2.9	0.6
	女性(60代)	179	15.1	9.5	▽15.6	0.6	0.6	5.6	0.6
	女性(70歳以上)	196	16.3	9.2	▽15.8	1.0	-	5.6	1.0
	女性小計	974	▽11.6	7.6	21.1	▽0.7	0.5	4.2	0.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	149	12.1	6.0	▼10.1	0.7	0.7	6.0	1.3
	家族従業(家業手伝い)	25	16.0	16.0	12.0	-	-	4.0	-
	勤め(フルタイム)	712	15.3	9.3	▲31.0	1.5	△1.1	3.8	1.0
	勤め(パートタイム)	243	11.9	7.4	22.2	1.2	-	4.1	-
	無職の主婦・主夫	315	12.4	6.0	▼11.1	1.0	0.6	4.8	1.0
	学生	60	10.0	▲21.7	20.0	-	-	1.7	1.7
	その他の無職	184	12.0	7.6	▼12.0	0.5	-	3.3	0.5
	その他	28	10.7	7.1	17.9	3.6	-	3.6	3.6
	無回答	56	14.3	5.4	23.2	1.8	-	1.8	-
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	168	13.1	10.1	23.8	2.4	0.6	3.6	1.2
	65歳以上の方	581	△16.0	8.6	▼16.7	0.7	-	△5.5	0.7
	病気などで寝たきりの方	13	23.1	23.1	30.8	-	-	-	-
	身体の不自由な方	116	11.2	10.3	▽12.9	0.9	0.9	3.4	-
	いずれもない	925	▽11.7	8.1	△23.8	1.3	△1.0	3.4	1.0
居住形態別	一戸建て	835	12.9	8.9	19.9	1.2	0.7	4.3	1.1
	マンション・アパート	897	13.8	7.7	22.9	1.2	0.6	3.5	0.6
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	31	16.1	12.9	22.6	-	-	△12.9	3.2
	無回答	9	11.1	11.1	22.2	-	-	-	-
	その他	111	11.7	12.6	21.6	-	-	4.5	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	807	14.0	9.2	21.6	1.4	0.7	4.5	0.7
	火災など、災害で119番通報	61	21.3	9.8	27.9	1.6	1.6	△9.8	-
	仕事で消防署に行ったことがある	233	▲23.6	▲14.2	▲36.9	2.1	△1.7	▲7.7	0.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	433	▲21.2	▲14.3	▲32.1	▲2.5	△1.4	▲7.6	▲1.8
	特に関わりはない	537	▼8.2	▼4.5	▼15.1	▽0.4	0.2	▽2.4	▽0.2
	その他	111	11.7	12.6	21.6	-	-	4.5	-
全体		1772	13.4	8.4	21.4	1.2	0.6	4.0	0.8

Q 1 0 最近 1 年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベント (2/2)

		n	8 防災講演会、座談会、 シンポジウムなど	9 その他	10 どれも体験・参加し たことがない
居住地域別	都 心 地 域	58	1.7	1.7	65.5
	山 手 地 域	132	1.5	0.8	72.0
	下 町 地 域	137	3.6	2.9	61.3
	東 部 地 域	222	1.8	2.3	70.3
	西 部 地 域	383	1.6	1.8	70.5
	南 部 地 域	149	2.7	1.3	69.8
	北 部 地 域	123	2.4	0.8	65.9
	西 多 摩 地 域	47	-	2.1	▽53.2
	南 多 摩 地 域	183	1.1	1.1	67.2
	北 多 摩 西 部 地 域	91	3.3	3.3	61.5
	北 多 摩 北 部 地 域	103	-	1.0	69.9
	北 多 摩 南 部 地 域	144	2.1	-	69.4
	無 回 答	-	-	-	-
性別・年齢別	男性(10代・20代)	92	2.2	2.2	64.1
	男 性 (3 0 代)	102	1.0	2.0	64.7
	男 性 (4 0 代)	129	1.6	3.1	65.1
	男 性 (5 0 代)	146	1.4	-	66.4
	男 性 (6 0 代)	155	-	1.9	▼58.7
	男性(70歳以上)	174	▲5.2	0.6	△75.9
	男 性 小 計	798	2.0	1.5	66.3
	女性(10代・20代)	135	2.2	0.7	69.6
	女 性 (3 0 代)	131	0.8	-	71.0
	女 性 (4 0 代)	158	0.6	2.5	65.8
	女 性 (5 0 代)	175	1.7	1.7	66.9
	女 性 (6 0 代)	179	1.1	2.2	70.9
	女性(70歳以上)	196	3.6	2.0	71.4
	女 性 小 計	974	1.7	1.6	69.3
	無 回 答	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	149	1.3	0.7	▲79.9
	家族従業(家業手伝い)	25	-	-	76.0
	勤め(フルタイム)	712	▼0.8	2.0	▼58.7
	勤め(パートタイム)	243	1.2	2.1	67.1
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	315	3.2	-	▲78.7
	学 生	60	▲6.7	-	60.0
	そ の 他 の 無 職	184	3.3	2.2	▲79.3
	そ の 他	28	-	▲10.7	64.3
	無 回 答	56	3.6	1.8	66.1
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	168	1.8	1.8	64.9
	6 5 歳 以 上 の 方	581	2.2	1.4	70.1
	病気などで寝たきりの方	13	-	-	69.2
	身 体 の 不 自 由 な 方	116	2.6	0.9	△77.6
	い ず れ も い な い	925	1.6	1.5	67.4
居住形態別	一 戸 建 て	835	2.4	1.6	68.7
	マンション・アパート	897	1.4	1.7	67.4
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	31	-	-	58.1
	無 回 答	9	-	-	77.8
	消防との 関わり				
	救急車を呼ぶため119番通報	807	2.2	1.1	68.0
	火災など、災害で119番通報	61	1.6	-	63.9
	仕事で消防署に行ったことがある	233	3.4	2.6	▼50.6
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	433	▲5.1	△2.8	▼53.6
	特 に 関 わ り は な い	537	▼0.2	1.1	▲76.9
	そ の 他	111	2.7	▲5.4	61.3
全 体		1772	1.9	1.6	67.9

Q 1 1 防火防災訓練やイベントに参加したことがない理由

(1/2)

		n	1 過去に参加したことがある訓練と 同じような内容だから	2 一緒に参加する人がいないから	3 訓練に関心がないから	4 休養したいから	5 訓練の時間帯が合わないから	6 訓練のあることを知らなかったから	7 新型コロナウイルスにより訓練が実施されていないから
居住地域別	都心地域	38	15.8	7.9	-	-	18.4	42.1	10.5
	山手地域	95	9.5	5.3	6.3	6.3	9.5	46.3	6.3
	下町地域	84	7.1	6.0	6.0	1.2	▲20.2	36.9	4.8
	東部地域	156	11.5	3.2	3.8	1.9	9.6	△53.8	4.5
	西部地域	270	10.4	4.4	5.9	3.7	8.9	49.3	5.2
	南部地域	104	9.6	4.8	9.6	3.8	10.6	45.2	2.9
	北部地域	81	7.4	2.5	4.9	△7.4	4.9	51.9	8.6
	西多摩地域	25	4.0	4.0	12.0	-	16.0	40.0	12.0
	南多摩地域	123	8.9	4.1	4.1	2.4	16.3	40.7	6.5
	北多摩西部地域	56	10.7	△10.7	12.5	1.8	7.1	41.1	5.4
	北多摩北部地域	72	▲19.4	5.6	6.9	1.4	12.5	44.4	-
	北多摩南部地域	100	8.0	2.0	9.0	6.0	11.0	45.0	9.0
性別・年齢別	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性(10代・20代)	59	13.6	3.4	△13.6	6.8	6.8	44.1	8.5
	男性(30代)	66	12.1	3.0	10.6	6.1	6.1	50.0	1.5
	男性(40代)	84	8.3	2.4	9.5	▲8.3	7.1	48.8	2.4
	男性(50代)	97	▽4.1	2.1	7.2	4.1	△17.5	48.5	8.2
	男性(60代)	91	12.1	1.1	5.5	2.2	14.3	45.1	3.3
	男性(70歳以上)	132	11.4	6.8	4.5	3.0	12.1	40.9	3.8
	男性小計	529	10.0	3.4	7.8	△4.7	11.3	45.7	4.5
	女性(10代・20代)	94	11.7	-	10.6	2.1	8.5	53.2	3.2
	女性(30代)	93	5.4	-	5.4	4.3	9.7	▲59.1	5.4
	女性(40代)	104	10.6	5.8	1.9	2.9	9.6	51.0	9.6
	女性(50代)	117	11.1	5.1	4.3	2.6	16.2	44.4	6.8
	女性(60代)	127	11.8	7.9	4.7	-	12.6	41.7	6.3
	女性(70歳以上)	140	10.7	▲10.7	5.0	2.9	9.3	▽37.1	7.1
	女性小計	675	10.4	5.5	5.2	▽2.4	11.1	46.7	6.5
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	119	7.6	▽0.8	7.6	1.7	△16.8	48.7	4.2
	家族従業(家業手伝い)	19	10.5	5.3	5.3	5.3	15.8	36.8	5.3
	勤め(フルタイム)	418	8.9	▽2.6	6.0	▲6.0	13.2	49.3	5.7
	勤め(パートタイム)	163	11.7	3.1	4.3	2.5	△16.6	46.6	6.1
	無職の主婦・主夫	248	13.3	▲9.7	▽3.2	1.6	▼4.8	43.5	7.7
	学生	36	8.3	2.8	▲19.4	2.8	8.3	41.7	8.3
	その他の無職	146	11.0	5.5	8.9	2.1	7.5	41.8	▽2.1
	その他	18	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	38.9	5.6
	無回答	37	8.1	8.1	10.8	-	8.1	51.4	5.4
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	109	10.1	1.8	4.6	2.8	9.2	52.3	7.3
	65歳以上の方	407	10.3	5.4	5.4	2.7	△14.3	▽41.8	6.4
	病気などで寝たきりの方	9	11.1	11.1	-	11.1	22.2	▽11.1	△22.2
	身体の不自由な方	90	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	▼30.0	3.3
	いずれもいない	623	10.3	4.2	6.3	4.2	▽9.5	△49.3	5.0
居住形態別	一戸建て	574	11.3	4.7	7.1	▽2.3	10.8	43.7	6.1
	マンション・アパート	605	9.3	4.3	5.5	△4.6	11.6	48.8	5.3
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	18	11.1	5.6	5.6	-	5.6	50.0	5.6
	無回答	7	-	14.3	14.3	-	28.6	28.6	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	549	10.7	5.3	5.8	3.3	13.1	▽42.8	4.4
	火災など、災害で119番通報	39	▲23.1	5.1	-	-	15.4	43.6	-
	仕事で消防署に行ったことがある	118	13.6	5.1	▽0.8	4.2	7.6	39.0	▲11.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	232	▲15.9	2.6	5.6	3.0	▽6.9	▼36.6	▲12.5
	特に関わりはない	413	▽7.5	3.6	△8.5	4.1	9.9	△51.1	5.3
	その他	68	11.8	2.9	1.5	2.9	7.4	42.6	4.4
全体		1204	10.2	4.6	6.3	3.4	11.2	46.3	5.6

Q 1 1 防火防災訓練やイベントに参加したことがない理由

(2/2)

		n	8 から 新型 感染 の恐 れが あつ たス	9 そ の 他	10 無 回 答
居住地 地域別	都 心 地 域	38	5.3	-	-
	山 手 地 域	95	3.2	7.4	-
	下 町 地 域	84	4.8	11.9	1.2
	東 部 地 域	156	4.5	5.1	1.9
	西 部 地 域	270	3.3	7.4	1.5
	南 部 地 域	104	1.9	11.5	-
	北 部 地 域	81	3.7	8.6	-
	西 多 摩 地 域	25	4.0	8.0	-
	南 多 摩 地 域	123	6.5	8.1	2.4
	北 多 摩 西 部 地 域	56	5.4	3.6	1.8
	北 多 摩 北 部 地 域	72	-	8.3	1.4
	北 多 摩 南 部 地 域	100	1.0	9.0	-
	無 回 答	-	-	-	-
性別・年 齢別	男性（１０代・２０代）	59	1.7	1.7	-
	男 性 （ ３ ０ 代 ）	66	4.5	4.5	1.5
	男 性 （ ４ ０ 代 ）	84	6.0	7.1	-
	男 性 （ ５ ０ 代 ）	97	-	7.2	1.0
	男 性 （ ６ ０ 代 ）	91	2.2	12.1	2.2
	男性（７０歳以上）	132	3.8	△12.1	1.5
	男 性 小 計	529	3.0	8.3	1.1
	女性（１０代・２０代）	94	5.3	5.3	-
	女 性 （ ３ ０ 代 ）	93	1.1	9.7	-
	女 性 （ ４ ０ 代 ）	104	3.8	3.8	1.0
	女 性 （ ５ ０ 代 ）	117	4.3	4.3	0.9
	女 性 （ ６ ０ 代 ）	127	4.7	7.9	2.4
	女性（７０歳以上）	140	4.3	11.4	1.4
	女 性 小 計	675	4.0	7.3	1.0
	無 回 答	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	119	2.5	9.2	0.8
	家族従業（家業手伝い）	19	5.3	10.5	-
	勤め（フルタイム）	418	▽1.9	5.7	0.7
	勤め（パートタイム）	163	3.7	5.5	-
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	248	4.8	8.9	△2.4
	学 生	36	8.3	-	-
	そ の 他 の 無 職	146	5.5	▲15.1	0.7
	そ の 他	18	5.6	11.1	5.6
	無 回 答	37	2.7	2.7	2.7
世帯構 成別	６ 歳 以 下 の 乳 幼 児	109	1.8	10.1	-
	６ ５ 歳 以 上 の 方	407	4.9	8.1	0.7
	病気などで寝たきりの方	9	11.1	-	-
	身 体 の 不 自 由 な 方	90	4.4	▲21.1	1.1
	い ず れ も い な い	623	3.2	6.9	1.3
居住形 態別	一 戸 建 て	574	3.8	8.5	1.6
	マンション・アパート	605	3.3	6.8	0.7
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	18	-	16.7	-
	無 回 答	7	14.3	-	-
	救急車を呼ぶため１１９番通報	549	3.5	△9.5	1.6
消防と の関わり	火災など、災害で１１９番通報	39	5.1	5.1	2.6
	仕事で消防署に行ったことがある	118	5.1	11.9	0.8
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	232	5.6	10.8	0.4
	特 に 関 わ り は な い	413	2.4	7.0	0.5
	そ の 他	68	5.9	▲17.6	2.9
全 体		1204	3.6	7.7	1.1

(4) 消防団に関すること

Q 1 2 消防団の認知度

		n	1 知 つ て い る	2 あ る 名 前 は 聞 い た こ と が	3 知 ら な い	4 無 回 答
居住地域別	都 心 地 域	59	57.6	33.9	8.5	-
	山 手 地 域	132	▽50.8	37.9	11.4	-
	下 町 地 域	139	66.9	26.6	5.8	0.7
	東 部 地 域	223	57.0	36.3	6.7	-
	西 部 地 域	385	58.4	34.0	7.3	0.3
	南 部 地 域	151	60.9	29.1	9.9	-
	北 部 地 域	124	60.5	33.1	5.6	0.8
	西 多 摩 地 域	47	▲91.5	▼8.5	-	-
	南 多 摩 地 域	184	67.4	28.8	▽3.3	0.5
	北 多 摩 西 部 地 域	91	60.4	33.0	6.6	-
	北 多 摩 北 部 地 域	104	64.4	27.9	7.7	-
	北 多 摩 南 部 地 域	145	62.8	25.5	10.3	△1.4
	無 回 答	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	92	▽50.0	35.9	▲14.1	-
	男 性 （ 3 0 代 ）	102	▽51.0	△42.2	6.9	-
	男 性 （ 4 0 代 ）	129	65.1	32.6	▽2.3	-
	男 性 （ 5 0 代 ）	146	▲71.9	24.7	▽2.7	0.7
	男 性 （ 6 0 代 ）	156	▲73.7	▼21.8	3.8	0.6
	男性（70歳以上）	180	▲70.6	▼19.4	8.9	1.1
	男 性 小 計	805	▲65.7	▼27.7	6.1	0.5
	女性（10代・20代）	135	▼45.9	34.8	▲19.3	-
	女 性 （ 3 0 代 ）	131	▼48.9	▲43.5	7.6	-
	女 性 （ 4 0 代 ）	158	▽53.2	▲41.8	5.1	-
	女 性 （ 5 0 代 ）	176	56.8	34.7	8.5	-
	女 性 （ 6 0 代 ）	181	68.0	25.4	6.1	0.6
	女性（70歳以上）	198	66.2	28.8	4.5	0.5
	女 性 小 計	979	▼57.6	▲34.1	8.1	0.2
	無 回 答	-	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	150	▲72.7	▽22.0	5.3	-
	家族従業（家業手伝い）	25	68.0	24.0	8.0	-
	勤め（フルタイム）	713	59.5	32.5	8.0	-
	勤め（パートタイム）	244	60.7	34.0	4.5	0.8
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	316	61.1	32.0	7.0	-
	学 生	60	56.7	31.7	11.7	-
	そ の 他 の 無 職	189	60.3	31.7	7.4	0.5
	そ の 他	28	67.9	17.9	14.3	-
	無 回 答	59	59.3	30.5	5.1	▲5.1
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	168	58.9	35.1	6.0	-
	6 5 歳 以 上 の 方	583	▲68.1	▼25.4	6.2	0.3
	病気などで寝たきりの方	13	53.8	30.8	15.4	-
	身体の不自由な方	119	65.5	26.1	8.4	-
	い ず れ も い な い	930	▼57.8	▲34.5	7.5	0.1
居住形態別	一 戸 建 て	841	▲66.3	▼27.8	▼5.5	0.4
	マンション・アパート	903	▼56.4	▲34.3	▲9.0	0.3
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	31	67.7	29.0	3.2	-
	無 回 答	9	55.6	44.4	-	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	812	▲66.7	▼28.1	▼5.0	0.1
	火災など、災害で119番通報	63	65.1	25.4	7.9	1.6
	仕事で消防署に行ったことがある	234	▲73.5	▼22.6	▽3.4	0.4
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	▲72.4	▼22.8	▽4.8	-
	特 に 関 わ り は な い	540	▼50.7	▲38.9	▲10.2	0.2
	そ の 他	111	△71.2	24.3	4.5	-
全 体		1784	61.3	31.2	7.2	0.3

Q 1 3 消防団への入団意思

		n	1 入団したい	2 条件が合えば入団してもよい	3 入団したいと思わない	4 無回答
居住地地域別	都心地域	54	1.9	▽5.6	90.7	1.9
	山手地域	117	1.7	17.1	81.2	-
	下町地域	130	0.8	15.4	80.8	3.1
	東部地域	208	1.0	15.9	81.3	1.9
	西部地域	356	0.6	18.5	80.3	0.6
	南部地域	136	1.5	15.4	82.4	0.7
	北部地域	116	2.6	19.0	▽75.0	3.4
	西多摩地域	47	△4.3	10.6	83.0	2.1
	南多摩地域	177	0.6	18.1	79.7	1.7
	北多摩西部地域	85	1.2	8.2	△90.6	-
	北多摩北部地域	96	-	13.5	86.5	-
	北多摩南部地域	128	-	13.3	84.4	2.3
	無回答	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	79	-	△24.1	75.9	-
	男性（30代）	95	-	20.0	78.9	1.1
	男性（40代）	126	1.6	▲26.2	▼72.2	-
	男性（50代）	141	2.1	19.1	77.3	1.4
	男性（60代）	149	1.3	20.1	77.9	0.7
	男性（70歳以上）	162	2.5	10.5	83.3	▲3.7
	男性小計	752	1.5	▲19.3	▼77.9	1.3
	女性（10代・20代）	109	0.9	17.4	80.7	0.9
	女性（30代）	121	0.8	15.7	83.5	-
	女性（40代）	150	-	16.7	83.3	-
	女性（50代）	161	1.2	14.9	83.2	0.6
	女性（60代）	169	-	11.8	△87.6	0.6
	女性（70歳以上）	188	1.1	▼3.7	▲89.9	▲5.3
	女性小計	898	0.7	▼12.7	▲85.2	1.4
	無回答	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	142	0.7	14.8	81.7	2.8
	家族従業（家業手伝い）	23	-	4.3	91.3	4.3
	勤め（フルタイム）	656	1.1	▲22.1	▼75.9	0.9
	勤め（パートタイム）	231	1.3	16.9	81.4	0.4
	無職の主婦・主夫	294	1.0	▼6.8	▲89.8	2.4
	学生	53	-	17.0	83.0	-
	その他の無職	174	1.7	▽10.3	85.6	2.3
	その他の	24	-	8.3	91.7	-
	無回答	53	-	7.5	△92.5	-
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	158	1.3	19.6	78.5	0.6
	65歳以上の方	545	1.7	▼12.3	84.4	1.7
	病気などで寝たきりの方	11	▲9.1	18.2	72.7	-
	身体の不自由な方	109	1.8	11.0	85.3	1.8
	いずれもいない	859	0.9	▲18.0	▽79.9	1.2
居住形態別	一戸建て	792	1.0	15.4	81.4	△2.1
	マンション・アパート	819	1.0	15.8	82.5	▽0.7
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	30	3.3	23.3	73.3	-
	無回答	9	-	11.1	88.9	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	770	0.9	15.6	81.9	1.6
	火災など、災害で119番通報	57	1.8	14.0	82.5	1.8
	仕事で消防署に行ったことがある	225	1.8	▲21.8	▼73.8	2.7
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	414	△1.9	▲21.0	▼76.1	1.0
	特に関わりはない	484	0.6	▽12.6	▲86.0	0.8
	その他	106	1.9	21.7	▽74.5	1.9
全体		1650	1.0	15.7	81.9	1.4

Q 1 4 消防団の入団検討に必要な情報

		n	1 活動 内容 の 詳細	2 活動 の 頻度	3 活動 時間 の 長さ	4 実 際 に 活 動 し て い る 人 の 声	5 報 酬 及 び 手 当 等 の 詳 細	6 入 団 方 法	7 受 講 で き る 講 座 や 研 修 内 容	8 そ の 他
居住地域別	都 心 地 域	4	75.0	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-
	山 手 地 域	22	81.8	72.7	63.6	54.5	45.5	45.5	45.5	4.5
	下 町 地 域	21	81.0	61.9	47.6	38.1	14.3	▽14.3	52.4	4.8
	東 部 地 域	35	71.4	68.6	42.9	31.4	25.7	25.7	34.3	14.3
	西 部 地 域	68	80.9	△79.4	52.9	38.2	26.5	35.3	47.1	5.9
	南 部 地 域	23	82.6	65.2	47.8	52.2	30.4	47.8	39.1	4.3
	北 部 地 域	24	83.3	66.7	33.3	29.2	33.3	50.0	41.7	4.2
	西 多 摩 地 域	7	▽42.9	42.9	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3
	南 多 摩 地 域	33	81.8	66.7	51.5	48.5	33.3	42.4	51.5	12.1
	北 多 摩 西 部 地 域	8	87.5	50.0	62.5	50.0	50.0	50.0	50.0	12.5
	北 多 摩 北 部 地 域	13	76.9	76.9	53.8	53.8	38.5	23.1	30.8	7.7
	北 多 摩 南 部 地 域	17	70.6	70.6	52.9	41.2	23.5	29.4	35.3	11.8
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	19	73.7	78.9	△73.7	47.4	▲57.9	52.6	42.1	10.5
	男 性 （ 3 0 代 ）	19	84.2	84.2	47.4	36.8	47.4	31.6	▽21.1	-
	男 性 （ 4 0 代 ）	35	88.6	77.1	57.1	37.1	31.4	28.6	45.7	5.7
	男 性 （ 5 0 代 ）	30	73.3	66.7	60.0	33.3	36.7	23.3	26.7	13.3
	男 性 （ 6 0 代 ）	32	▽62.5	59.4	40.6	25.0	▼6.3	34.4	40.6	6.3
	男性（70歳以上）	20	65.0	▼30.0	▼15.0	25.0	-	30.0	40.0	▲25.0
	男 性 小 計	155	74.8	66.5	49.7	▼33.5	28.4	32.3	▽36.8	9.7
	女性（10代・20代）	20	85.0	80.0	45.0	50.0	▲55.0	△60.0	60.0	5.0
	女 性 （ 3 0 代 ）	20	85.0	80.0	70.0	55.0	35.0	35.0	50.0	-
	女 性 （ 4 0 代 ）	25	84.0	72.0	44.0	40.0	16.0	36.0	44.0	-
	女 性 （ 5 0 代 ）	26	76.9	73.1	53.8	57.7	34.6	42.3	38.5	7.7
	女 性 （ 6 0 代 ）	20	80.0	70.0	40.0	50.0	10.0	30.0	60.0	10.0
	女性（70歳以上）	9	100.0	66.7	44.4	44.4	33.3	22.2	55.6	22.2
	女 性 小 計	120	83.3	74.2	50.0	▲50.0	30.0	39.2	△50.0	5.8
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	22	81.8	▼45.5	31.8	31.8	22.7	31.8	36.4	13.6
	家族従業（家業手伝い）	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	勤め（フルタイム）	152	79.6	73.7	53.9	42.1	△34.2	33.6	42.8	5.9
	勤め（パートタイム）	42	▽66.7	66.7	45.2	35.7	19.0	33.3	45.2	7.1
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	22	90.9	81.8	63.6	50.0	18.2	27.3	36.4	13.6
	学 生	9	66.7	88.9	66.7	44.4	44.4	▲77.8	44.4	-
	そ の 他 の 無 職	21	81.0	57.1	▽23.8	38.1	19.0	47.6	42.9	9.5
	そ の 他	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	無 回 答	4	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	75.0	▲50.0
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	33	84.8	81.8	60.6	39.4	21.2	27.3	27.3	6.1
	6 5 歳 以 上 の 方	75	80.0	64.0	49.3	34.7	24.0	34.7	38.7	8.0
	病 気 な ど で 寝 た き り の 方	3	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	-
	身 体 の 不 自 由 な 方	14	85.7	64.3	42.9	28.6	28.6	▽7.1	42.9	7.1
	い ず れ も い な い	163	76.7	70.6	48.5	44.8	31.3	37.4	45.4	8.6
居住形態別	一 戸 建 て	129	79.1	69.8	△56.6	38.0	31.8	36.4	38.8	9.3
	マンション・アパート	137	77.4	69.3	▽43.8	43.1	25.5	35.0	46.0	6.6
	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅 ・ 寮 ・ 寄 宿 舎 な ど	8	87.5	75.0	37.5	50.0	37.5	25.0	37.5	12.5
	無 回 答	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	127	77.2	▽63.0	46.5	37.0	26.8	29.9	▼33.9	10.2
	火災など、災害で119番通報	9	100.0	55.6	33.3	55.6	22.2	△66.7	44.4	-
	仕事で消防署に行ったことがある	52	76.9	69.2	46.2	38.5	23.1	44.2	53.8	5.8
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	94	76.6	72.3	45.7	43.6	26.6	34.0	46.8	8.5
	特 に 関 わ り は な い	64	81.3	70.3	57.8	50.0	31.3	39.1	△56.3	6.3
	そ の 他	25	72.0	68.0	44.0	32.0	20.0	40.0	52.0	△20.0
全 体		275	78.5	69.8	49.8	40.7	29.1	35.3	42.5	8.0

Q 1 5 消防団員の待遇について知っていること

		n	1 る 年 額 報 酬 が 支 払 わ れ	2 災 害 や 警 戒 で 出 場 し た 場 合 は 、 手 当 が 支 払 わ れ	3 功 労 に 応 じ て 表 彰 制 度 が あ る	4 消 防 団 活 動 で け が な ど し た 場 合 は 、 補 償 制 度 が あ る	5 消 防 団 の 活 動 服 や 制 服 が 支 給 さ れ る	6 特 別 職 の 地 方 公 務 員 で あ る	7 全 て 知 ら な い
居住地域別	都 心 地 域	58	10.3	17.2	△27.6	10.3	25.9	▲15.5	58.6
	山 手 地 域	131	▽4.6	8.4	14.5	5.3	23.7	3.8	68.7
	下 町 地 域	138	10.1	12.3	11.6	8.0	21.0	7.2	70.3
	東 部 地 域	219	8.7	▽8.7	17.8	8.2	19.2	7.3	71.2
	西 部 地 域	382	8.1	10.2	▽13.6	8.1	20.9	4.7	70.4
	南 部 地 域	149	7.4	9.4	13.4	11.4	17.4	5.4	70.5
	北 部 地 域	120	11.7	14.2	17.5	10.8	27.5	6.7	63.3
	西 多 摩 地 域	47	▲38.3	▲38.3	▲42.6	▲29.8	▲53.2	▲21.3	▼31.9
	南 多 摩 地 域	181	14.4	17.1	20.4	9.9	23.8	6.1	65.2
	北 多 摩 西 部 地 域	91	14.3	△20.9	23.1	15.4	△33.0	7.7	▽54.9
	北 多 摩 北 部 地 域	104	8.7	15.4	14.4	8.7	19.2	4.8	68.3
	北 多 摩 南 部 地 域	141	10.6	10.6	20.6	10.6	22.7	5.0	65.2
性別・年齢別	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性（10代・20代）	91	6.6	12.1	13.2	4.4	19.8	6.6	65.9
	男 性 （ 3 0 代 ）	101	12.9	9.9	11.9	9.9	▽14.9	6.9	73.3
	男 性 （ 4 0 代 ）	129	△15.5	15.5	15.5	9.3	▼13.2	3.9	72.9
	男 性 （ 5 0 代 ）	145	▲18.6	△19.3	19.3	11.7	28.3	▲11.7	60.0
	男 性 （ 6 0 代 ）	153	14.4	▲24.2	▲26.1	▲19.0	▲32.7	△10.5	▼56.2
	男性（70歳以上）	174	13.2	△17.8	▲25.3	▲16.7	△30.5	8.0	▽59.2
	男 性 小 計	793	▲14.0	▲17.3	△19.7	▲12.7	24.5	▲8.2	▽63.6
	女性（10代・20代）	135	▽4.4	▼5.2	▽9.6	▽3.7	▼14.1	5.2	▲77.0
	女 性 （ 3 0 代 ）	130	8.5	▼3.8	▽10.8	▼2.3	21.5	3.1	73.1
	女 性 （ 4 0 代 ）	157	▼3.8	▽7.0	14.6	▽5.1	▼12.1	▽2.5	▲77.1
	女 性 （ 5 0 代 ）	175	8.0	9.7	14.3	6.9	21.1	4.6	72.0
	女 性 （ 6 0 代 ）	178	10.7	15.2	20.8	12.4	▲30.9	7.9	▽58.4
	女性（70歳以上）	193	7.8	11.4	19.2	11.4	28.0	6.2	61.7
	女 性 小 計	968	▼7.3	▼9.2	▽15.4	▼7.4	21.9	▼5.1	△69.1
職業別	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 営 業 主	148	▲19.6	▲21.6	21.6	▲17.6	28.4	10.1	60.1
	家族従業（家業手伝い）	25	8.0	4.0	12.0	12.0	24.0	4.0	76.0
	勤め（フルタイム）	709	10.4	11.3	▽15.0	▼7.1	▽20.2	6.1	△69.5
	勤め（パートタイム）	239	▽6.7	10.9	16.3	7.5	22.6	4.6	67.8
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	313	11.2	14.1	20.8	11.5	△28.1	8.0	62.3
	学 生	60	6.7	6.7	13.3	6.7	25.0	6.7	68.3
	そ の 他 の 無 職	185	8.1	15.1	18.4	11.9	23.2	6.5	65.9
	そ の 他	28	10.7	10.7	10.7	17.9	14.3	7.1	67.9
	無 回 答	54	7.4	14.8	△27.8	16.7	20.4	1.9	61.1
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	168	13.1	11.3	13.1	9.5	19.6	6.5	70.8
	6 5 歳 以 上 の 方	573	11.7	▲17.3	▲23.0	▲14.0	▲29.1	7.9	▼60.9
	病気などで寝たきりの方	12	25.0	16.7	16.7	8.3	△50.0	8.3	50.0
	身体の不自由な方	117	10.3	16.2	19.7	△15.4	27.4	10.3	63.2
	い ず れ も い な い	923	9.4	▼10.5	▼14.7	▼7.3	▼20.0	6.0	▲69.6
居住形態別	一 戸 建 て	827	▲12.8	▲15.6	△19.7	11.2	▲27.2	7.3	▽64.1
	マンション・アパート	894	▼7.9	▼10.3	▼14.8	▽8.3	▼19.5	5.7	△69.4
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	31	9.7	12.9	19.4	12.9	16.1	9.7	58.1
	無 回 答	9	22.2	11.1	△44.4	22.2	22.2	-	55.6
	消防との 関わり								
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	801	11.9	▲15.1	▲21.2	▲12.4	▲26.2	△8.1	▼62.9
	火災など、災害で119番通報	62	△19.4	19.4	25.8	▲22.6	25.8	11.3	59.7
	仕事で消防署に行ったことがある	230	▲18.3	▲20.9	▲29.1	▲16.1	▲34.8	▲11.7	▼53.5
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	429	▲17.5	▲18.6	▲26.8	▲16.3	▲34.7	▲12.1	▼53.1
	特 に 関 わ り は な い	537	▼5.6	▼8.6	▼9.7	▼5.8	▼15.3	▼2.6	▲76.7
その他	そ の 他	110	15.5	14.5	▲30.0	10.0	△31.8	5.5	▼54.5
	全 体	1761	10.3	12.8	17.3	9.8	23.1	6.5	66.6

(5) 火災予防に関すること

Q 1 6 住宅用火災警報器の設置状況

		n	1 全てに設置している	2 ない 一部にしか設置していない	3 住宅用火災警報器は設置されていない スプリンクラー設備又は自動火災報知設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない	4 全く設置していない	5 無回答
居住地域別	都心地域	59	67.8	▼6.8	▲13.6	10.2	1.7
	山手地域	132	53.8	28.0	6.8	11.4	-
	下町地域	139	53.2	23.7	5.0	16.5	1.4
	東部地域	223	52.0	27.8	5.4	14.3	0.4
	西部地域	385	▲62.3	▼20.0	5.2	12.2	0.3
	南部地域	151	59.6	23.2	5.3	9.9	△2.0
	北部地域	124	50.8	▲35.5	4.8	8.9	-
	西多摩地域	47	53.2	34.0	2.1	10.6	-
	南多摩地域	184	56.5	24.5	1.6	16.8	0.5
	北多摩西部地域	91	58.2	28.6	-	13.2	-
	北多摩北部地域	104	▽44.2	△34.6	1.9	18.3	1.0
	北多摩南部地域	145	57.2	24.8	2.1	15.9	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性(10代・20代)	92	56.5	27.2	5.4	10.9	-
	男性(30代)	102	59.8	22.5	7.8	9.8	-
	男性(40代)	129	▲72.1	▽17.1	2.3	8.5	-
	男性(50代)	146	58.9	24.0	2.7	14.4	-
	男性(60代)	156	▽46.8	△33.3	3.8	14.7	1.3
	男性(70歳以上)	180	50.0	31.1	3.9	14.4	0.6
	男性小計	805	56.5	26.5	4.1	12.5	0.4
	女性(10代・20代)	135	55.6	21.5	5.2	17.0	0.7
	女性(30代)	131	▲67.2	18.3	3.1	10.7	0.8
	女性(40代)	158	▲69.6	▼16.5	5.7	▽8.2	-
	女性(50代)	176	59.1	26.7	▽1.1	12.5	0.6
	女性(60代)	181	▼45.9	28.2	▲8.8	14.9	▲2.2
	女性(70歳以上)	198	▼45.5	30.8	4.0	▲19.7	-
	女性小計	979	56.2	24.3	4.7	14.1	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	150	58.7	25.3	6.7	8.7	0.7
	家族従業(家業手伝い)	25	56.0	20.0	4.0	20.0	-
	勤め(フルタイム)	713	▲60.9	▽22.6	3.9	12.1	0.6
	勤め(パートタイム)	244	56.1	26.2	4.5	12.3	0.8
	無職の主婦・主夫	316	▽50.3	26.6	4.7	△17.7	0.6
	学生	60	60.0	16.7	5.0	18.3	-
	その他の無職	189	▼43.9	▲34.9	4.8	16.4	-
	その他	28	67.9	21.4	-	10.7	-
	無回答	59	59.3	28.8	3.4	6.8	1.7
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	168	▲73.2	▼11.9	7.1	▽7.7	-
	65歳以上の方	583	▼48.2	▲31.4	4.6	15.3	0.5
	病気などで寝たきりの方	13	53.8	23.1	-	23.1	-
	身体の不自由な方	119	58.8	25.2	3.4	12.6	-
	いずれもいない	930	58.4	▽23.1	4.4	13.4	0.6
居住形態別	一戸建て	841	▼44.9	▲33.9	▼1.1	▲19.7	0.4
	マンション・アパート	903	▲66.3	▼17.4	▲7.4	▼8.1	0.8
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	31	△74.2	16.1	9.7	-	-
	無回答	9	55.6	44.4	-	-	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	812	54.7	△27.7	3.6	13.7	0.4
	火災など、災害で119番通報	63	58.7	25.4	4.8	11.1	-
	仕事で消防署に行ったことがある	234	56.0	30.3	3.4	9.8	0.4
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	60.2	26.7	3.9	▼8.5	0.7
	特に関わりはない	540	55.4	23.9	▲6.5	14.1	0.2
	その他	111	61.3	20.7	5.4	12.6	-
全体		1784	56.3	25.3	4.4	13.4	0.6

Q 1 7 住宅用火災警報器の作動確認の実施状況

		n	1 る確經設置 認過から をして10年 した以上 ことが あ動上	2 い確經設置 認過から をして10年 が作以 な動上	3 る確過設置 認してから しない10年 が作は あ動経	4 い確過設置 認してから しない10年 が作は な動経	5 したこ がある 設置した 時期は分 を	6 したこ がない 設置した 時期は分 を	7 無 回答
居住地域別	都 心 地 域	44	▲40.9	4.5	18.2	15.9	4.5	11.4	▲4.5
	山 手 地 域	108	21.3	10.2	15.7	18.5	△14.8	17.6	1.9
	下 町 地 域	107	21.5	9.3	24.3	17.8	11.2	15.0	0.9
	東 部 地 域	178	19.1	9.0	26.4	20.8	8.4	15.2	1.1
	西 部 地 域	317	21.8	12.3	18.9	23.7	8.2	15.1	-
	南 部 地 域	125	20.8	8.8	24.0	18.4	12.0	15.2	0.8
	北 部 地 域	107	16.8	15.0	19.6	16.8	8.4	△22.4	0.9
	西 多 摩 地 域	41	▽7.3	22.0	26.8	31.7	-	12.2	-
	南 多 摩 地 域	149	18.1	17.4	19.5	24.8	7.4	12.8	-
	北 多 摩 西 部 地 域	79	24.1	19.0	20.3	17.7	5.1	13.9	-
	北 多 摩 北 部 地 域	82	▽11.0	△22.0	25.6	19.5	7.3	14.6	-
	北 多 摩 南 部 地 域	119	18.5	14.3	21.8	26.9	4.2	13.4	0.8
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	77	13.0	14.3	20.8	22.1	5.2	△24.7	-
	男 性 （ 3 0 代 ）	84	▽9.5	8.3	25.0	25.0	11.9	20.2	-
	男 性 （ 4 0 代 ）	115	21.7	8.7	27.8	21.7	9.6	10.4	-
	男 性 （ 5 0 代 ）	121	22.3	15.7	26.4	15.7	4.1	15.7	-
	男 性 （ 6 0 代 ）	125	24.0	14.4	21.6	18.4	8.8	12.0	0.8
	男性（70歳以上）	146	26.0	17.1	16.4	17.8	8.2	12.3	△2.1
	男 性 小 計	668	20.7	13.5	22.8	19.6	7.9	15.0	0.6
	女性（10代・20代）	104	19.2	14.4	16.3	19.2	9.6	21.2	-
	女 性 （ 3 0 代 ）	112	▼8.9	8.0	25.0	26.8	9.8	21.4	-
	女 性 （ 4 0 代 ）	136	20.6	10.3	22.8	19.9	9.6	16.2	0.7
	女 性 （ 5 0 代 ）	151	19.9	9.3	23.8	19.9	11.3	15.9	-
	女 性 （ 6 0 代 ）	134	24.6	16.4	15.7	26.9	5.2	11.2	-
	女性（70歳以上）	151	21.2	17.2	17.9	24.5	6.6	▽9.3	▲3.3
	女 性 小 計	788	19.4	12.7	20.3	22.8	8.6	15.4	0.8
	無 回 答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	126	24.6	7.9	22.2	20.6	10.3	14.3	-
	家族従業（家業手伝い）	19	15.8	15.8	10.5	△42.1	5.3	10.5	-
	勤め（フルタイム）	595	▽17.1	11.6	22.4	△24.0	8.4	16.3	▽0.2
	勤め（パートタイム）	201	18.9	12.4	20.4	19.4	7.5	△20.9	0.5
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	243	18.5	16.0	24.7	21.8	9.1	▼8.6	1.2
	学 生	46	△32.6	15.2	15.2	21.7	8.7	6.5	-
	そ の 他 の 無 職	149	25.5	18.1	18.1	▽13.4	8.1	14.1	▲2.7
	そ の 他	25	20.0	12.0	24.0	12.0	8.0	24.0	-
	無 回 答	52	26.9	13.5	15.4	17.3	3.8	21.2	1.9
世帯構成別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	143	▽11.9	▼4.2	▲35.7	△28.7	8.4	11.2	-
	6 5 歳 以 上 の 方	464	21.8	△15.7	18.8	22.4	7.8	12.9	0.6
	病 気 な ど で 寝 た き り の 方	10	-	10.0	30.0	40.0	-	20.0	-
	身 体 の 不 自 由 な 方	100	23.0	16.0	18.0	22.0	10.0	10.0	1.0
	い ず れ も い な い	758	18.9	12.8	21.8	20.1	9.0	△17.0	0.5
居住形態別	一 戸 建 て	663	▽17.5	▲19.2	21.0	▲26.8	▼5.3	▼9.8	0.5
	マンション・アパート	756	△22.4	▼7.7	21.7	▼16.9	▲10.7	▲19.7	0.9
	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅 ・ 寮 ・ 寄 宿 舎 な ど	28	7.1	14.3	25.0	17.9	17.9	17.9	-
	無 回 答	9	44.4	11.1	22.2	-	-	22.2	-
	救急車を呼ぶため119番通報	669	20.8	14.2	22.0	21.2	8.1	▽13.0	0.7
消防との関わり	火災など、災害で119番通報	53	26.4	15.1	22.6	22.6	9.4	▽3.8	-
	仕事で消防署に行ったことがある	202	22.8	11.9	24.3	21.8	5.9	13.4	-
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	378	△23.8	13.8	19.3	20.9	8.7	13.0	0.5
	特 に 関 わ り は な い	428	17.5	12.6	20.6	20.8	8.2	▲19.9	0.5
	そ の 他	91	22.0	12.1	18.7	26.4	5.5	14.3	1.1
全 体		1456	20.0	13.0	21.4	21.4	8.3	15.2	0.7

Q 1 8 住宅用火災警報器の本体交換の実施状況

		n	1 実施 している	2 実施 していない	3 無 回 答
居住地 地域別	都 心 地 域	44	40.9	59.1	-
	山 手 地 域	108	37.0	60.2	2.8
	下 町 地 域	107	34.6	59.8	▲5.6
	東 部 地 域	178	▲41.6	▽56.7	1.7
	西 部 地 域	317	31.9	67.2	0.9
	南 部 地 域	125	39.2	60.0	0.8
	北 部 地 域	107	31.8	67.3	0.9
	西 多 摩 地 域	41	▽17.1	△82.9	-
	南 多 摩 地 域	149	27.5	70.5	2.0
	北 多 摩 西 部 地 域	79	24.1	△75.9	-
	北 多 摩 北 部 地 域	82	34.1	63.4	2.4
	北 多 摩 南 部 地 域	119	26.9	70.6	2.5
	無 回 答	-	-	-	-
性別・年 齢別	男性（10代・20代）	77	23.4	△76.6	-
	男 性 （ 3 0 代 ）	84	25.0	75.0	-
	男 性 （ 4 0 代 ）	115	36.5	62.6	0.9
	男 性 （ 5 0 代 ）	121	33.1	65.3	1.7
	男 性 （ 6 0 代 ）	125	△41.6	▽56.8	1.6
	男性（70歳以上）	146	36.3	61.6	2.1
	男 性 小 計	668	33.8	65.0	1.2
	女性（10代・20代）	104	▽22.1	▲77.9	-
	女 性 （ 3 0 代 ）	112	▽22.3	△75.0	2.7
	女 性 （ 4 0 代 ）	136	35.3	61.8	2.9
	女 性 （ 5 0 代 ）	151	33.8	64.2	2.0
	女 性 （ 6 0 代 ）	134	35.8	63.4	0.7
	女性（70歳以上）	151	39.1	▽57.0	△4.0
	女 性 小 計	788	32.2	65.6	2.2
	無 回 答	-	-	-	-
職業別	自 営 業 主	126	△41.3	57.9	0.8
	家族従業（家業手伝い）	19	36.8	63.2	-
	勤め（フルタイム）	595	▽29.2	▲69.7	1.0
	勤め（パートタイム）	201	33.3	63.7	3.0
	無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	243	37.9	▽59.7	2.5
	学 生	46	34.8	65.2	-
	そ の 他 の 無 職	149	30.9	66.4	2.7
	そ の 他	25	44.0	56.0	-
	無 回 答	52	28.8	67.3	3.8
世帯 構成 別	6 歳 以 下 の 乳 幼 児	143	29.4	68.5	2.1
	6 5 歳 以 上 の 方	464	33.8	64.4	1.7
	病気などで寝たきりの方	10	50.0	50.0	-
	身 体 の 不 自 由 な 方	100	△42.0	▽56.0	2.0
	い ず れ も い な い	758	32.8	65.7	1.5
居住 形態 別	一 戸 建 て	663	▼22.2	▲76.6	1.2
	マンション・アパート	756	▲42.1	▼55.7	2.2
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄 宿 舎 な ど	28	42.9	57.1	-
	無 回 答	9	33.3	66.7	-
	関わり				
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	669	35.4	63.1	1.5
	火災など、災害で119番通報	53	22.6	75.5	1.9
	仕事で消防署に行ったことがある	202	36.1	63.4	0.5
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	378	33.9	65.3	0.8
	特 に 関 わ り は な い	428	▼27.1	▲71.3	1.6
	そ の 他	91	29.7	64.8	▲5.5
全 体		1456	33.0	65.3	1.7

Q 1 9 住宅用火災警報器の本体交換及び定期点検の認知状況

		n	1 設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている	2 定期的な点検が必要であることを知っている	3 どちらも知っている	4 どちらも知らない	5 無回答
居住地域別	都心地域	59	▽3.4	▲64.4	11.9	▽20.3	-
	山手地域	132	12.9	45.5	7.6	33.3	0.8
	下町地域	139	10.1	48.2	5.8	34.5	1.4
	東部地域	223	16.6	41.3	8.1	32.7	1.3
	西部地域	385	15.1	42.3	6.0	35.6	1.0
	南部地域	151	14.6	47.7	6.6	29.1	2.0
	北部地域	124	12.9	42.7	6.5	37.9	-
	西多摩地域	47	17.0	36.2	10.6	36.2	-
	南多摩地域	184	△21.2	▽34.2	8.2	35.3	1.1
	北多摩西部地域	91	16.5	33.0	8.8	41.8	-
	北多摩北部地域	104	21.2	▼26.0	10.6	41.3	1.0
	北多摩南部地域	145	13.8	38.6	7.6	39.3	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	92	▽6.5	46.7	3.3	43.5	-
	男性（30代）	102	9.8	41.2	3.9	△45.1	-
	男性（40代）	129	△21.7	45.7	▽3.1	29.5	-
	男性（50代）	146	13.7	39.0	11.0	36.3	-
	男性（60代）	156	▲24.4	39.1	9.0	▽26.3	1.3
	男性（70歳以上）	180	20.0	40.0	8.9	30.0	1.1
	男性小計	805	△17.1	41.5	7.1	33.8	0.5
	女性（10代・20代）	135	▼6.7	45.9	5.2	41.5	0.7
	女性（30代）	131	▼5.3	△51.9	6.1	35.9	0.8
	女性（40代）	158	15.2	43.7	6.3	34.2	0.6
	女性（50代）	176	11.4	43.2	6.3	38.6	0.6
	女性（60代）	181	18.2	▽33.7	10.5	35.4	2.2
	女性（70歳以上）	198	19.7	▽34.3	△11.1	32.3	△2.5
	女性小計	979	▽13.5	41.3	7.9	36.1	1.3
	無回答	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	150	18.0	40.7	6.7	33.3	1.3
	家族従業（家業手伝い）	25	28.0	▼16.0	8.0	48.0	-
	勤め（フルタイム）	713	13.9	43.6	▽5.6	36.5	0.4
	勤め（パートタイム）	244	12.7	43.0	6.6	36.9	0.8
	無職の主婦・主夫	316	18.7	37.3	△10.4	31.3	△2.2
	学生	60	▼3.3	51.7	10.0	35.0	-
	その他の無職	189	△20.1	35.4	9.5	34.4	0.5
	その他	28	14.3	46.4	7.1	32.1	-
	無回答	59	▽5.1	47.5	11.9	32.2	3.4
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	168	16.7	44.0	6.0	33.3	-
	65歳以上の方	583	▲22.0	▼32.2	9.3	35.3	1.2
	病気などで寝たきりの方	13	30.8	15.4	15.4	30.8	△7.7
	身体の不自由な方	119	16.0	38.7	9.2	35.3	0.8
	いずれもない	930	▼11.8	▲45.7	6.6	35.3	0.6
居住形態別	一戸建て	841	▲19.0	▼29.1	8.0	▲42.9	1.0
	マンション・アパート	903	▼11.7	▲52.4	7.1	▼27.8	1.0
	社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など	31	9.7	51.6	3.2	35.5	-
	無回答	9	11.1	44.4	22.2	22.2	-
	無回答	9	11.1	44.4	22.2	22.2	-
消防との関わり	救急車を呼ぶため119番通報	812	△17.2	▽38.4	8.7	34.7	0.9
	火災など、災害で119番通報	63	14.3	31.7	△15.9	36.5	1.6
	仕事で消防署に行ったことがある	234	▲20.9	42.7	8.5	▼26.9	0.9
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	16.8	44.1	8.0	▽30.3	0.7
	特に関わりはない	540	▼11.7	42.0	6.7	△39.3	0.4
	その他	111	12.6	43.2	8.1	36.0	-
全体		1784	15.1	41.4	7.5	35.0	1.0

(6) 消防に対する要望

Q 2 0 A 東京消防庁に力を入れて欲しい取組【火災などの災害に関する取組】

		n	1 日常における火災、 救助への対応	2 大地震などによる大 規模災害時への対応	3 台風、集中豪雨など による水災・土砂災 害への対応	4 放射性物質、生物剤 の危険物及び毒物など の特殊災害対応	5 消防団の災害対応	6 都外及び国外への災 害活動支援	7 その他
居住地域別	都心地域	54	75.9	90.7	77.8	35.2	16.7	9.3	-
	山手地域	124	74.2	86.3	▽59.7	24.2	22.6	10.5	1.6
	下町地域	133	72.2	△89.5	73.7	27.8	16.5	9.0	1.5
	東部地域	210	71.0	▽77.6	71.9	23.8	18.1	▲16.2	1.9
	西部地域	367	78.7	83.1	67.6	25.3	16.1	8.7	1.1
	南部地域	139	72.7	79.9	66.2	30.9	21.6	8.6	2.2
	北部地域	116	75.9	86.2	72.4	27.6	20.7	12.1	1.7
	西多摩地域	46	▽60.9	78.3	▲87.0	17.4	15.2	8.7	2.2
	南多摩地域	177	75.1	87.0	70.6	27.1	23.2	14.7	0.6
	北多摩西部地域	86	76.7	81.4	70.9	19.8	17.4	8.1	-
	北多摩北部地域	97	81.4	82.5	62.9	27.8	16.5	12.4	2.1
	北多摩南部地域	136	76.5	80.9	67.6	25.7	19.9	9.6	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	87	66.7	77.0	▽57.5	23.0	11.5	9.2	-
	男性（30代）	100	▽66.0	77.0	77.0	24.0	15.0	12.0	1.0
	男性（40代）	126	77.8	84.1	65.1	19.8	17.5	10.3	0.8
	男性（50代）	141	80.9	▼75.2	65.2	25.5	17.0	7.1	2.1
	男性（60代）	148	71.6	84.5	65.5	25.7	17.6	11.5	2.0
	男性（70歳以上）	153	△81.7	80.4	65.4	28.1	24.2	11.8	2.0
	男性小計	755	75.1	▼80.0	▼66.0	24.6	17.7	10.3	1.5
	女性（10代・20代）	129	▼61.2	80.6	66.7	▽17.1	13.2	6.2	0.8
	女性（30代）	128	▽67.2	85.2	△77.3	28.1	14.8	12.5	0.8
	女性（40代）	153	71.9	87.6	70.6	23.5	15.7	9.8	-
	女性（50代）	171	▲86.5	▲91.2	▲79.5	27.5	20.5	12.9	△2.9
	女性（60代）	166	77.7	86.1	71.7	31.9	22.9	12.7	-
	女性（70歳以上）	183	80.3	84.2	66.7	△32.2	▲26.8	13.1	1.6
	女性小計	930	75.2	▲86.0	▲72.0	27.2	19.6	11.4	1.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	143	69.9	81.8	66.4	29.4	21.0	14.0	1.4
	家族従業（家業手伝い）	21	71.4	81.0	66.7	9.5	14.3	-	-
	勤め（フルタイム）	706	73.9	82.2	70.5	▼22.7	▼13.7	▽8.6	1.4
	勤め（パートタイム）	241	73.4	86.7	71.0	22.8	15.4	9.1	0.8
	無職の主婦・主夫	307	△79.8	86.6	68.4	▲34.2	▲25.7	11.7	1.3
	学生	58	▽63.8	84.5	▼53.4	22.4	19.0	17.2	-
	その他の無職	181	△81.2	81.2	72.9	28.2	▲28.2	▲17.1	1.7
	その他	27	81.5	▽66.7	59.3	37.0	29.6	14.8	-
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	164	72.6	83.5	70.7	23.2	▽12.8	13.4	-
	65歳以上の方	563	76.9	84.5	69.6	▲31.3	▲24.3	13.0	▲2.3
	病気などで寝たきりの方	13	84.6	100.0	92.3	46.2	30.8	△30.8	-
	身体の不自由な方	112	79.5	83.9	△77.7	△35.7	▲31.3	13.4	2.7
	いずれもない	917	74.9	83.1	69.1	▼23.1	▼16.0	▽9.2	0.8
居住形態別	一戸建て	800	▲78.6	85.0	70.1	26.6	19.9	10.9	1.3
	マンション・アパート	854	▼71.9	81.7	69.0	26.0	17.8	10.8	1.3
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	74.2	83.9	58.1	12.9	16.1	16.1	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	108	75.0	81.5	73.1	28.7	20.4	13.0	▲5.6
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	775	77.3	84.6	70.1	△28.6	19.5	11.4	1.4
	火災など、災害で119番通報	60	80.0	91.7	65.0	28.3	18.3	13.3	1.7
	仕事で消防署に行ったことがある	219	74.4	83.1	74.9	31.1	20.5	△15.1	1.4
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	415	75.9	82.2	68.7	24.6	19.0	9.6	1.2
	特に関わりはない	514	▽72.0	81.3	68.5	23.2	16.7	9.3	1.0
	その他	108	75.0	81.5	73.1	28.7	20.4	13.0	▲5.6
全体		1685	75.1	83.3	69.3	26.1	18.8	10.9	1.2

Q 2 0 B 東京消防庁に力を入れて欲しい取組【救急業務に関する取組】

		n	1 救急隊の現場活動	2 応急手当（AEDの 使い方など）の普及活動	3 救急相談センター（#7119）のサービス内容	4 その他
居住地域別	都心地域	54	72.2	59.3	50.0	-
	山手地域	120	70.8	60.8	45.8	0.8
	下町地域	130	61.5	63.8	41.5	1.5
	東部地域	204	67.6	60.3	40.7	1.5
	西部地域	363	▲74.4	60.3	43.8	1.9
	南部地域	138	64.5	60.1	35.5	1.4
	北部地域	117	69.2	63.2	43.6	1.7
	西多摩地域	46	58.7	50.0	41.3	-
	南多摩地域	177	66.1	△68.9	45.2	2.3
	北多摩西部地域	85	67.1	58.8	42.4	-
	北多摩北部地域	97	74.2	58.8	35.1	-
	北多摩南部地域	134	64.9	60.4	40.3	1.5
	無回答	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	86	65.1	54.7	37.2	-
	男性（30代）	100	60.0	58.0	40.0	1.0
	男性（40代）	127	72.4	58.3	42.5	1.6
	男性（50代）	139	70.5	58.3	41.7	2.2
	男性（60代）	146	74.0	60.3	39.7	2.1
	男性（70歳以上）	150	75.3	60.7	39.3	0.7
	男性小計	748	70.5	58.7	40.2	1.3
	女性（10代・20代）	131	▼56.5	61.8	46.6	-
	女性（30代）	126	63.5	▲73.8	38.1	1.6
	女性（40代）	154	63.0	68.2	36.4	1.3
	女性（50代）	173	72.3	57.2	△50.3	2.3
	女性（60代）	162	69.8	63.0	43.2	-
	女性（70歳以上）	171	73.7	59.1	45.6	2.9
	女性小計	917	67.1	63.4	43.6	1.4
	無回答	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	142	70.4	▽53.5	41.5	1.4
	家族従業（家業手伝い）	21	57.1	71.4	47.6	-
	勤め（フルタイム）	702	66.7	60.3	43.6	0.9
	勤め（パートタイム）	239	66.9	△67.8	39.3	1.3
	無職の主婦・主夫	297	73.1	62.0	38.4	1.3
	学生	60	60.0	66.7	41.7	-
	その他の無職	175	73.7	58.9	47.4	2.9
	その他の	28	67.9	57.1	35.7	▲10.7
	無回答	1	100.0	100.0	-	-
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	165	64.8	△69.1	39.4	1.2
	65歳以上の方	553	70.0	64.4	43.8	0.9
	病気などで寝たきりの方	12	75.0	83.3	△75.0	-
	身体の不自由な方	115	70.4	67.8	49.6	△3.5
	いずれもない	908	68.0	▽59.0	40.4	1.5
居住形態別	一戸建て	790	▲71.8	61.3	40.6	1.6
	マンション・アパート	844	▽66.2	61.3	43.1	1.2
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	▽51.6	61.3	51.6	-
	無回答	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	766	△71.7	61.9	42.6	1.3
	火災など、災害で119番通報	61	77.0	57.4	39.3	-
	仕事で消防署に行ったことがある	217	69.1	62.2	46.1	2.3
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	415	69.9	64.3	44.1	1.2
	特に関わりはない	505	▽65.1	59.0	41.0	1.0
	その他	105	70.5	66.7	41.9	△3.8
全 体		1665	68.6	61.3	42.1	1.4

Q20C東京消防庁に力を入れて欲しい取組【都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組】

		n	1 災害地域における 防災活動に関する普及	2 災害地域における 防災訓練指導	3 学生や児童への 防災に関する普及啓 発活動	4 高齢者や身体障害 者への防災に関する 普及啓発活動	5 消防博物館や防災 に関する施設の充実	6 その他
居住地域別	都心地域	53	67.9	58.5	45.3	60.4	15.1	-
	山手地域	124	58.1	52.4	47.6	48.4	11.3	-
	下町地域	131	57.3	50.4	45.8	56.5	13.0	-
	東部地域	205	54.6	49.3	52.2	57.1	14.1	0.5
	西部地域	366	62.0	47.8	48.9	49.5	▽9.3	▲2.5
	南部地域	137	62.8	54.0	48.9	51.8	10.2	0.7
	北部地域	115	58.3	49.6	53.9	55.7	▲22.6	1.7
	西多摩地域	45	57.8	57.8	48.9	62.2	15.6	-
	南多摩地域	179	60.9	△57.5	50.8	57.5	△17.3	0.6
	北多摩西部地域	86	51.2	51.2	55.8	57.0	9.3	-
	北多摩北部地域	97	58.8	44.3	45.4	53.6	9.3	1.0
	北多摩南部地域	135	58.5	45.2	51.1	51.1	▽6.7	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	88	58.0	▽37.5	50.0	45.5	15.9	1.1
	男性（30代）	99	53.5	50.5	△59.6	▼38.4	16.2	1.0
	男性（40代）	126	61.9	48.4	57.1	▼40.5	11.9	0.8
	男性（50代）	141	65.2	48.2	50.4	53.2	11.3	-
	男性（60代）	147	△67.3	57.1	43.5	57.8	12.2	0.7
	男性（70歳以上）	154	63.6	51.3	▼33.8	▲67.5	13.6	1.9
	男性小計	755	△62.4	49.7	47.9	52.1	13.2	0.9
	女性（10代・20代）	127	▼42.5	44.1	54.3	▼42.5	15.7	-
	女性（30代）	127	53.5	48.0	57.5	▽43.3	11.8	0.8
	女性（40代）	155	58.1	46.5	△58.7	▼43.2	8.4	▲3.2
	女性（50代）	166	△67.5	54.8	51.2	58.4	12.0	1.2
	女性（60代）	168	58.3	△58.9	45.2	▲67.9	12.5	0.6
	女性（70歳以上）	175	55.4	52.6	43.4	▲68.6	9.7	-
	女性小計	918	▽56.5	51.3	51.2	55.2	11.5	1.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	141	62.4	48.9	53.9	53.2	14.9	-
	家族従業（家業手伝い）	22	45.5	40.9	59.1	59.1	4.5	4.5
	勤め（フルタイム）	704	58.7	50.0	49.6	▼47.0	10.8	0.9
	勤め（パートタイム）	239	55.6	49.0	51.9	56.9	13.0	1.3
	無職の主婦・主夫	303	58.7	52.8	45.9	▲63.4	9.9	0.7
	学生	59	▽45.8	50.8	△62.7	44.1	15.3	-
	その他の無職	180	△67.8	54.4	43.3	△61.7	△17.2	2.2
	その他の	24	75.0	41.7	62.5	62.5	△29.2	-
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	165	55.8	52.1	▲68.5	▼37.6	15.8	1.2
	65歳以上の方	565	△63.4	53.1	▼45.1	▲64.2	12.4	0.5
	病気などで寝たきりの方	13	69.2	61.5	46.2	69.2	7.7	-
	身体の不自由な方	113	57.5	47.8	42.5	▲70.8	12.4	1.8
	いずれもいない	901	57.2	48.6	49.9	▼50.4	11.7	1.1
居住形態別	一戸建て	792	△62.2	51.9	49.9	54.3	11.6	0.5
	マンション・アパート	850	▽56.4	49.4	50.4	53.1	12.7	1.4
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	58.1	48.4	▽29.0	61.3	19.4	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	767	60.9	52.9	49.8	▲57.5	13.6	0.8
	火災など、災害で119番通報	61	67.2	59.0	50.8	55.7	13.1	1.6
	仕事で消防署に行ったことがある	218	64.7	53.2	△57.3	56.4	▲18.3	0.5
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	414	61.8	△55.8	▲55.8	54.6	▲17.6	1.0
	特に関わりはない	510	57.1	▼44.5	47.6	▼47.8	▽9.8	1.2
	その他	106	△69.8	▲63.2	▲66.0	50.0	15.1	▲3.8
全体		1673	59.2	50.6	49.7	53.8	12.3	1.0

Q 2 0 D 東京消防庁に力を入れて欲しい取組【火災予防に関する取組】

		n	1 の共用事業所（共同住宅）への 防火防災指導	2 不特定多数の人が 集まる施設への防火 防災に関する規制	3 火災発生時の危険性 が高い施設の公表	4 防火上優良であると 認定された建物の表 示	5 暮らしの中の火災事 例に関する情報提供	6 その他
居住地域別	都心地域	53	54.7	49.1	66.0	39.6	49.1	-
	山手地域	123	45.5	49.6	54.5	31.7	53.7	2.4
	下町地域	131	47.3	51.1	55.7	24.4	▼42.7	0.8
	東部地域	208	44.2	▼38.5	55.3	29.3	58.7	1.0
	西部地域	366	44.3	50.0	56.8	26.8	60.1	1.4
	南部地域	136	44.1	48.5	59.6	32.4	52.2	1.5
	北部地域	117	▲56.4	54.7	51.3	29.9	58.1	0.9
	西多摩地域	45	46.7	40.0	55.6	26.7	57.8	-
	南多摩地域	176	44.9	55.1	61.4	34.1	63.1	-
	北多摩西部地域	85	▼28.2	48.2	62.4	24.7	54.1	-
	北多摩北部地域	96	38.5	51.0	55.2	22.9	65.6	1.0
	北多摩南部地域	134	36.6	41.8	48.5	23.1	53.0	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性（10代・20代）	87	43.7	40.2	52.9	31.0	50.6	2.3
	男性（30代）	100	△54.0	47.0	50.0	28.0	49.0	1.0
	男性（40代）	126	42.9	50.0	50.8	27.0	50.0	0.8
	男性（50代）	142	48.6	51.4	▲67.6	31.7	56.3	-
	男性（60代）	146	41.8	▲59.6	52.7	22.6	52.1	1.4
	男性（70歳以上）	156	42.9	▽40.4	57.1	23.7	53.8	1.9
	男性小計	757	45.3	48.6	55.7	26.9	▼52.3	1.2
	女性（10代・20代）	129	▽35.7	▼33.3	▽48.1	27.1	62.8	0.8
	女性（30代）	126	44.4	42.9	59.5	35.7	60.3	-
	女性（40代）	154	51.3	48.7	59.7	29.9	54.5	-
	女性（50代）	170	48.2	△56.5	55.3	28.8	▲67.1	1.2
	女性（60代）	166	41.6	48.2	61.4	△35.5	62.7	1.2
	女性（70歳以上）	168	▽36.9	54.8	57.1	22.6	54.2	1.2
	女性小計	913	43.2	48.2	57.1	29.8	▲60.2	0.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	143	44.1	43.4	50.3	25.2	58.7	1.4
	家族従業（家業手伝い）	22	27.3	50.0	36.4	27.3	54.5	-
	勤め（フルタイム）	703	45.5	50.6	57.2	29.3	54.2	0.7
	勤め（パートタイム）	239	45.2	47.7	58.6	29.3	61.1	0.4
	無職の主婦・主夫	301	41.2	48.5	55.8	28.9	57.1	1.0
	学生	59	▽30.5	37.3	54.2	32.2	64.4	-
	その他の無職	178	48.3	47.2	61.2	25.3	53.4	1.7
	その他の	24	50.0	54.2	45.8	25.0	70.8	▲8.3
	無回答	1	-	-	100.0	100.0	100.0	-
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	164	48.8	46.3	54.3	31.1	57.3	-
	65歳以上の方	561	▽40.6	△52.6	57.9	27.8	57.8	1.6
	病気などで寝たきりの方	13	53.8	53.8	46.2	38.5	53.8	-
	身体の不自由な方	112	42.0	53.6	59.8	33.9	57.1	1.8
	いずれもない	905	46.1	46.5	56.4	28.3	56.5	0.8
居住形態別	一戸建て	790	▼37.6	△51.4	57.8	▼24.9	▲60.5	0.8
	マンション・アパート	849	▲49.7	46.1	54.5	▲31.8	▽53.6	1.1
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	58.1	35.5	△74.2	29.0	41.9	3.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	766	44.9	△51.0	57.2	29.5	△59.4	1.3
	火災など、災害で119番通報	59	47.5	49.2	59.3	33.9	64.4	1.7
	仕事で消防署に行ったことがある	218	50.0	50.0	60.1	▲36.2	57.8	0.5
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	417	46.0	△53.2	58.0	32.1	57.8	1.7
	特に関わりはない	510	42.5	▼42.9	56.1	26.5	53.1	0.6
	その他	107	△56.1	53.3	65.4	▲40.2	63.6	▲4.7
全 体		1670	44.1	48.4	56.5	28.5	56.6	1.0

消防と関わった経験

		n	1 救急車を呼ぶため 119番通報をしたこ とがある	2 火災など、災害で1 19番通報をしたこ とがある	3 仕事で消防署に行っ たことがある(届出、 申請、相談など)	4 訓練や講習、イベン トで消防署に行っ たことがある	5 特に関わりはない	6 その他
居住地域別	都心地域	59	50.8	1.7	16.9	30.5	30.5	6.8
	山手地域	125	43.2	3.2	16.0	28.8	37.6	4.0
	下町地域	126	56.3	2.4	18.3	31.7	24.6	6.3
	東部地域	214	47.7	5.1	11.2	20.6	34.1	7.9
	西部地域	367	▽42.2	4.1	10.9	24.5	△37.1	5.7
	南部地域	142	50.0	1.4	16.2	21.8	33.1	7.0
	北部地域	115	49.6	3.5	15.7	32.2	27.8	7.0
	西多摩地域	45	51.1	4.4	20.0	31.1	24.4	11.1
	南多摩地域	174	52.3	1.1	14.9	25.9	27.6	6.9
	北多摩西部地域	84	51.2	▲10.7	13.1	29.8	27.4	7.1
	北多摩北部地域	97	57.7	7.2	10.3	22.7	25.8	5.2
	北多摩南部地域	138	42.8	2.2	14.5	23.9	35.5	7.2
無回答		-	-	-	-	-	-	-
性別・年齢別	男性(10代・20代)	86	▼23.3	-	8.1	▲38.4	39.5	8.1
	男性(30代)	102	39.2	1.0	14.7	24.5	38.2	9.8
	男性(40代)	125	48.0	2.4	▲21.6	24.8	34.4	4.8
	男性(50代)	142	▲59.9	6.3	▲21.8	31.0	▼21.8	7.7
	男性(60代)	143	△56.6	▲7.7	▲30.1	28.7	▽24.5	4.9
	男性(70歳以上)	162	△57.4	5.6	▲21.0	23.5	25.9	5.6
	男性小計	760	49.9	4.3	▲20.7	27.9	▽29.5	6.6
	女性(10代・20代)	133	▼21.1	-	▼6.0	△33.1	▲46.6	6.8
	女性(30代)	128	▼32.0	3.1	10.9	27.3	▲46.1	6.3
	女性(40代)	154	42.2	1.9	9.1	27.9	35.7	9.1
	女性(50代)	168	▲60.1	6.0	9.5	22.0	25.6	6.0
	女性(60代)	170	▲58.8	4.1	▼5.3	▽19.4	28.2	6.5
	女性(70歳以上)	173	△56.6	3.5	9.2	▽17.9	28.3	5.2
	女性小計	926	46.8	3.2	▼8.3	24.1	△34.1	6.6
無回答		-	-	-	-	-	-	-
職業別	自営業主	143	▲60.1	6.3	△19.6	25.2	▽23.8	9.8
	家族従業(家業手伝い)	22	63.6	9.1	9.1	13.6	22.7	4.5
	勤め(フルタイム)	692	▼42.5	2.7	▲17.9	▲29.5	▲35.7	6.8
	勤め(パートタイム)	225	△56.0	4.4	▼7.1	23.1	26.7	6.7
	無職の主婦・主夫	293	△53.6	3.8	▼7.5	▼19.8	32.4	5.5
	学生	58	▼10.3	-	▼1.7	△37.9	▲48.3	6.9
	その他の無職	173	52.0	△6.9	15.0	20.8	29.5	5.2
	その他の	25	48.0	-	12.0	△44.0	16.0	8.0
無回答		55	49.1	-	21.8	23.6	29.1	5.5
世帯構成別	6歳以下の乳幼児	164	42.1	1.8	14.6	△32.3	34.1	9.1
	65歳以上の方	539	▲56.8	5.0	15.6	▽21.9	▼27.6	▽4.8
	病気などで寝たきりの方	12	△83.3	8.3	33.3	8.3	8.3	-
	身体の不自由な方	110	▲70.9	4.5	11.8	20.9	▼20.0	6.4
	いずれもない	888	▼43.8	3.5	12.7	27.3	△34.7	7.3
居住形態別	一戸建て	788	▲55.8	4.4	15.1	25.6	▼26.9	5.7
	マンション・アパート	858	▼42.1	3.1	12.7	25.4	▲36.5	7.5
	社宅・公務員住宅・寮・ 寄宿舎など	31	▼22.6	3.2	9.7	35.5	45.2	6.5
	無回答	9	44.4	-	33.3	44.4	11.1	-
消防との 関わり	救急車を呼ぶため119番通報	812	▲100.0	△4.8	▲16.3	26.4	-	6.7
	火災など、災害で119番通報	63	△61.9	▲100.0	22.2	27.0	-	7.9
	仕事で消防署に行ったことがある	234	▲56.4	6.0	▲100.0	▲57.3	-	4.3
	訓練や講習で消防署に行ったことがある	435	49.2	3.9	▲30.8	▲100.0	-	4.8
	特に関わりはない	540	-	-	-	-	▲100.0	-
	その他	111	48.6	4.5	9.0	18.9	-	▲100.0
全体		1686	48.2	3.7	13.9	25.8	32.0	6.6

4. 資 料

4. 資 料
(1) 調査票

東京消防庁

令和2年消防に関する世論調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

※ 調査にご協力いただいた方には全員に、後日、謝礼（QUO カード500円分）をお送りします。

～ 記入上の注意事項 ～

- 1 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。（質問は20問。※所要時間は20分程度です。）
- 2 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の説明に沿って回答してください。
- 3 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご多忙中大変恐縮ですが、12月25日までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

※所要時間には個人差があります。

※ 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。
インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。

◆ パソコンからの回答はこちらから

<https://rsch.jp/1684dfeb85c79803/login.php>

◆ スマートフォンからの回答は右記QRコードを読み取ってください
なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、回答してください。



スマホ用QR

ID	●●●●	パスワード	●●●●
----	------	-------	------

インターネット回答につきましても、12月25日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

【問合せ先】 設問・回答方法などに関するご質問は、下記までお願いいたします。

東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係（担当：小室）

電話：03-3212-2111 内線 2325 FAX：03-3212-102



ご回答よろしくお願いします！
回答設問数は20問です。
答えるのに約20分かかります。

I 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q1 あなたが家でテレビを見ている時、大きな揺れを感じました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
 - 2 火の元を確認する
 - 3 戸や窓を開け避難路を確保する
 - 4 外に出る
 - 5 そのままの状態様子を見る
 - 6 その他（具体的に
- ）

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

Q2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

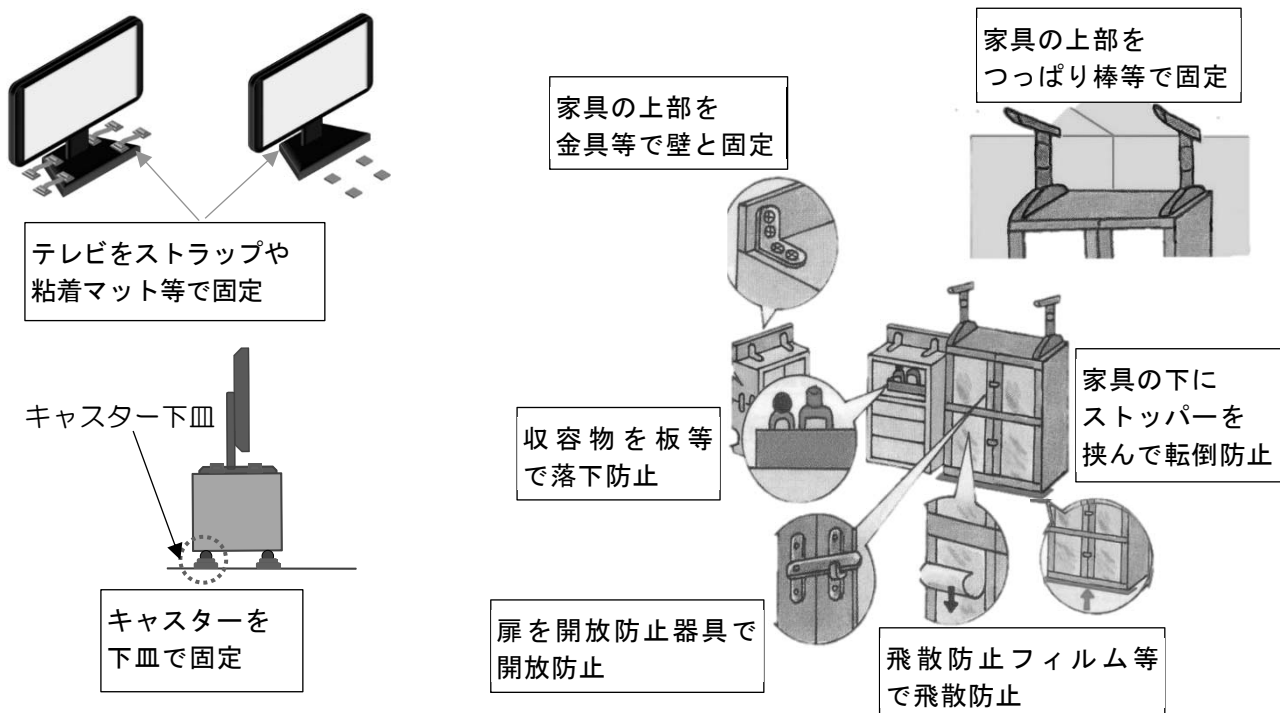
- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3へ)

参考

近年、日本で発生した大きな地震では、家具類が転倒、移動、落下したことにより、多くの方が負傷しています。

【図】

①「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例



②「倒れる可能性のある家具類がない」例



クローゼットへの集中収納

Q3 Q2で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 面倒である
- 2 地震で家具が倒れるとは思わない
- 3 地震で家具が倒れたとしても危険と思わない
- 4 器具を売っている場所がわからない
- 5 器具が高価である
- 6 対策方法がわからない
- 7 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 8 壁や家具にキズを付けたくない
- 9 建物が免震又は制振構造である
- 10 その他（具体的に)

II 救急に関すること

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。救急車を呼んだことがない方は回答せず、Q5へ進んでください。

Q4 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があったと思った
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 交通手段がなかった
- 5 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった
- 6 どの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）
- 7 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 8 家族や知人、居合わせた人に薦められた
- 9 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた
- 10 その他（具体的に)

※回答番号10は、救急車を呼んだ理由が番号1～9に該当しない場合に選択してください。

「#7119」について

Q5 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから相談できる「#7119※」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

※ 「#7119」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。



応急手当についてお聞きします。

Q6 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 受けたことがない（回答を選んだ方はQ7へ）
- 7 その他（具体的に

（6以外を選んだ方はQ8へ）

Q7 Q6で6を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けない理由を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 講習を受ける時間がない
- 2 講習に行くのが面倒
- 3 講習を受ける必要性がない
- 4 講習を受けなくても、応急手当ができる
- 5 講習をやっていることを知らなかった
- 6 新型コロナウイルスにより講習が実施していなかったため
- 7 新型コロナウイルス感染の恐れがあったため
- 8 その他（具体的に

Q8 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは応急手当のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。なお、ここでいう応急手当とは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）のことを指します。

- 1 応急手当の方法を知っているから、実施できる (→ へ)
- 2 応急手当の方法を知っているが、実施できない (→ へ)
- 3 応急手当の方法を知らないので、実施できない (→ へ)

Q9 Q8で2又は3を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当を出来ない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 何をしたらよいかわからないから
- 2 かえって悪化させることが心配だから
- 3 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 4 感染などが心配だから
- 5 怖いから
- 6 自信がないから
- 7 その他（具体的に)

Ⅲ 防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q10 あなたが最近1年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
- 7 VR防災体験車による災害疑似体験
- 8 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 9 その他（具体的に)
- 10 どれも体験・参加したことがない (→ へ)

(10以外を選んだ方はへ)



残り 10 問です！
引き続きご協力お願いします！

Q11 Q10で10を選んだ方にお聞きます。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 新型コロナウイルスにより訓練が実施していなかったから
- 8 新型コロナウイルス感染の恐れがあったから
- 9 その他（具体的に

IV 消防団に関すること

消防団※についてお聞きます。

Q12 消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q13へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q13へ)
- 3 知らない (→Q15へ)

首都東京を守る消防団



※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

Q13 Q12で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q14へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q14へ)
- 3 入団したいと思わない (→Q15へ)

Q14 Q13で1又は2を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するとしたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

- 1 活動内容の詳細
- 2 活動の頻度
- 3 活動時間の長さ
- 4 実際に活動している人の声
- 5 報酬及び手当等の詳細
- 6 入団方法
- 7 受講できる講座や研修内容
- 8 その他(具体的に)

Q15 次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

V 火災予防に関すること

住宅用火災警報器※¹についてお聞きします。

Q 1 6 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況※²を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している
- 2 一部にしか設置していない
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない (→ Q 1 9へ)
- 4 全く設置していない (→ Q 1 9へ)

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 住宅用火災警報器は、全ての居室（居間、ダイニング、子供室、寝室など）、台所、階段に設置が義務付けられています。

Q 1 7 あなたはこれまでお住まいの住宅用火災警報器の作動確認※を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがある。
- 2 設置から10年以上経過している。作動確認をしたことがない。
- 3 設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがある。
- 4 設置から10年は経過していない。作動確認をしたことがない。
- 5 設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。
- 6 設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。

※ 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することを言います。

Q18 住宅用火災警報器の本体交換※の実施状況について、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 実施している
- 2 実施していない

Q19 住宅用火災警報器の本体交換や定期的な点検※について知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている
- 2 定期的な点検が必要なことを知っている
- 3 どちらも知っている
- 4 どちらも知らない

※ 住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換を推奨しています。また、正常に作動しているか定期的な点検をすることも大切です。



頑張って！あと1問です！

VI 消防に対する要望

Q20 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 台風、集中豪雨などによる水災・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤、危険物及び毒物などの特殊災害対応
- 5 消防団の災害対応
- 6 都外及び国外への災害活動支援
- 7 その他（具体的に)

B 東京消防庁の救急業務に関する取組

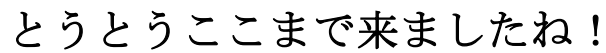
- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（＃7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に)

C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実
- 6 その他（具体的に)

D 東京消防庁の火災予防に関する取組

- 1 事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他（具体的に)



ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを伺わせてください。

お住まいの地域 (区・市・町・村)

性別 1 男性 2 女性

年齢	1	2	3	4
	10代	20代	30代	40代
	50代	60代	70歳以上	

ご職業

1 自営業主	2 家族従業(家業手伝い)
3 勤め(フルタイム)	4 勤め(パートタイム)
5 無職の主婦・主夫	6 学生
7 その他の無職	
8 その他 ()	

家族構成 あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方が
いらっしゃれば、すべて選んでください。

1 6歳以下の乳幼児
2 65歳以上の方
3 病気などで寝たきりの方
4 身体の不自由な方
5 いずれもない

住居形態 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

1 一戸建て
2 マンション・アパート（何階にお住まいですか→ 階）
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など（何階にお住まいですか→ 階）

建物構造 あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 耐火造（鉄骨造、コンクリート造など）
- 2 耐火造以外

所有区分 あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

1 持家 (家族所有含む)
2 賃貸

消防との関わりについて 消防に関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある
- 5 特に関わりはない
- 6 その他（具体的に _____）

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。



質問はすべて終了です。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

東京消防庁についてさらに詳しく知りたい方はこちらへ！

○東京消防庁ホームページ ⇒<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

○東京消防庁公式アプリ ⇒ダウンロードは下記QRコードで



QRコード

(2) 調査地点一覧

地域			人口 (18歳以上)	地域 地点数	区市町村	人口 (18歳以上)	地点数	抽出地点		抽出地点		抽出地点													
								丁目	人口	丁目	人口	丁目	人口												
区 部	(1)	都心地域	390,744	9	千代田区	52,865	1	二番町	1,786																
					中央区	135,349	4	日本橋人形町3丁目 晴海2丁目	1,076 6,722	佃3丁目	1,655	銀座1丁目	1,491												
					港区	202,530	4	港南3丁目 南青山6丁目	6,591 1,870	白金1丁目	4,309	西麻布1丁目	1,717												
	(2)	山手地域	878,746	19	文京区	182,692	4	春日2丁目 根津1丁目	4,220 2,593	千石3丁目	4,615	目白台3丁目	2,932												
					渋谷区	191,730	4	広尾3丁目 本町1丁目	3,033 5,314	神宮前2丁目	2,942	代々木4丁目	6,798												
					新宿区	272,701	6	新宿1丁目 余丁町	4,110 4,172	新小川町 中落合1丁目	3,312 3,485	西早稲田1丁目 北新宿1丁目	5,620 7,296												
					豊島区	231,623	5	巣鴨5丁目 南長崎2丁目	3,311 2,958	上池袋3丁目 千早1丁目	4,345 3,557	池袋本町2丁目	3,624												
					台東区	166,225	4	柳橋2丁目 清川2丁目	2,185 3,255	西浅草2丁目	2,428	北上野1丁目	1,188												
	(3)	下町地域	983,033	22	荒川区	170,462	4	南千住6丁目 東日暮里6丁目	8,407 7,633	町屋1丁目	3,906	東尾久8丁目	3,491												
					墨田区	229,123	5	立川3丁目 墨田5丁目	1,724 2,835	東駒形3丁目 八広5丁目	1,534 2,932	向島4丁目	2,626												
					江東区	417,223	9	越中島2丁目 豊洲3丁目 辰巳1丁目	1,829 7,813 8,921	木場5丁目 亀戸4丁目 三好3丁目	1,713 4,240 1,719	大島3丁目 北砂2丁目 東砂6丁目	5,553 3,085 2,849												
					足立区	566,019	13	青井3丁目 伊興3丁目 梅田八丁目 西新井本町一丁目 東綾瀬一丁目	4,497 3,005 3,775 3,232 4,235	加平3丁目 佐野2丁目 神明二丁目 保木岡五丁目	2,167 3,360 1,864 3,044	千住桜木二丁目 中央本町一丁目 中川二丁目 谷中三丁目	2,274 2,158 2,538 2,144												
					葛飾区	379,790	8	奥戸1丁目 鎌倉4丁目 柴又4丁目 小松川1丁目 中央1丁目 東小松川2丁目 関宮町	2,083 2,949 3,929 5,423 3,830 3,065 3,121	高砂8丁目 西亀有2丁目 東金町5丁目 春江町4丁目 東小岩1丁目 南小岩6丁目 南篠崎町5丁目	2,142 5,114 3,869 1,506 4,116 4,000 4,085	東水元1丁目 堀切6丁目 東葛西4丁目 西葛西4丁目 南葛西7丁目 中葛西7丁目	1,828 2,593 6,173 4,075 3,525 5,372												
	(4)	東部地域	1,504,889	33	江戸川区	559,080	12	中目黒4丁目 中町2丁目 赤堤1丁目 大蔵6丁目 粕谷1丁目 上北沢5丁目 北島山2丁目 喜多見8丁目 南台5丁目 本町六丁目 堀の内1丁目 方南2丁目 永福2丁目 高円寺南4丁目 豊玉中3丁目 中村北1丁目 向山3丁目 平和台3丁目 高松2丁目 大崎1丁目 東品川1丁目 南大井4丁目 大森西2丁目 南馬込6丁目 池上一丁目 田園調布本町 久が原一丁目	3,483 4,810 4,552 1,033 2,738 5,107 2,142 2,335 4,112 4,927 4,928 5,221 4,627 4,275 3,151 3,795 2,439 4,338 2,500 2,567 4,291 3,302 7,241 4,586 2,669 8,195 3,783	青葉台3丁目 洗足1丁目 経堂3丁目 桜丘3丁目 下馬2丁目 瀬田3丁目 太子堂3丁目 代田1丁目 東中野5丁目 新井二丁目 阿佐谷北3丁目 成田東1丁目 南荻窪3丁目 今川4丁目 田柄3丁目 旭町3丁目 東大泉1丁目 平塚1丁目 戸越1丁目 山王1丁目 仲池上一丁目 上池台五丁目 羽田六丁目	3,059 2,856 3,299 4,220 5,546 2,308 4,753 3,903 4,728 5,466 4,143 4,730 2,993 2,406 5,759 4,152 2,938 1,615 4,764 3,528 3,389 3,923 5,479 4,329 5,928 2,324	緑が丘1丁目 弦巻3丁目 野毛2丁目 深沢4丁目 松原3丁目 宮坂3丁目 丸山一丁目 若宮三丁目 下井草5丁目 宮前4丁目 高井戸西3丁目 南大泉1丁目 大泉学園町3丁目 関町南3丁目 関町東2丁目 上大崎1丁目 八潮5丁目 下丸子3丁目 南蒲田一丁目 蒲田四丁目 西六郷四丁目	3,295 4,271 2,608 3,498 5,053 4,641 2,085 4,684 2,501 4,565 2,650 4,783 3,238 4,203 1,518 3,304 12,020 2,733 3,479 4,702 5,879												
					(5)	西部地域	2,384,116	53	世田谷区	767,561	17	高円寺南4丁目 豊玉中3丁目 中村北1丁目 向山3丁目 平和台3丁目 高松2丁目 大崎1丁目 東品川1丁目 南大井4丁目 大森西2丁目 南馬込6丁目 池上一丁目 田園調布本町 久が原一丁目	4,275 3,151 3,795 2,439 4,338 2,500 2,567 4,291 3,302 7,241 4,586 2,669 8,195 3,783	今川4丁目 田柄3丁目 旭町3丁目 東大泉1丁目 平塚1丁目 戸越1丁目 山王1丁目 仲池上一丁目 上池台五丁目 羽田六丁目	2,406 5,759 4,152 2,938 1,615 4,764 3,528 3,389 3,923 5,479 4,329 5,928 2,324	高井戸西3丁目 南大泉1丁目 大泉学園町3丁目 関町南3丁目 関町東2丁目 上大崎1丁目 八潮5丁目 下丸子3丁目 南蒲田一丁目 蒲田四丁目 西六郷四丁目	2,650 4,783 3,238 4,203 1,518 3,304 12,020 2,733 3,479 4,702 5,879								
									(6)	南部地域	951,088	21	品川区	334,911	8	南大井4丁目 大森西2丁目 南馬込6丁目 池上一丁目 田園調布本町 久が原一丁目	4,291 3,302 7,241 4,586 2,669 8,195	平塚1丁目 戸越1丁目 山王1丁目 仲池上一丁目 上池台五丁目 羽田六丁目	3,389 3,923 5,479 4,329 5,928 2,324	八潮5丁目 上大崎1丁目 下丸子3丁目 南蒲田一丁目 蒲田四丁目 西六郷四丁目	12,020 3,304 2,733 3,479 4,702 5,879				
													(7)	北部地域	760,845	17	北区	289,500	7	王子6丁目 東十条5丁目 神谷3丁目 熊野町 弥生町 小茂根二丁目 清水町	1,779 2,228 5,614 4,496 5,402 4,213 6,487	志茂4丁目 浮間3丁目 東坂下二丁目 蓮根一丁目 赤塚一丁目	4,162 8,904 1,818 2,981 3,843	田端5丁目 西ヶ原2丁目 三園二丁目 徳丸六丁目 高島平八丁目	1,939 2,451 1,117 5,318 3,767
																	(8)	西多摩地域	287,083	7	青梅市	113,410	2	新町1丁目	2,712
	羽村市	45,664	1	栄町一丁目																	2,154				
	あきる野市	67,374	2	五日市	2,778	二宮	4,935																		
	日の出町	13,851	1	菅窪	1,011																				
	福生市	46,784	1	大字福生	13,220																				
	(9)	南多摩地域	1,107,188	24	八王子市	470,305	10	明神町4丁目 中野上町3丁目 下柚木2丁目 松木	2,984 1,447 2,547 7,305	散田町1丁目 町田町 式分町	1,930 8,844 4,477	大目町 七国2丁目 高倉町	6,533 1,332 3,419												
					町田市	356,874	8	玉川学園8丁目 成瀬7丁目 中町1丁目 高幡	2,540 1,515 2,939 4,415	図師町 小山町 南成瀬6丁目 大字日野	8,410 18,530 1,230 11,271	木曽西1丁目 高ヶ坂6丁目 百草	2,111 1,043 7,917												
					日野市	154,710	3	高幡	4,415	大字日野	11,271	落合6丁目	1,723												
					多摩市	125,299	3	貝取	1,181	諏訪1丁目	4,113	落合6丁目	1,723												
					立川市	153,123	3	錦町1丁目	5,374	砂川町6丁目	1,929	柏町3丁目	1,565												
	(10)	北多摩西部地域	544,675	12	昭島市	93,817	2	郷地町2丁目	1,598	福島町2丁目	1,746														
国分寺市					104,284	3	西元町二丁目	1,770	西恋ヶ窪四丁目	1,301	西町三丁目	1,763													
国立市					64,010	1	北1丁目	1,828																	
東大和市					70,906	2	新堀3丁目	1,245	上北台2丁目	1,783															
武蔵村山市					58,535	1	本町1丁目	1,073																	
(11)	北多摩北部地域	615,537	14	小平市	159,153	4	たかの台 上水本町6丁目	1,981 2,468	美園町3丁目	1,533	花小金井南町3丁目	3,145													
				東村山市	126,474	3	秋津町3丁目	3,413	栄町1丁目	5,268	野口町1丁目	2,804													
				清瀬市	62,369	1	野塩三丁目	1,001	本町二丁目	1,385															
				東久留米市	97,670	2	下里七丁目	1,803	富士町1丁目	3,248	ひばりが丘北4丁目	1,026													
				西東京市	169,871	4	南町4丁目 芝久保町1丁目	2,088 5,704																	
(12)	北多摩南部地域	862,831	19	武蔵野市	123,259	3	吉祥寺本町2丁目	2,754	緑町1丁目	2,302	桜堤3丁目	1,091													
				三鷹市	156,613	3	牛乳三丁目	2,271	新川二丁目	1,572	深大寺一丁目	1,724													
				府中市	213,986	5	白糸台4丁目 新町1丁目	2,405 3,553	是政5丁目 西原町2丁目	2,817 1,346	本宿町2丁目	1,877													
				調布市	197,118	4	小島町2丁目 深大寺元町4丁目	2,805 1,295	染地2丁目	7,449	西つつじヶ丘1丁目	5,041													
				小金井市	101,621	2	中町3丁目	4,059	本町3丁目	2,017															
狛江市	70,234	2	和泉本町四丁目	3,609	東野川一丁目	1,971																			
合計						11,270,775	250																		

(3) 東京消防庁に関するご意見やご提案

東京消防庁に関するご意見やご提案を任意に記入していただいたところ、多数のご意見が寄せられたので、以下のカテゴリーに分類した。

「日頃の活動についての感謝や励ましについて」

「広報活動・情報提供などについて」

「調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと」

「救急車の利用について」

「その他の要望など」

「調査内容、方法に関する意見」

「その他」

■日頃の活動についての感謝や励ましについて

- ・ 救命、危険との闘い等、日頃の活動に心からいつも感謝しております。(70 歳以上 男性)
- ・ 皆様、ケガなどされない様に。(50 代 女性)
- ・ 救急車を 3～4 回ほどお願いした事があります。いつもていねいに手早く気持ちよく病院までつれていってくださり、心より感謝しています。(70 歳以上 女性)
- ・ 現在のところ意見など考えつきませんが、常日頃、消防の方々には頭の下がる思いです。本当にお疲れ様です。(70 歳以上 女性)
- ・ 普段あまり意識していませんが、ありがとうございます。(30 代 男性)
- ・ いつも大変なお仕事をしていただき、有難うございます。(60 代 男性)
- ・ 不断の努力をしてくださっていることと思い、感謝しております。(50 代 女性)
- ・ 大変親切にしてくださり、感謝申し上げます。(70 歳以上 女性)
- ・ 頼りにしてます。頑張ってください。(30 代 女性)
- ・ いつもご苦勞様です。安心して生活のできる東京都でいたいです。(60 代 女性)
- ・ とても大変なお仕事と思います。いつもありがとうございます。(50 代 男性)
- ・ 人々を守るために働いてくださり、ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 特にありませんが、コロナ禍で大変な中での業務遂行に感謝致しております。(70 歳以上 男性)
- ・ いつも使命感を持った対応に感謝と共に安心をいただいています。救急車が来る前（早く来れないため）に消防車が先に来てびっくりしましたが、とても安心できました。ありがとうございます。大変なお仕事ですが、皆信頼しております。お身体大切に頑張ってください。(50 代 女性)
- ・ 日ごろの活動に感謝しております。これからも都民のための活動を期待しています。(60 代 女性)
- ・ ごくろうさまです。これからもよろしくお願いします。(70 歳以上 男性)
- ・ コロナで大変な毎日ですが、十分気を付けて都民のために頑張ってください。よろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。(50 代 男性)
- ・ 全て命にかかわるお仕事であるので、本当に感謝しております。コロナの事もありますから、体調に気を付けてください。(20 代 女性)
- ・ 高齢者と住んでいるので、救急車へのお世話になっております。2 年前、母が救急隊員の早急

- な対応で命が救われました。本当に感謝しております。(60代 男性)
- ・ 江戸時代より続く「火消」、諸外国のファイヤーファイターなど、命を懸けた活躍には、いつも感心させられます。(40代 男性)
 - ・ 消防団員の方全てに感謝しております。すごいチームワークで、一生懸命の事がいつも感動しています。感謝しかありません。(70歳以上 男性)
 - ・ 今まで、1～2回救急車に来ていただいたことがあります。迅速な対応をしていただき、感謝しています。今後、できるだけ消防車にも救急車にも来ていただかなくてもよいように、安全に努めます。いつも本当にありがとうございます。(60代 女性)
 - ・ 駒八通りに面しており、消防車、救急車の音を聞きます。しかも、朝早く、また夜間ですので、大変なお仕事だと思います。また、感謝しております。(70歳以上 女性)
 - ・ いつもがんばってくださいまして、助かっています。ありがとうございます。コロナで大変でしょうけど、身体に気を付けてお仕事してくださいね。(60代 男性)
 - ・ いつもご苦労様です。今後もよろしく。(70歳以上 男性)
 - ・ いつも暮らしを守ってくださり、ありがとうございます。感謝しかありません。体を大切に、がんばってください。(40代 男性)
 - ・ 救急隊の方にはプライベートでも仕事でもお世話になったことが何度かあります。いずれも安心できる対応でした。大変なお仕事だと思いますが、大事な仕事だと思います。(40代 女性)
 - ・ 日々の活動、御苦労様です。いざという時に役立っていると思います。(50代 男性)
 - ・ 救急車で家族、自分自身もお世話になりました。すぐ対応していただき、命をとりとめ、今の状態まで回復し、仕事をしております。コロナ禍で大変ですが、おかげで命が助かった人が大勢いますので、今後も頑張ってください。(50代 男性)
 - ・ いつも私達都民の為に、日頃からの訓練や救急出動、消防と、お疲れ様です。皆様の努力には頭がさがるばかりです。今年はコロナウィルスのこともあり、心労も増すばかりかと思いますが、お体には気をつけてお仕事がんばってください。いつもありがとうございます。(30代 女性)
 - ・ いつも都民のため、活躍して頂きまして、本当にありがとうございます。(60代 女性)
 - ・ いつもご苦労様です。問題はありません。(70歳以上 女性)
 - ・ いつもお疲れ様です。ご飯食べて、寝れるときに寝てください。(20代 女性)
 - ・ 大変なお仕事だと思います。頑張ってください。(50代 女性)
 - ・ 10年ほど前、今は無き父を自宅介護していました。風呂に入って長い間出てこないため見に行くと、腰まで湯が下がってなんとしても立てない父がいました。私一人の力(当時まだ手術は受けていませんでした)では、なんとしても起き上がらせないため、救急車を呼ぶと、隊員3名がいらして下さり助けてくださいました。本当にありがたかったです。冷え切った父の身体を毛布でくるみホットカーペットに横たえましたが、意識もしっかりしていましたので病院に運ぶことなく、じきに回復してくれました。今でも心から感謝しております。ありがとうございました。(60代 女性)
 - ・ 救急活動等、大変お疲れ様です。(50代 男性)
 - ・ 危険な職務を日夜遂行されて頂いてることに感謝です。災害出動のない、少ない日常を目指すのは、あくまで私達国民(都民)である事を自覚して、転倒防止など、真面目に取り組んで参ります。(60代 女性)
 - ・ 日々、昼夜を問わず任務遂行につくされている消防総監はじめ東京都消防庁の方々に心より感

謝しております。日頃、非常時に対処するために特別な教育、訓練をされ、現場に行かれ、任務完遂されている事に対し、頭の下がる思いでいっぱいです。現場の個人一人一人が命を大事にされ、任務に専心される事、心より祈念申し上げます。出勤される回数が減少されればと強く思っています。また、命あつての任務遂行＝完遂です。(70 歳以上 男性)

- ・ 怖い火の中に飛び込んで消火してくれる事に感謝します。ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 日夜、気を抜く事なく私たちを見守ってくださっていること、心より感謝しております。どうぞお怪我のないよう、お勤めください。(60 代 女性)
- ・ いつもどうもありがとうございます。心より感謝申し上げます。(40 代 女性)
- ・ いつもお仕事をご苦労様です。ありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ 日頃から命を懸けて都民の命を守っていただき、ありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ 家のすぐそばに消防署があるため、心理的に安心です。父母が生死にかかわる状態の時、すぐ来ていただき、大変助かりました。また、救急車を呼ぶか迷った時、相談できるところがあるのも心強いです。お世話になる事がないよう、日々気を付けて暮らす努力も必要かと思えます。(60 代 女性)
- ・ 常に激務をお察しします。大変感謝しております。(60 代 男性)
- ・ 日頃から東京の安全を守っていただきありがとうございます。(20 代 男性)
- ・ 日頃より活動に感謝しております。ありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ いつも我々の安全を見守っていただき、ありがとうございます。感謝してます。これからもコロナに気を付けて頑張ってください。(70 歳以上 男性)
- ・ 大変なお仕事ですが、安心な生活ができるよう、頑張ってください。(70 歳以上 女性)
- ・ いろいろお世話になりました。一時期すごく救急隊員さんに名前を覚えられたほどでしたが、今は治療のおかげで少し元気になってきました。毎日が今、少し楽しくなってきました。ありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ 毎日ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。(50 代 女性)
- ・ 毎日、都民のために頑張ってください、ありがとうございます。心から感謝しております。(50 代 女性)
- ・ 日頃の消防活動には敬意を表します。(70 歳以上 男性)
- ・ 我々市民が安心して暮らせるのは消防署の活動のおかげと心より感謝しています。(70 歳以上 男性)
- ・ いつもご苦労様です。お取組、本当に感謝しています。(40 代 男性)
- ・ 消防関係のお仕事をされている皆様、毎日大変なお仕事、御苦労様です。これからいつそう厳しい季節になりますので、身体には充分気を付けてください。(70 歳以上 男性)
- ・ 毎日厳しい訓練を行って、規則にのっとって仕事をされている様子を見ても、非常に頼もしく思っています。世間有数の過密都市ゆえの苦労も多いとは思いますが、これからも頑張ってください。(50 代 男性)
- ・ 日ごろから様々な業務に感謝しています。(50 代 女性)
- ・ 救命講習受講の際にはお世話になりました。日頃より高齢者と接することの多い仕事なので役立ちました。(50 代 男性)
- ・ コロナ禍での救急業務本当に大変ですが、くれぐれもお体を大切にしてください。(60 代 男性)
- ・ 危険が伴うお仕事ですが、これからも都民のためにご尽力他、よろしくお願いいたします。(60 代 男性)

代 女性)

- ・ 町会の定期防災訓練などの際に実演・講習していただきお世話になっています。近年特に大雨や洪水などの自然災害が頻発しているので、ますます消防署の方々の力が必要となっています。敬意をもってこれからも期待します。(70 歳以上 男性)
- ・ 過去、救急車に両親がお世話になり、すぐ手当とか病院への搬送とかで大変お世話になりました。その時は天使のように思われ、今でもあの時のことは忘れられません。これからも皆様の活動・活躍をお祈りいたします。(60 代 女性)
- ・ コロナ禍の中ご苦勞様です。地域の安全の為に働いていただいております。ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 特にありません。日々の業務、ご苦勞様です。(60 代 男性)
- ・ 緊張を強いられる職業だと思います。私たちも守っていただきたいですが、そのためには、ご自分の身体も気をつけてご活躍願います。(70 歳以上 女性)
- ・ コロナ禍の中、日々都民のために活動してくださり、本当にありがとうございます。子どもが乳児だった時、(他県在住の) 老齡の両親が病気になった時、救急車のお蔭で救われ、感謝しております。(60 代 女性)
- ・ 以前、息子(ケガ)、娘(けいれん)とも救急車で病院へ、という体験をしました。とっさの事でパニック状態の私に対して優しく対応してくださった事、とても感謝しております。隊員とのコミュニケーション、チームワークがきちんとしていて、常日頃から訓練されていると思いました。(40 代 女性)
- ・ 近所で火災があった時は、安全の為に誘導をしていただき、ありがとうございます。消防団に在籍されている方にも感謝しております。(50 代 女性)
- ・ 石神井消防署の横を通りかかる時、よく高い所でいろいろな訓練をなさっているのを目にします。いつも感心して、そのような努力をなさっていることに、尊敬と感謝の念を覚えます。早朝から真夜中まで、都民のために働いてくださり、有難うございます。(60 代 女性)
- ・ これからも足立区の住民の為に苦勞だとは思いますが、よろしくお願い致します。(70 歳以上 女性)
- ・ お体に気を付けて、お仕事頑張ってください。(30 代 女性)
- ・ 日頃のご活動に感謝してます。コロナ禍の中、いろいろ大変だと思いますが、今後ともよろしく願います。(70 歳以上 男性)
- ・ コロナ禍の中、大変なお仕事、毎日苦勞様です。これからも国民を守るため、頑張ってください。(70 歳以上 男性)
- ・ いつもありがとうございます。命を大切にしてください。(60 代 男性)
- ・ 日々の安全を守ってくださり、ありがとうございます。(20 代 女性)
- ・ 安心した日常を過ごせるのは、非常時に皆さんがおられるということがあってこそだと、諸講習を受けた時などに思っております。いつもありがとうございます。(40 代 男性)
- ・ いつも大変な仕事をこなして、地域の生活者を助けて下さってありがとうございます。コロナで大変なことも増えたと思いますが、これからもがんばっていただけたら…。アンケートで逆にお仕事が増えないよう祈っています。(20 代 女性)
- ・ 皆様のおかげで安心して生活できます。ありがとうございます。(40 代 男性)
- ・ 日頃の皆様のお働きに心より感謝申し上げます。24 時間に渡って消防車のサイレン、救急車のピーポーの音を聞くと、安心すると共に、大変なお仕事なんだなと、“頑張ってください”と心から思います。(70 歳以上 女性)

- ・ いつも有難うございます。地域とのかかわりが薄い社会です。コロナ禍で色々大変ですが、引き続き宜しくお願い致します。(50代 女性)
- ・ 家族が救急隊員の方に何度かお世話になっています。いつでも落ち着いて的確な対応に安心してお願いできました。幸い病院を見つけていただく時間も早く、助かりました。ありがとうございました。コロナ禍ですし、大変なお仕事と思いますが、今後とも宜しくお願いします。
(50代 女性)
- ・ 消防団員の方には、私なりに非常に感謝しています。いつもありがとうございます。私でも出来る事があれば、お手伝いしたいです。(70歳以上 男性)
- ・ 何度か救急車で運ばれたことがあります。毎回親切にさせていただいて、感謝しています。(30代 女性)
- ・ 命にかかわる仕事にたずさわっていただいて、本当にありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 消防庁の取組みは信頼しています。災害や事故等で危険のある救出や消火活動など、真摯な取組みは素晴らしいと思います。頑張ってください。(60代 女性)
- ・ 困った人を助ける大事で大変な仕事だと思います。学校で教わったので知ってはいますが、日々の暮らしにはほとんど関わりがないので、忘れてしまいます。(50代 女性)
- ・ 訓練されている姿を消防署で見かけたことが何度もあります。地域のためにありがとうございます。コロナ禍の中、難しいこともあると思いますが、お身体ご自愛いただきたいと思います。(50代 女性)
- ・ 救命講習でいつもお世話になっています。救急隊の出動が少しでも減少するように、これからも普及活動よろしくお願いします。(30代 男性)
- ・ いつも都民の命を第一に行動頂き、感謝しています。日頃の訓練など、お疲れさまです。頼りにしています。(50代 男性)
- ・ いつも消防車の音や救急車の音を聞くたび、街を守ったり人を救ったりする方々はすごいなと、感謝しています。今後も大変なお仕事とは思いますが、がんばってください。(40代 女性)
- ・ 皆様ありがとうございます。心強い存在です。(70歳以上 女性)
- ・ 日々ご尽力いただき感謝しています。なるべくお世話にならずに済むよう心がけてはいます。人手不足の昨今ですが、お仕事とはいえ、おケガのないよう祈っております。(50代 女性)
- ・ 24時間国民都民区民のために御苦勞様です。これからもよろしくお願い致します。(70歳以上 男性)
- ・ 御世話になっております。これからもよろしくお願い申し上げます。(70歳以上 男性)
- ・ 家族が大腿骨を骨折した際、深夜だったにも関わらず、迅速かつ親身にご対応くださいました。大変心強く、自身も冷静に対応することが出来ました。本当にありがとうございました。心より感謝しております。(40代 女性)
- ・ 救急車の出動回数が多く、毎回大変だと思いますが、今後とも頑張ってください(元公務員)。
(70歳以上 男性)
- ・ 全体に消防庁に対する意見は特に有りません。自治会の時代によく消防の勉強させて頂きました。特に良かったと思ったのは、隊員の皆さんの言葉使いがとても良かったこと。今後とも頑張ってください。(70歳以上 男性)
- ・ 命を預かる仕事、危険を伴う仕事です。頼りにしています。がんばってください。皆様のお陰で安心して暮らせます。(50代 女性)
- ・ いつも私達都民の安全の為、尽力を尽くしてくださり、ありがとうございます。これからも宜

しくお願い致します。(50代 女性)

- ・サイレンが鳴った時には、皆様が対応をいただけることに感謝の意を感じます。今後とも頑張ってください。(60代 男性)
- ・コロナ禍の中で、救急面での活躍に、本当に頭がさがる思いです。消防庁で働く皆様の健康が心配です。私達家族も一人一人が注意して日常生活を送るよう心がけてまいります。この緊急時が早く収まりますように。そしてそれまでは消防庁の皆様のお力をお借りしなくてはならないと思います。いましばらく、ともに頑張りましょう。(60代 女性)
- ・大変なお仕事かと思いますが、いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。(20代 女性)
- ・お働きに感謝しています。(50代 女性)
- ・息子が地方、山口で消防士をしています。なので、消防のお仕事が大変なのは、よく知っております(私も看護師なので)。これからも、都民のために頑張ってください。(50代 女性)
- ・子供が小学生の頃に、消防の訓練に参加させていただき、その時に、消火器の使い方を教えていただきました。あの時、参加していなかったら、いまだに使用方法はわからなかったと思います。本当に、ありがとうございました。(60代 女性)
- ・東京消防庁と警視庁は、都民の生活を守るための重要な組織と思っています。これからも防災のため、頑張ってください。(60代 女性)
- ・いつも本当ご苦労様です。ありがとうございます。くれぐれもお体ご留意ください。(70歳以上 女性)
- ・いつもありがとうございます。(50代 女性)
- ・消防署の方々が出動されるという事態は、多くの場合、それを必要とする市民のみならず、署員の方におかれましても、大変生命の安全の危うい場面だと思います。火災などで消火活動中に残念なことにお亡くなりになる署員の方の報道を見ると、胸が痛みます。どうか、全国の消防の皆様の身が、安全であります様、署員の方のご家族が悲しまれることのない様、願っております。いつも、本当にありがとうございます。(60代 女性)
- ・御苦労様です。感謝しています。(70歳以上 男性)
- ・消防庁の方々には、感謝致しております。ますますのご活躍をお願い申し上げます。(70歳以上 女性)
- ・過去、一度救急車のお世話になりました。大変親切に対応していただき、本当に心強く、ありがたく思いました。(60代 女性)
- ・近くに消防署があります。いつも活躍、都民を守ってくださる姿を見て、感謝の気持で一杯です。有難うございます(家族全員より)。(20代 男性)
- ・いつも安全な暮らしを守って頂き、ありがとうございます。東京消防庁の皆様も、お体十分にご自愛ください。(40代 女性)
- ・公務といえど危険な業務、お身体に気を付けてください。人の命を守るお仕事に感謝しております。(60代 男性)
- ・数年前になりますが、主人が病気で救急車を呼んだ事がありますが、適切な処置で病院に運んで頂き、ありがたく思っております。(60代 女性)
- ・火災現場で焼死者が出た時の署員のご苦労を思う時、亡くなった人への同情よりもっと悲痛な思いです。本当に手を合わせたい気持です。就寝前の火の元の点検、外出する時にはもう一度靴を脱いで、全てを点検してから出かけます。消防庁には感謝しかありません。ありがとうございます。(70歳以上 女性)

- ・ 救急車をお願いしましたが、迅速な行動で助かりました。(70 歳以上 女性)
- ・ 消防庁があるから、安心して過ごすことができます。(70 歳以上 女性)
- ・ すごく大変な仕事だと思います。ただなくてはならない大変なお仕事なので、がんばっていただきたいのと、お給料も高くしてあげてほしいです(低いイメージがあります)。これからもがんばってください。(40 代 女性)
- ・ 日頃の活動に感謝しています。(70 歳以上 男性)
- ・ 日々、感謝しております。ありがとうございます。(40 代 女性)
- ・ 消防、救急、国民のために働いていただいている事、感謝しています。大変な業務、隊員の方々のお身体も大切に。(60 代 女性)
- ・ 救急車の方の親切丁寧な対応に、心から感謝しています。自分自身、年老いた親、小さな子供にも、何度かお世話になっていますが、本当に感謝の一言です。ありがとうございます。特に牛込消防署の方々にも、この場をお借りしてお礼を言いたいです。ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 心強く、存じています。(70 歳以上 女性)
- ・ コロナで大変ですけど、がんばりましょう。(50 代 男性)
- ・ 消防関係のみなさまの仕事が、トレーニングと点検だけで終わるよう、願っております。(50 代 男性)
- ・ 真夏の暑い中、決められた服を着て直ぐに駆けつけ、活動をされていらっしゃるのを見ますと、本当に大変なお仕事だと感謝しています。(70 歳以上 女性)
- ・ 大切な御仕事です。頑張って、皆様の役に立って下さい。(70 歳以上 男性)
- ・ 消防庁があることで、都民が安心して生活できることで、いつも感謝しています。(60 代 女性)
- ・ 日々、皆様の活動に感謝しております。これからも宜しく願いいたします。(50 代 男性)
- ・ 火災では、とても危険なお仕事だと感じています。この1年、コロナで救急の面でも、とても大変だったと思います。これからも、暮らしの中で大切なお仕事ですので、がんばっていただきたいと思います。(50 代 女性)
- ・ 消防庁のみなさまには、ただただ感謝です。無理のない勤務体制で、お願いいたします。(50 代 女性)
- ・ 日頃より、感謝いたしております。防火防災の意識を高めるよう、努力してまいります。(60 代 女性)
- ・ 提案はありませんが、いつもありがとうございます。(70 歳以上 女性)
- ・ いつも都民・住民に関して良く種々教示してくださり、有りがたいです。御苦労様です。(70 歳以上 男性)
- ・ いつも安全のためにご尽力いただき、ありがとうございます。なるべくお世話にならずに済むよう、自分なりに火の始末、健康に気をつけようと思います。(40 代 女性)
- ・ 火災・災害、および救急業務で、私達都民を守り、救っていただき、誠にありがとうございます。(60 代 男性)
- ・ 常日頃、人々のために頑張ってください、有難うございます。これからもよろしくお願いいたします。(20 代 女性)
- ・ 1歳の息子が消防車と救急車が大好きで、見るたびに応援しています。実際に会って活躍されている姿を見せたいです。(30 代 男性)
- ・ 都民の生命・身体・財産を守るため、これからも消防活動をよろしくお願いします。(30 代

女性)

- ・ 毎日緊張の仕事、ご苦勞様です。コロナ禍で大変ですが、皆様お体にお気を付けてくださいますように。(70 歳以上 女性)
- ・ 御庁より一層の活躍お祈りいたします。ご苦勞様です。(70 歳以上 女性)
- ・ 近くの多摩消防署、新築の外壁のグリーンの葉っぱの壁、枯れててかわいそうなんです。オシャレなのに汚くみえる。新築なので、コロナが収まったら見学に行きたいです。出勤の音を耳にすると、カンカン鳴らしているかを聞きます。カンカンは聞こえないので、なかなか火事は少ないようで、だれかの救出で出勤なのかと、回数多く、大変だなと思っています。私たちを日々助けて頂き、ありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ 日頃のご活動に感謝いたします。(70 歳以上 女性)
- ・ 日頃からの訓練、ご苦勞様です。私の友人で消防士の方がいるが、体力がないと、続けられないとのこと。(70 歳以上 男性)
- ・ いつも都民の為にありがとうございます。家族が救急車で運ばれた時の対応が、ありがたかったです。(60 代 男性)
- ・ 都民の安全のために、ありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ 期待しています。(60 代 男性)
- ・ いつも日頃から安心・安心に暮らせるよう取り組んでいただき、ありがとうございます。父も定年まで消防団員をしていたため、大変さ、辛さも、少しばかり聞いておりました。これからも地域の安全のため、救急・消防面、よろしくお願いします。職場でいつも消防関係は子どもたちからのヒーローであり、憧れです。(20 代 女性)
- ・ 普段、意識していない時も、常にそこにあり、準備をしてくださるおかげで、私達は安心して生活ができています。いつもありがとうございます。(50 代 女性)
- ・ 毎日危険な仕事、有難うございます。お体気付けてください。(70 歳以上 男性)
- ・ 以前、子供が高熱で意識を失った時、迷いながらも救急車を呼びました。結果、けいれんでもなく、重症でもなかったんですが、不安でパニックになっている私に、荷物持ちましょうか？（子供を抱っこしていたため）とか、車内でも「大丈夫ですよ、お子さん高熱で心配ですよね」等、とても優しく対応してくれて、本当に安心しました。今コロナで大変だと思いますが、頑張ってください。地域みんなの気持ちによりそっていただけて、感謝しています。(30 代 女性)
- ・ これからも国民の皆様のために頑張ってください。いつもごくろうさまで。(30 代 男性)
- ・ これから真冬に向かっていきますので、皆様、消防に関わる方々の活動を応援いたします。(60 代 女性)
- ・ 都民の安全をお守りいただき、ありがとうございます。(70 歳以上 女性)
- ・ 救急車の皆さんに、骨折し、動けないので、1 度お世話になりました。コロナの騒ぎで大変な毎日でしょう。そしてありがとうございます。御苦勞様です。(70 歳以上 男性)
- ・ 日頃の消火活動、救急活動等、本当にご苦勞様です。危険を伴うお仕事ですが、頑張ってください。(40 代 女性)
- ・ この頃は救急車のサイレンがよく聞かれます。コロナのせいもあると思います。いつも危険なお仕事で、本当に大変だと思います。心から感謝申し上げます。(70 歳以上 女性)
- ・ 近くの消防署で日々訓練をされている姿を見ていて、頭が下がる思いです。ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 大変ですが、頑張ってください。国民が願ってます。(50 代 男性)

- ・ みな様の献身的な仕事ぶりに、いつも心から感謝しています。救助～救命にいたるまで対応する、すばらしい仕事だと思っています。ただ、ただ、感謝のかぎりです。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 何かが起きた時に活躍いただける「縁の下の方」的存在と理解しております。「何かが起きた時」にさすが消防と言われる様に日々研鑽を積んで運用頂ければ幸いです。(60代 男性)
- ・ 今年のコロナ禍の下、救急搬送など、例年にない規模の出動回数であったかと思います。昼夜を問わず、市民の安全のために活動されている皆様に、心より感謝申し上げます。消防署の皆様の健康と安全を祈念しております。(60代 男性)
- ・ 大変親切にして頂きました。ありがとうございました。(60代 男性)
- ・ これからも困っている人たちのために、がんばってください。(20代 男性)
- ・ 救急車の人々は、本当に親切で頭が下がります。病院はコロナの前でしたが、個人で電話しても受け入れてくれず、救急車の方が探してもなかなか見つからず、大変でした。(50代 女性)
- ・ 私は障害手帳（内部）を持っており、救急車を呼んだ事があります。隊員の方に、素晴らしい対応を受けています。心より感謝いたしております。(70歳以上 男性)
- ・ いつもありがとうございます。これからも安全対策など（←特に台風などで河川の氾濫など心配してます）力を入れていただきたいです。よろしくお願いします。(30代 女性)
- ・ 特に有りません。今後も地域の為、頑張ってください。(60代 女性)
- ・ 現場に出動する隊員に対しての補償をもっと補強してやってほしい。(60代 男性)
- ・ 困っている時に、親身に対応していただき、心から感謝しております。(50代 男性)
- ・ もっと待遇良くしてもらって下さい。いつも感謝しております。がんばってください。(30代 女性)
- ・ 今まであまり活動には参加してきていませんが、いつもご尽力下さり、感謝してます。(30代 女性)
- ・ 前の職場に通勤する際、消防署の前を通っていました。毎朝、車両のチェックなどをされており、有事への備えに頭が下がる思いでした。何か起こった際（本当は何もないのが良いのでしょうか）の砦として、これからもよろしくお願いいたします。(40代 男性)
- ・ 大変なお仕事ご苦労様です 感謝しております。(50代 男性)
- ・ 不定期な仕事ですが、気を引き締めて、頑張ってください。(50代 男性)
- ・ いつも国民の為にお仕事して下さいありがとうございます。コロナ対応等でお忙しいとは思いますがお身体を大事にお気をつけください。(20代 男性)
- ・ 去年の3月2度に渡って救急車のお世話になりました。脳髄炎でわけ分からなくなってるのを辛抱強く対応していただきました。有難うございます。元気になれたのも救急隊員の方々のおかげです。(20代 女性)
- ・ 近くにも出張所がありますが、体を鍛えている姿を見て頼もしく思っています。(60代 男性)
- ・ いつもいつもご苦労様です。活動に感謝申し上げます。(70歳以上 男性)
- ・ いつもありがとうございます。先に回答の通り、先日、夜間に息子が怪我をし、#7119で救急病院を探しましたが、受け入れ先が見つからず、救急車を呼んでしまいました。大変心苦しく思っております。それにもかかわらず、救急隊員の皆さまには大変ご親切に対応くださった上に、救急車を呼んで致し方なかったことを快くご理解くださり、感謝の気持ちでいっぱい

おります。コロナ禍で身の危険も伴うなか出勤くださり、救急隊員のみなさまには本当に頭の下がる思いでおります。このご時世でも、救急車を利用しなくとも、安心して夜間救急を受け入れてくださる病院が増えることを願っております。(40代 女性)

- ・ いつも都民のために働いていただきありがとうございます。(40代 女性)
- ・ いつも、ご苦労様です♪市民の為にこれからもよろしくお願い申し上げます。(50代 男性)
- ・ いつも、ご苦労様です。安全活動をお祈りしております。(60代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。近所にあると安心感があります。消防士さんたちがいつも訓練をしている姿を見ると、尊敬します。(40代 女性)
- ・ 毎日頑張ってください、ありがとうございます。(20代 女性)
- ・ マンションで火災報知器が誤作動したことが3回ほどありましたが、いつも迅速に駆けつけてくれて、しっかりと調査してくれるので安心してしています。これからも都民の安全を守ってください。よろしくお願いいたします。(50代 男性)
- ・ 高齢の母が骨折した際、お世話になりました。街で救急車を見かけると、心の中で「いつもありがとうございます。」とつぶやいております。(50代 女性)
- ・ 大変なお仕事と思いますが、これからも宜しくお願いします。(40代 男性)
- ・ これまで通りで結構だと思うのでこれからも是非頑張ってください。(40代 男性)
- ・ くれぐれもコロナに感染しないように、お気をつけください。常に宇宙服のようなもので感染しないように活動してほしい。(50代 女性)
- ・ 娘が消防車・救急車が大好きで近所の消防署の前を通る時にいつも大喜びで、出勤する車に元気で「がんばってねー。」と声を掛けています。救急車の音を聞かない日は無いくらいしょっちゅう出勤しているのを見ますが、本当に大変＆大切なお仕事だなと思います。いつも本当にありがとうございます。(40代 女性)
- ・ これからも頑張ってください。こちらでもできる限りの備え(災害時対策など)はしていくつもりです。(40代 男性)
- ・ 日頃から国民のためにご尽力ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 引き続き頑張ってください。近年の台風被害の影響か、河川の氾濫が特に気になります(50代 男性)
- ・ 特にありません。コロナ禍での活動、頑張ってください。(70歳以上 男性)
- ・ 常日頃から皆様のお仕事に対して感謝いたしております。これから私たち自身も火災その他に対してはできるだけ、初期に対応できることは自分の力でしていきたいを考えております。皆様の安全と健康をお祈り申し上げます。(60代 男性)
- ・ かなり前に、新潟でトンネル崩落事故がありました。小さな子供が数日間車内に閉じ込められ、雨水だけを飲んで凌いだと言う事故がありました。救助に動いたのが、東京消防庁レスキュー隊、あの感動は、忘れません。これからも、人命救助、災害援助にと活躍して下さい。(60代 女性)
- ・ 職場隣接の敷地で、火災救助訓練をしている様子が見えます。毎日の訓練大変ですね。頭が下がります。施設勤務ですので消防の方には何かとお世話になっています。いつも丁寧で素早い対応、ありがたく思っています。(50代 女性)
- ・ いつも市民の安全と健康を守っていただきありがとうございます。(40代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。機会があれば微力ながら何かしらの協力もできたらと考えております。今は火元には絶対にならないことを心掛けています。(50代 男性)
- ・ 子供の喘息の発作や食物アレルギーの発作の際に、救急車の方に何度かお世話になりました。

本当にありがとうございました。(50代 女性)

- ・ 母の救急搬送で、数度お世話になりました。大変感謝しております。(50代 男性)
- ・ どうぞ皆様、ご自愛くださいませ。(50代 女性)
- ・ 日々いつ起こるか知れない大惨事も想定しつつ過ごされて、都民のためにご活躍され本当にご苦勞様です。どうぞこれからも宜しくお願いします。(40代 女性)
- ・ 毎日大変な仕事で、消防車の出動の音を耳にしますと、我が家も注意して、迷惑を掛けない様に気をつけて過ごします。署員の皆様も、お体大切に。(70歳以上 女性)
- ・ コロナが大変な中、頑張ってくださいありがとうございます。(30代 女性)
- ・ 妻が急病の際、救急車のお世話になり大変感謝しております。(60代 男性)
- ・ 本年は特に新型コロナウイルスへの対応など、御苦勞の多い年と存じます。日頃の活動ありがとうございます。(30代 男性)
- ・ 日々のご活躍に感謝します。(60代 女性)
- ・ 都民の為に働いていただき有り難く思ってます。(50代 女性)
- ・ 日本は素晴らしい体制で国民を守っていると思います。いろいろご苦勞あると思いますが、海外へ日本が、良い見本になれることを期待します。(40代 女性)
- ・ 東日本の震災など全国的な災害の中でも果敢にかけつけるなど感謝しかありません。(40代 男性)
- ・ 近くに消防署があり、いつもご苦勞様という気持ちでいます。守ってくれてありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 火災の時など、危険を伴うお仕事だと思います。いつも、有難うございます。(50代 女性)
- ・ コロナに気をつけ、頑張ってください。(50代 女性)
- ・ いつも私たちのために有難うございます。(20代 女性)
- ・ これからも頑張ってください。応援してます。(20代 男性)
- ・ 日ごろの活動ご苦勞様です。これからも都民が頼りにできる存在であり続けてください。(60代 男性)
- ・ 活躍に期待します。頑張ってください。(50代 男性)
- ・ いつも危険な業務をありがとうございます。(30代 男性)
- ・ 大変なお仕事だと思います。ご自愛ください。(50代 男性)
- ・ コロナ渦において消防・救急の皆さんは大変なことと思います。いつもありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 実家が火災のボヤとなり、幸い半焼で済みましたが、少しの油断、ミスで火事になる恐ろしさを痛感しました。消防の皆様の命懸けのご活動には、感謝してもしきれません。(30代 男性)
- ・ 大変なお仕事ですが、頑張ってください。(40代 女性)
- ・ 都民のためにご活躍いただき感謝しています。いつもありがとうございます。(20代 男性)
- ・ 日頃より毎日の消防、防災、救急等の業務にご尽力頂いており本当に感謝しております。消防署のそばを通りますと、訓練に励んでいる姿を目にし、大変でも私たちの生命、財産を守るという使命が感じられてそのことが日本人の規律の源と、誇りに思えます。なかなか体の具合で協力することが難しいですが、できるだけ応援していきたいと思っています。(60代 男性)
- ・ 日頃よ地域での消防活動に感謝いたします。今後も各地域での"防ぐ"活動を東京消防庁に期待いたします。(60代 男性)
- ・ 日々の活動、ありがとうございます。頼りにしています。(30代 男性)

- ・ 特になし。コロナ禍頑張ってください。(40代 男性)
- ・ 大変な仕事だと思いますが、これからも頑張ってください。(40代 男性)
- ・ いつも感謝しています。これからも地域の安全をよろしくお願いします。(30代 男性)
- ・ いつも大変な状況の中で業務に従事してくださって感謝しております。(30代 女性)
- ・ 母の急病の際に、救急車にお世話になりました。心強かったです。ありがたかったです。(50代 男性)
- ・ いつもご尽力くださりありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 大変なお仕事だと思います。自分の身に気をつけて頑張って頂けたらと思います。(40代 男性)
- ・ 近くに消防署があり緊急出動をよく見かけます。大変なお仕事だと思います。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。なくてはならない存在です。(50代 男性)
- ・ 普通の人ができない職業訓練をされ、すごいと感心します。(50代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。皆さんのおかげで安全に暮らせています。これからもよろしくお願いします。(20代 女性)
- ・ いつも住民への支援をありがとうございます。災害におけるご尽力にひたすら感謝の思いです。(40代 男性)
- ・ 地域を、人を守る活動をしてくださることに感謝です。(30代 女性)
- ・ 子供の怪我と、私の怪我の際に救急車を使用しましたが救急隊員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。これからも、都民のため、大変ですが、頑張ってください。(50代 男性)
- ・ いつも街を守ってくださりありがとうございます。(20代 女性)
- ・ いつもお世話になっております、消防団員の方は小学生の時に社会科見学で、カッコいいお兄さんを見るきっかけがあり、一時期消防団員を目指した時期がありました。このご時世ですし、大変だと思いますが頑張ってください。そして、何かあった時よろしくお願いします。(20代 男性)
- ・ いつも町の安全のために尽くしてくださってありがとうございます。(50代 女性)
- ・ いつも都民、区民をの生活を支えていただき、ありがとうございます。(70歳以上 女性)
- ・ 日々の厳しい訓練に耐え、睡眠も犠牲にして都民の安全のために活動してくださっていることに感謝しています。(50代 女性)
- ・ 日頃の活動に感謝してます。大変な時期ではございますが都民の安全のため、ご活躍ください。(50代 女性)
- ・ これからも我々を見守ってください、よろしくお願いします。(60代 男性)
- ・ 最近、近所での火災か病人かわかりませんが、救急車や消防車を見かけることが多い気がします。大変なお仕事だと思っています。これからも大変だとは思いますが、体に気をつけて頑張ってください。(60代 女性)
- ・ 意見や提案ではないのですが、、いつも緊急時の対応・出動ありがとうございます。みなさまのお陰で安心して生活ができております。自分自身、もしもの時のために防災意識をより高めていきたいと思います。(20代 女性)
- ・ 皆さん命がけで大変だと思いますが頑張ってください。(30代 男性)
- ・ 東京都のように人口が多いと緊急時の交通渋滞等心配ですが、安心して生活できているのは、緊急事態の際に対応していただける機関があつて機能していることを感じているからだと思い

ます。いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。(40代 女性)

- ・ いつもありがとうございます。大変なお仕事ですが、よろしくお願いいたします。(50代 女性)
- ・ 都民のため、精神的、肉体的な負担をおかけしておりますが、いつも感謝しております。ありがとうございます。(70歳以上 男性)
- ・ 引き続きよろしくお願いいたします。(30代 女性)
- ・ 警察などに比べ消防隊の方はとても親切でいつも、感謝しています。ありがとうございます。(40代 女性)
- ・ これからも住民の安全を守ってください。(30代 男性)
- ・ 個人的として一度また実家の母親も複数回救急車のお世話になっており大変感謝いたしております。またこのマンションでも複数回ぼや騒ぎで消防出動がありまして、その際の消防士の皆さんの働きぶりを目の当たりにし感銘を受けました。(50代 男性)
- ・ 頑張っってらっしゃると思います。アナフィラキシーを起こした時、来ていただきましたが、大変助かりました。(60代 女性)
- ・ 子供のことで救急車を呼んだ時、夜中でしたがとても丁寧に対応していただき、ありがたかったです。(40代 女性)

■広報活動・情報提供などについて

- ・ もし火災が発生した時に、どうすれば火が周りに燃えうつらないのか、消火器が近くになかった場合などの場面ごとの対処法を教えてくださいと嬉しいです。そうすることで、火災が発生しても、すばやく対応することができ、パニックになって、手遅れにならなくて済むと思ったからです。(40代 女性)
- ・ 東京消防庁の広報課をラインや Facebook など、ソーシャルメディアにも広げて多くの方々が逃げ方や水を用意すること、防災の初歩など、本編よりもっと基本的に国民一人一人に広げる予防や防災の備えがまだまだあると思います。消防庁の努力の成果を期待します(60代 女性)
- ・ 警視庁の事件発生情報の配信メールのような、災害発生情報を地域指定で配信いただけると、防災意識の向上が期待できると思うので、システム化してほしいと思っています(70歳以上 男性)
- ・ 新聞に折り込みで配布されている広報は必ず見えています。これからも防火・防災の知識を発信してください。(50代 男性)
- ・ 消防というと「火災」を想定しますが、自然災害について、意識の向上に PR などをすすめてください。都市災害を具体的に例示して、都民に予備・意識の向上に、日頃から努めていただきたい。(50代 男性)
- ・ テレビや YouTube 等で、消防資産や救急隊の方々の活動内容や訓練の様子等をもっと知りたい。消防を他人事と思わないように、たくさんの人たちがイベントや講習等に参加していければよいと思う。(60代 女性)
- ・ もっと活躍ぶりをアピールしたほうがよい。(50代 女性)
- ・ 警察に関するテレビ番組はあつたりするのに、消防士さんに関するものってほとんど見たことがないような気がします。もっとメディアを上手く活用されてはいかがでしょうか。(40代 女性)
- ・ コロナ対策で東京都も大変だと思いますが、大地震についても、関東大震災から 100 年近く経っていますので、くれぐれも備蓄品や避難所などの整備と、住民・就学若人への情報提供を

報誌などで実行してください。情報提供が少なすぎです。尚、大地震など大災害の場合は、必ず皇居も市民のために解放して、人々の命を守って下さい。(50代 女性)

- ・サイレンが聞こえ、近所で何かあった時しかお見かけしません。子供たちが幼い時は、地元の小学校の活動で防災訓練に参加しましたが、子供も大学生になり、そういった機会がありません。もう少し身近に感じられれば、防災情報を得る事もでき、意識も高くなるのかなと思います。息子がYouTubeをよく見えています。若い子たちはもうあまりTVをみません。SNSまたはYouTubeです。そういった媒体へ啓蒙的なCMを流してみるのもよいかなと思います。(50代 女性)
- ・消防庁の尊いお仕事を、地域住民へ周知していただけたらと思います。(60代 男性)
- ・マスコットキャラクターがあまりかわいくない。ピーポくんのようにかわいいキャラクターかつ現代の流行を取り入れたデザインにすれば、幅広い年代から興味を持ってもらえると思います。現在のキャラクター名はもちろん、キャラクター自体、いままで知りませんでした。(30代 男性)
- ・近年台風や地震による被害が多く、心配に思う事が増えてきましたが、なかなか対策をどうしたらよいのか分かりません。YouTubeやTVなどのメディアコンテンツで情報を発信してもらえるとうよいかなと思います。(20代 女性)
- ・普段の活動をみんなに知らせてほしい。(50代 女性)
- ・消防の仕事をもっとアピールした方が良い(70歳以上 女性)
- ・都や区の公報を使って、太文字・小文字、図などで、インパクトがある宣伝をしてほしい。
#7119のシールがあれば、どこかに貼れる。(70歳以上 男性)
- ・消防庁の講義を依頼したことがあります。わかりやすく、とてもいいものでした。ネットでやっと探したのですが、もっとアピールし、いろいろな団体が利用できたらいいと思います。
(50代 女性)
- ・通勤時のホームで病気の方が出て、救急講習で学んだ事を実施する機会があったのだが、協力者が少なかったことに落胆した。もっと普及してほしいと感じております。日本は災害が多いわりには、東京に住んでいる人は、他人事、私は高齢者になり、なかなか人助けをやりたくてもできなくなってきてます。1人の力でなく、多くの方々の力がどんなに必要なかを考えさせるようにして頂きたい。お願い申し上げます。(60代 女性)
- ・救急相談センターのステッカーを、各家庭に配布して欲しい。(70歳以上 男性)
- ・救命講習の日時の告知方法(知らないまま終わっている場合が多い)。(60代 女性)
- ・若い人はYouTubeを結構見るといいますので、わかりやすい面白い動画を作って、周知させればよろしいかなと思います。(あるのかもしれませんが、私は知りませんでした)。(20代 男性)
- ・梅島の日光街道沿いの消防署で、よく訓練しているなあと思っていますが、何かのイベントなどで、もっとデモンストレーションして、子供達にも見せたら良いと思います。(60代 女性)
- ・高層階に住んでいるので、火災の時、どうやって避難するか心配です。ガイドなどがあるとうれしい。(60代 男性)
- ・キュータのキャラを今回初めて知りました。ワタリ119サンにコスプレしてもらい、知名度をあげてみてください。(40代 男性)
- ・#7119は知らない人も多いと思う。緊急の時は余裕がないから、迷うよりは119をかけてしまおうと思う。それに前に「#」がついているので、番号だけ覚えていても面倒だし、誰かに教

えようにも、どう表現したらいいか迷うと思う（シャープ??）。もう少し、誰でもわかるよう、もっと広報に力を入れるべきだと思う。この調査票も、突然届いて、サギじゃないかと、安易に回答していいものかと不安も感じました。（50代 女性）

- ・ 講習会の告知、SNSをもっと活用しては如何でしょうか？（50代 女性）
- ・ 近い将来、大地震が来るといわれています。とにかく火災が怖いです。火災が起きないように、いろいろなことを知りたいです。知識が少しでもあれば、皆で火災を防ぐことが出来ると思います。どうぞ、私たちに教えて下さい。よろしくお願いいたします。（50代 女性）
- ・ 個人の備えについて、「何をどのくらい、どこへ」備えれば良いのかを教えていただけると、安心できると思います。（30代 男性）
- ・ 危険物や消防設備士など、資格受講の（資料請求など）やりやすさを改善してほしい。（20代 女性）
- ・ 火災報知器の点検や交換などは、しらなかったり、忘れがちだったりするので、TVなどで啓発してほしい。（40代 女性）
- ・ 今、町会長ですが、地域の防災組織をどのように作ればいいのか苦慮しております。平日の日中に災害が発生した時の対応はどうするか、対応している地域の情報を提供願いたい。（60代 男性）
- ・ 防災の訓練が身近で行われていないと思う。やっていたとしても周知徹底されてなく一部の人のしか認知されていない。（40代 男性）
- ・ 緊急時の人工呼吸や AED の講習の"お知らせ"が欲しい。あるのが知っていれば、是非受講したい。（50代 男性）
- ・ 訓練の様子を一般公開してもらえるとよい。（40代 女性）
- ・ 定期的に防災や人命救助などの講習会のお知らせをメールか LINE でいただきたいです。（40代 女性）
- ・ 今以上の大規模地震の際の密集家屋の火災の可能性、危険性の周知。（40代 男性）
- ・ 初期消火の仕方をレクチャーして欲しい。（50代 女性）
- ・ たばこ、調理中などの失火など、周知に際しては既にご尽力いただき但てますが、今後も引き続き都民の方に対して注意喚起のご活動いただきますようよろしくお願いいたします。（30代 男性）
- ・ 大規模な火災や、地震、津波などに対して啓蒙活動をしてもらいたい。東京で起こったら、どうなるか、どう動くべきか。（70歳以上 男性）
- ・ 緊急時の対策冊子とかいただけると助かる。（20代 女性）
- ・ 地域の訓練を無料情報誌などに載せてほしい。（50代 女性）
- ・ 慌ただしく防災意識の回らない生活をしているので、自然災害への備えや火災防止や家庭で注意する点など情報発信をたくさんして下さると大変参考になります。（40代 女性）
- ・ YouTube を使って、個人や地域で出来る防災（火災、地震等）について紹介する動画を作成し、幅広い世代に対して、発信していただければと思います。（50代 男性）
- ・ 主な仕事である消防や救急に関しては特に言う事は無いですが、広報活動はもっと工夫しないと、一般の人に情報は届かないと思います。SNSなどで、時にジョークやタメ口なども織り交ぜて注目を引いて沢山の人に見てもらう工夫をしないと、広報活動の意味があまりありません。なるべく沢山人に伝えたい事を発信するべきで、消防博物館とかポスターなんかよりよっぽどお金をかけずに大勢の人に啓蒙出来ると思います。公務員だと前例にならった事ばかりやりがちですが、柔軟に色々なアプローチを取り入れて下さい。失敗しても倒産することは無

いので、積極的にチャレンジして欲しいです。(30代 男性)

- ・ 定期的な知識を学べる情報発信（メルマガ）や東京都内で、日々どれくらいの火災、救急件数が発生しているかの数値的データを明らかにし注意喚起してほしい(40代 女性)
- ・ #7119は私の周りには承知している人が全くおりませんので、是非啓蒙活動をして頂き、#7119番電話をした方の安心と、救急車の出動回数を減らせる事ができたら双方にとって宜しいのではと思います。(70歳以上 女性)
- ・ 自主防災組織の育成、自分たちの街は自分たちで守るということが今後の同時多発災害に対して有効だと思います。育成促進をお願いいたします。(60代 男性)
- ・ 近年は自然災害が増えているのでその対策や避難についての啓蒙が更に必要なのではないのでしょうか。(50代 男性)
- ・ 大変かもしれませんが、冬場の火災予防で巡回しているのを見ると気をつけようと思うので、そういった活動を続けてほしいです。(30代 男性)
- ・ 家庭内の火災や地震に関して「別に良い」「邪魔だから」「使っていないから壊れてない」など防災意識が低い者への啓蒙・周知がどうにかならぬか考慮して頂ければ幸い。ルールや条例・規制という側面も含め。(30代 男性)
- ・ 色々と情報提供をお願い致します。(40代 男性)

■調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと

- ・ 防火意識や知識を高めなければと思いました。賃貸物件に住んでいるので、火事が起きた時に備えた防火訓練があったらいいなと思いました。(20代 女性)
- ・ この調査票により、自分が特に何もしていないことに改めて気づきました。(40代 女性)
- ・ 初めてアンケートに答え、「#7119」や消防団についてを初めて知った。消防訓練や応急手当は、企業（勤務先）や教習場で教わったり、体験した以外、普通の暮らしではなかなか体験する機会がないように思う。(30代 女性)
- ・ 今回調査対象となって、普段あまり考えていなかった防災や救助活動のことなど、いろいろ知る事ができ、意識するよい機会となった。あって当たり前と思われがち、しかし大事な仕事に敬意を表したい。救命講習、受けに行こうと思います。(50代 女性)
- ・ 今回アンケートで知らなかった事がいくつもある事を学びました。(70歳以上 男性)
- ・ 生後2カ月半の息子がいるので災害時にどのような対応すればよいのか分からないのが不安です。乳児の心肺蘇生法やAEDの使い方など。(30代 女性)
- ・ 大きな災害が近頃相次いでいます。自分でもしっかり身の周りのことに気をつけなければいけないと改めて思いました。(70歳以上 女性)
- ・ 元職場で自衛消防があることを初めて知りました。大会が開催され、意識が高まり、自分の職場に消火活動が率先してできる人達がいるのは安心です。(50代 女性)
- ・ 近くに防災センターがあるので、訪ねて、知識を高めたいと思います。(60代 女性)
- ・ 災害が増えている昨今、加えて今年は新型コロナウイルスの感染拡大で、救助活動においても苦労があるかと存じます。一都民としては、まず防災意識を高め、また、個人でもできる活動を、もっと積極的に取り組めるよう、努力したいと思います。(40代 男性)
- ・ AEDの使い方、負傷時の手当の仕方、今後学びたい。(40代 女性)
- ・ 東京消防庁に関して何も知らなかったことがよくわかりました。これから勉強させていただきます。ありがとうございました。(70歳以上 女性)
- ・ 時々、地震がありますが、家具の転倒防止をしないとと思いながら日々過ごしています。火災報

知機も設置はしているが、10年で変えないとダメなのだと知らされました。これからは防災訓練に年1回は参加して、学びたいと思います。(60代 女性)

- ・ 機会があれば救急講習に参加してみたいですが、どのように募集しているのかわからない。(60代 女性)
- ・ AEDの使い方は知りたいです。休みの日に近くで講習があれば、参加したいです。(40代 女性)
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。(40代 女性)
- ・ 今回のアンケートにより、防災館等に行き、体験したいです。(70歳以上 女性)
- ・ 消防団というものをこれを機に、存在を知ったけど、何をしているのか、どれくらい活動しているのか…。(20代 女性)
- ・ 実際に災害が起こると、消防関係の方の任務に感謝と敬意をしておりますが、このアンケートで、日常、いかに無関心であるか、気付かされました。家の中の防災をチェックしたいと思います。(70歳以上 女性)
- ・ なかなか積極的に参加はできませんがこれを機会に、地域の防災に関心を持つようにしようと思いました。(50代 女性)
- ・ 地域の消防に関わりたいが中々タイミングが合わない。子供達が手が離れたらもう少し積極的に参加したい。地域の仲間と参加したい。(40代 男性)
- ・ 応急処置の訓練はいつか受けたいと思いつつ、時間が取れないのとコロナで延び延びになっていましたが、このアンケートをきっかけに来年前半にはどこかで受けたいなと思います。(40代 女性)
- ・ 警備をする者として意識は高く持っているつもりでしたが、勤務先の事しか頭になく、自宅の報知器への意識は低かったと今回の調査で実感しました。テレビで消防の特集を組み報知器の点検について周知するのも良いと思いました。(20代 女性)
- ・ AEDの使い方など、とっさの時の救命にかかわる対応はぜひ知っておきたいものの、どこでどのように学べるのかを知る機会がありませんでした。ぜひ、そのような機会を多く設けていただきたいです。(30代 女性)
- ・ AEDなど命を救出できる、すべき状況で助けたい思いはあるが、やり方がわからず、訓練する機会を探せていないのが現状です。訓練が気軽に受けられる環境にあれば嬉しいです。(30代 男性)
- ・ アンケートを通して地震対策を見直すきっかけになって良かった。消防といっても救急・防災と命に関わる広い分野であることを改めて感じる事ができた。(40代 女性)
- ・ #7119について、恥ずかしながらこのアンケートで初めて知りました。アンケートが良い機会になりましたが、そういう知るきっかけをより与えてくれると助かります。(30代 男性)
- ・ アンケートを通じて、自分の災害に対する備えの無さを恥ずかしく思った。(50代 男性)
- ・ アンケートを受けて、自分の怠慢を思い知りました。つい最近救急車を呼ぶ機会がありましたが、119通報が適切でない事例だったと後で気付かされたこともあり、知っているようでも身につけていないことが多いと感じました。(40代 女性)
- ・ 人命救助の講習を受けられる場所が分からない。近隣で土日で開催していればぜひ行きたいです。(40代 女性)
- ・ 普段の生活の中では関わりが無いため、東京消防庁の役割についての認識が薄かったのですが、このアンケートによって、私たちが安心して暮らすためには重要な機関であると感じました。(60代 女性)

- ・あまり火災や災害について自分ごととして考えられていないので、改めて市民一人一人が意識を持ってできることをやるのが大切だと思いました。応急手当てなど勉強しておきます。(30代 女性)
- ・このアンケートで、具体的な活動を知ることができました。今後も、よろしくお願いします。(50代 女性)
- ・今回、色々知らなかったことを知ることができました。防災について、考えてみようと思います。(30代 女性)
- ・災害、火事、病気、怪我……。普通の生活であまり考えてなかったのですが、いつ、何か起こるかわかりません。私たちも安全、安心な暮らしを過ごせるよう、家の中でも気をつけたいと思います。(60代 女性)
- ・私たち市民が参加できる訓練がたくさんあると存じ上げませんでしたので、これから積極的な参加に努めたいです。(20代 女性)
- ・初めて知った事が多々ありました。これから勉強実践して行きたいと思います。(50代 男性)

■救急車の利用について

- ・少しの病気でむやみに119番を呼んだらダメだと思っている。(60代 女性)
- ・救急車を手配した時、搬送先が決定できなく、時間を要する事が多い。色々大変でしょうが、改善できる事からお願いします。(60代 男性)
- ・以前、119番に電話した時、事件ですか？事故ですか？と聞かれたが、腹痛で119番した為、返答にとまどってしまいました。出来れば言い方をもう少し工夫して頂ければと望みます。(60代 女性)
- ・何年前前にスタッフがケガをし、出血が多かったので救急119にTelしましたが、受け入れ病院を探すとTel口で20分くらい待たされました。その間に知人にTelをし、受け入れ病院を紹介してもらい、そちらに連れて行きました。救急にならないと思いました。(50代 女性)
- ・小学校で勤めています。児童に負荷試験で認められた量のアレルギー（牛乳）を摂って登校する子がおり、朝、喘鳴と呼吸の苦しさが出たため通報しましたが、いらした隊員の方にこの程度で呼ばないよう言われました。お忙しいのかとは思いますが、急変・重症化する可能性の高いものは対応していただければと思います。(30代 女性)
- ・15年位前、母が脳梗塞で倒れた時、二階でたまたまコンセントから煙が出ていたので、事情を話した上で119番に連絡したら、何台もの（7～8台）消防車が来てしまい、大変迷惑をしたことがあります。事情の考慮をしていただきたかったです。(70歳以上 男性)
- ・私個人としては、救急車を呼んだ時は料金をお支払いした方が良いと考えております。(60代 女性)
- ・夫婦は聴覚障害者で、まわりが何か起こるかわからない。何か（病気持ち）起きた時、救急車を呼べない。代わりに息子、娘、ケアマネージャーにメールしてお願いすることになってます。前ははじめて夫が体が動かないので、私は夫を着替えて玄関で待って、タクシーをよんで病院（東山）へ一緒に行きました。見てもらい、すぐ府中の大きな病院へタクシーで行き、脳いっ血の前でした。すぐ手術して日帰りでした。(70歳以上 女性)
- ・一つの事故で何台もの救急車が集まって来て下さるのは無駄かな？と思った事がありました。(70歳以上 女性)
- ・命に危険がない方、自力歩行可能者の救急車利用者は通報時に説明し、タクシー等の利用をすすめてはいかがでしょうか？(50代 男性)

- ・ 職場で救急車を依頼した時に大事には至らなかったのですが、もう少し早く来ていただきたい思いました。(50代 女性)
- ・ 119へ電話したことがあります、消防の方が来て対応した際に年齢まで聞く理由は何でしょうか。対面して対応したのに気分を害しました。(50代 女性)
- ・ 隊員の皆様が頑張っていることは承知していますが、病院への搬送時間を更に改善していただきたい。(60代 男性)
- ・ 以前祖母が呼吸がしづらくなり救急車を呼んで来て頂いたことがあります。その時は少し症状が和らいだ様で病院には搬送せず自宅で様子を見るという措置を取ったのですが、その後2時間程経った頃でしょうか？また呼吸が苦しいと言う事で救急車を呼ぶことになりました。その際に119に電話をかけオペレーターの方とお話したのですがまた再度1からの状況説明で少し面倒だなと感じました。また短時間で2度も来ていただくケースも稀だとは思いますが、このような場合現場の救急隊員の方から例えば臨時のお問い合わせ番号の様な物を決めて頂きその番号をオペレーターの方に伝えると先程の状況がすぐにわかりスムーズに進むのでは無いかと思いますがこの様な案はどうでしょうか？現在でも連絡からの救急車到着までは迅速に行われていると思いますがより早く正確に情報共有が出来るとさらに到着までの時間が短縮されるのでは無いかと思います。宜しくお願い致します。(20代 男性)
- ・ 救急車をタクシー代わりに使っている人もいるそうだが、悪質な場合は代金を徴収しても良いと思う。線引きが難しいのなら、すべて徴収しても良いのでは…。(70歳以上 女性)

■その他の要望など

- ・ 夜間、若者がたばこのポイ捨てや、数人で集ってたばこを吸い、そのままにしていることを何度か注意したが、なかなか聞いてくれず、火事や火災防止の巡回をしてほしい。(60代 女)
- ・ 夜中にサイレンを鳴らして住宅街に来られると…近所に知られたくないので、「鳴らさないで」と要求できるのか知りたい。(70歳以上 女性)
- ・ 日本人の伝統なのか、かしこまったイベントが多いように感じます。もっといろいろな施設や町単位の場所へ出向き、おもしろい講習を期待しています。(40代 男性)
- ・ 救命講習や防災に関する啓蒙活動を、さらに増やしていただき、地域の消防署と住民とのかかわりが増すとよいと思います。(50代 女性)
- ・ 私の住宅のある所は道路が狭くて、消防車が入ってこられないかもしれません。119番すると、消防自動車の大型が来ますが、軽自動車の消防自動車があれば、すぐに状況を把握できるのではないのでしょうか？(60代 女性)
- ・ 訓練や講習を義務化してほしい。特に事業所等は、ビルが密集しているところに多いので、義務化することによらないと、都民の意識は向上しないと思う。(60代 女性)
- ・ 応急手当講習がもっと頻繁で、受けやすくなればよいと思いました。(40代 女性)
- ・ 年寄りが多くなりました。団地などは注意を呼びかけをお願いします。(70歳以上 女性)
- ・ マンション内では、一年に一回避難訓練をしていますが、もう少し具体的に消防署の方が加わって、指導を受けると、一人一人の意識が高まると思うのですが。(70歳以上 女性)
- ・ もっともっと身近に関わりがあると良いと思います。私たちの地域、まわりの地域を守ってください。※3.11の時、近隣の学校の門は閉ざされていた時に、老人が多い所は…と考えさせられました。こんな時、どこへ言えば…と不安に（揺れている時には判断できない…と）。(30代 女性)
- ・ 近隣に倒壊しそうな（半分している）古い民家や、木密地区があり、火災・倒壊などの危険を感じ

じています。何か策を打っていただければ幸いです。(50代 女性)

- ・ 消防署の近くなのですが、消防車、救急車の音が大きく、回数が多いので、もう少し小さくできないでしょうか？(70歳以上 男性)
- ・ 家の近くで2回出火したところがありました。アパートだったのですが、出火時間が午前9:30で、皆仕事に出かけていて、自室が空の状態でした。2階建ての上、下4部屋を焼いたのですが、消火が済んだ時に近くの消防隊の方に出火の様子を聞いてもどなたも返事なしでした。詳しい出火原因は言わなくてもよいのですが、出火時と日のまわり方の早さなどは教えてくれてもよかった。後日消防署の方が近所の様子をみ周りに来て、私の家の中の様子を消防署の立場からひとつひとつよい、よくないの指示をいただき、参考になりました。細かく家ごとに立ち入れないかもしれませんが、直接のご指導は大変よかったです。(70歳以上 女性)
- ・ 身体障害者の方々への配慮を、一層重視してください。よろしくお願いします。(20代 男性)
- ・ 現在昔と違って、家の中にはいろいろなものがあふれています。家電もたくさんあります。いつ火災が起きても不思議ではありません。家の中を整理、掃除して火災をおこさないように団員がいろいろなところで教育していただきたいと思います。(70歳以上 女性)
- ・ 住宅用火災報知機の設置を義務付けられたころのように、戸別訪問をしていただきたいと思います。コロナが終息してからでいいですけど…。(60代 女性)
- ・ 都会のマンションやアパートは、誰が、どんな方が住んでるかわからない恐怖があります。しかし災害はいつどんな形でくるかわからないので、地区ごとのコミュニティー強化など、年に1回は、何か集会的なこと、専門の方の指導が希望です。(60代 女性)
- ・ 防犯カメラ増設、夜間の照明増設→放火対策(70歳以上 男性)
- ・ ボヤでも沢山の消防車が集ってくることがありますが、火事の大小を見極められる方法があると良いと思います。むずかしいのですね。(70歳以上 男性)
- ・ 大地震、大火災に対する確実な対応をお願いします。(70歳以上 男性)
- ・ 地域の防災活動の充実(自主防災隊等)ができれば助かります。(40代 男性)
- ・ #7119の病院紹介は、〇個紹介します→全てにTEL(全て1から説明)→全て断られた→時間1h以上→体調が悪い中大変→諦めた→次の日入院→入院。※紹介ではなく、医療と連携し、すぐ対応してほしい。子供のことだったら、上記のような流れの中、パパ・ママはパニックになってしまうのでは…。(50代 女性)
- ・ 私は知的障害(2級)の子を持つ母です。心臓機能障害(3級)と現在コロナで職場を休ませています。私が仕事している間は自宅で留守番させています。災害等があった時は逃げたりする事はできません。こういった時に協力して下さる方がいると心強いです。福祉等と連携して頂けると助かります。(20代 女性)
- ・ もっと人員を増やして、1人1人の職員の方々の負担が少なくなればと思います。(40代 男性)
- ・ 現在は区営住宅に住んでいる(11/1新築)。区の65才以上の老人一人世帯が多いので、防災の話をして欲しい。体に障害のある人も多く済んでいる。消火器(軽量で小さいもの)が欲しい。(60代 女性)
- ・ 先日、渋谷で消防車が10台位出動していたので「何かありましたか」と消防の方に聞いたけど「さあボヤかな」と。もう少しわかりやすく説明してほしい。(70歳以上 男性)
- ・ 火災報知機が作動している建物が近所にあり、誰かが消防署に通報したのでしょうか。何台もの消防車がかけ付けてきました。その後、異常が見られなかったことのアナウンスが、消防隊の方からありました。まわりにある不安がこの時解消されたように思いました。今何が起きているの

か、これからどうなるのか、不安で見守っている所への“アナウンス”は大切な知る権利にもつながる重要な知らせです。大切な知らせは、アナウンスは、大きく拡声器を使って、今後とも適宜お願いしたいものです。(10代 男性)

- ・ もうすぐ発生する大地震の時に、特に都民の命を守る取組を行っていただきたいです。(60代 男性)
- ・ 以前住んでいた団地敷地内のうちの林の前に、帰宅したら無人の消防車が止まっていて、火災が起きたのか？うちが火事か？と驚いていたところに、消防の方が1人車に戻られました。その方に慌てて「火事ですか？」と聞いたら「いいえ」と一言だけ言って、また現場へ戻られた様子でしたが、そういう時は詳しく言えなくても、「大丈夫ですよ」とか「ご安心下さい」とかも一言つけ加えてほしかったです。(50代 女性)
- ・ 高齢者の災害時の移動や、避難所でのトイレやベットの環境を充実させてほしい。(60代 女性)
- ・ 町を歩いていると、時々（このお家は火事になったら大変）と思われるお宅が、少しですが、あります。消防署の方にも、そういったお家を見つけていただけたらと思います。(60代 女性)
- ・ 以前、他県の消防団に約3年在席していた経験があります。3年間で、火災、山林での行方不明者捜索、河川の氾濫被害等に出動しました。東京に転勤になり、地域のためになればと消防団に入団しました。入団後、操法大会がありましたが、現職がシフト勤務になったため、中々練習に参加できず、ある時、分団長から操法大会練習への参加を促されました。シフト勤務中であり、中々練習には参加できないと入団前に説明はしていたんですが、理解されていない様でした。東京の消防団と他県の消防団では、活動に乖離があり、自分の中で、この組織では災害時には役に立たないと思い、退団しました。この集団に予算を掛けても意味がない様に思います。2005年、他県での川の氾濫時には、自分を含め、多くの重機オペレーターが活動できました。今後も災害時など、必要であれば、資格を活かし、活動したいと思っています。操法大会等の活動には参加出来なくても、災害時派遣要員でも良いので、現消防団とは異なる組織運営設立はないのでしょうか？(50代 男性)
- ・ 中野区は古い区画整理されていない所が多く、火災時に消防車が入らないリスクがあると思います。区画整理を推進する必要があると思います。(60代 女性)
- ・ 職場で毎月避難訓練（火災、地震等）をしています。応急救護講習も定期的にやらないと、いざという時に自信を持って対応できないと思います。学童、放課後ひろばも、救命人間コースの対象になると嬉しいです。消防隊員の皆様が到着されるまでの処置が出来るよう、スキルアップしたいと思います。(50代 女性)
- ・ 地域内の公道幅に差があり、狭い所に限って駐車場として自宅と公道にはみ出して止めています。何事もないければそれに越した事はありませんが、救急車・消防車は車体が大きいので、ハンドルを何回か切らないと通れず、難しいです。この位大丈夫という気持ちでしょうが、違反です（迷惑しています）。一度視察して頂き、注意勧告してほしいです。※救急車が家の前に止める事ができず、違う公道に止めて来た事があります。(60代 女性)
- ・ 避難訓練は一度もやった事がありません。連絡もありません。私の自宅はゼロメートル地帯です。新中川の堤が決壊したら、何処に避難したら良いのでしょうか？ご指導ください。(70歳以上 男性)
- ・ 救急車や消防がサイレンを鳴らして走行していても、避けない、止まらない車（交差点など）が多いように思います。人間も横断歩道を我先にと渡っていて、腹立たしく感じるがあります。小さい頃からの教育（何よりも親からの教育）が大事であると思います。すでに行われてい

るのかも知れませんが、TVCM、TV 番組などにおいて、広く周知させる方法はないのかと思います。23 区内において、高齢者中心の町会等ではなく、多くの住民が参加するような、避難訓練、救急講習などがあると良いなと思います。(60 代 女性)

- ・ 救急車や消防車の車体幅をもう少し細くしてほしい(車のとなりを通る時、たまにぶつかりそうで怖い)。極力、裏道は通らないでほしい(すれちがいににくい時に怖い)。(20 代 男性)
- ・ 保育園に勤務しています。保育園に来ていただいたり、消防署に行ってお話していただきたいです(子どもたちに)。(40 代 女性)
- ・ 制度としては未来もこれからの世の中に合わせて変革して、よりよいものにして欲しいです。(60 代 女性)
- ・ 走行中、車中にいる方などに、遠くからでも聞こえる様に。拡声していても早口だと、全く何をいっているか判らないです。(40 代 女性)
- ・ 自宅に寝たきりの高齢者が居ります。居住は2階なので、地震や火災の時に運び出す術を教えて欲しい。有料でも良いので、講習やグッズなどあれば揃えたい。(40 代 女性)
- ・ 更なる地域との関わりをお願いいたします。(60 代 女性)
- ・ 防災の学習や体験の場は、大人はもちろんですが、子供も気軽なゲーム感覚のイベントなどがあると良い。小さいうちから繰り返し参加することで、積極的な行動や、協力する意識が身に付くのではないのでしょうか。いかに繰り返し体験するかが、大事なことと思います。隊員さんの苦勞話や工夫していることなどのお話も、興味深いと思います。(70 歳以上 女性)
- ・ 温暖化に伴って、自然災害の多発が予想されます。又、感染症など未知の疫病も考えられ、今後、消防関係の一層の充実をお願いします。(40 代 男性)
- ・ 人材を集めるため、パレード、ポスター、動画、SNS の活用(東京消防庁を海外にもアピール)。軽トラの消防車、バイク隊など(細い道に対応。山内、離島など)。ロボット、AI の活用。ケーブル、MX テレビの活用。署長様など、地元の集会に参加してほしい。各自治体の広報と広報課のつながり強化と、イベントに各自治体の長を呼び、又は東京消防庁の職員の方に参加していただきたい(予算、人材のため)。コロナの対応、ありがとうございます。(60 代 男性)
- ・ 以前、救急車が一方通行路真ん中に止まり、通行の妨げになっていた。隣に広い駐車場があり、ちょっと横によけてくれればと思った。いくら救急でも、少しの配慮がほしかった。一方通行では戻ることもできない。少し寄ってほしいと頼んだら、待っていると言われた。みんなそんな行動しているのでしょうか。(50 代 女性)
- ・ 自分もいろいろ学びたいのですが、なかなか時間が取れず、できません。職場とかで講習してほしいと思います。(50 代 女性)
- ・ 消防団をきちんと指導してください。特に、つどいの森公園を倉庫にしている方々。(50 代 女性)
- ・ 救急車や消防車などの車両は、小型化するのは難しいのでしょうか。(30 代 男性)
- ・ #7119 に自分で電話をして助けを求めたことがあります。はげしい頭痛の中、懸命に話したのですが「何いつてんのかわかんねー」とおじさんの声で吐きすてられ、私は電話をあきらめました。イタズラと思われたのかは分かりません。このことがトラウマで二度と救命センターを信じていない、電話はしないと決めました。当時、このことを公に相談するところが分からず、周りに話すにとどめました。テキトーな人が働いているのか、そもそも質が悪いのか、救われる者が救われない。119 の負担を減らすための#7119なのに意味がないと思います。(40 代 女性)
- ・ 1 人暮らしの老人で、身体が思うように動かないので、大きな地震や近所での火災や台風やゲリラ豪雨の時に、声がけ巡回を、役所の方と相談して行って欲しい。(70 歳以上 女性)

- ・ 救命救急、救急車の適切な依頼等の学習の必要性を感じているが、なかなか機会に出会えない参加できる機会を増やしてほしい。(60代 女性)
- ・ 以前消防庁のイベントで子供と一緒にはしご車に乗せて頂く機会があり、非常に貴重な体験となりました。コロナが収束しましたら是非開催していただきたいと思います。(40代 男性)
- ・ 消防庁の仕事は、多岐にわたり重要な仕事。私たちも協力出来るように、地域住民の防災知識、意識の向上、協力意識の向上のための教育活動に期待します。(60代 女性)
- ・ 避難所をよりわかりやすく 23 区全体で区分してほしい。台風の時どこに避難すればよいか判断できなかった。(30代 女性)
- ・ 自動車教習所などで、緊急走行車両がきた場合の対応実地訓練などがあれば、迅速に行動できるのではないかと考えることがあります。不要不急の 119 番通報や誤報などについては罰則などを適用する案が出された場合賛成いたします。(40代 男性)
- ・ 臨港消防署を見学できるようにお願いします。(70 歳以上 男性)
- ・ 一般救命講習等の遠隔開催 (60代 男性)
- ・ 周りが狭い道なので、小さい救急車や消防車があれば良い。(50代 男性)
- ・ 災害に強い街づくりをお願いいたします。地元の消防団には以前から興味があり資格(条件)があれば参加したいと考えています。(50代 男性)
- ・ 日常の地道な業務を確実に進めてください。(50代 女性)
- ・ 消防署や設備機材の更新と職員の待遇改善に力を入れて欲しいです。(40代 男性)
- ・ 消防署が近いため、深夜でもよく救急車のサイレンと消防署の方の声で、睡眠しているが起きてしまうことがあります。かなりアナウンスやサイレンの音が大きく感じます。引っ越しも考える程度です。仕方のないことかもしれませんが、どうにかならないでしょうか？(40代 女性)
- ・ 講習活動など、コロナが終息したら、ぜひ頻繁に実施してほしいです。参加したことはありますが、やはり忘れてしまいますので。(50代 男性)
- ・ 今は、難しいですが、これから防災、消防、救助の訓練を増やして欲しいと思います。(50代 女性)
- ・ 地域の消防署の活動など地域とより密接に親しみがわくようになることを望みます。消防士と会話する機会があれば、より地域住民の防災に関心が持てると思います。 コロナ禍が収まれば 盆踊りなどの行事は絶好のふれあいの場です。とくに小学生と。(70 歳以上 女性)
- ・ まずは こんな時にも救急・災害対応をしていただいてありがとうございます。感謝いたします。提案としては、火災時 過剰に消防車が集まりすぎるので改善してほしいということです。交通的にも迷惑で古いディーゼル車が多いため排ガスの匂いがひどい。あと他の地域に火災があったら即応できないと思います。(60代 男性)
- ・ 消防にラッパ隊は必要なのか？戸建で警報器はお風呂の蒸気で簡単になってしまうので止めている家も多いと思う。そこを改善しない限り普及はしない。(30代 女性)
- ・ 災害訓練、救護訓練ができるイベントをたくさん行っていただきたい。(30代 男性)
- ・ 救命救急士がもう少し自律的に動けるように、さらに質の高い訓練と教育を行って欲しい。また現在東京にはドクターヘリが飛んでいないが近く計画して運用が開始されますが、大規模災害時には都内の救急医療は道路が寸断され十分に行われない可能性が大きく、ドクターヘリが立川に駐機では都内の運用が不十分であり、役に立たない可能性が大きい。東京消防もロンドンのような小型ヘリの運用を考えて欲しい。都内のビルにはヘリポートもあり、災害時には道路封鎖をするので小型ヘリなら着陸は可能です。認定 NPO 法人 救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net) の理事をしています。現在の都庁の福祉保健局、救急医療課は大規模災害のシミュレーションも十

分とは言えず、当事者意識に極めて乏しい。やはり災害時はメディカルコントロール下ではない自律的運用が DMAT 以外の消防隊員にも求められると考えています。(60 代 男性)

- ・ 消防庁が、AED を色々な所に設置して欲しい。民間や公官庁任せだと、ある所とない所の差が激しいので。(50 代 男性)

■調査内容、方法に関する意見

- ・ インターネットでの回答を進めていましたが、動作が悪く（次へボタンを押下しても、次画面が表示されない）、紙での回答となりました。(50 代 男性)
- ・ 防災について考える機会をいただき、ありがとうございました。(30 代 女性)
- ・ 本調査が行われていることを知らず、怪しい書類と思いました。無記名、住所などの個人情報が不安のため、回答致します。(30 代 女性)
- ・ 提出期限前にこのような手紙が来た事は不愉快です。(70 歳以上 男性)
- ・ Q13 で、消防団の人は回答がどれも当てはまりません。(50 代 男性)
- ・ アンケートの強制は止めて欲しい。最後の質問と思いきや一問どころでは無いのなら最後の一問と言う表記は違う。(30 代 女性)

■その他

- ・ 寒くなり、火災が増えてきたように感じます。家と家が近いので、火災になった時の延焼が心配です。(50 代 女性)
- ・ 今までの人生で「119」の救急車は呼んだり、お世話になった事があるが、消防については、今まで関わった事が無い。(60 代 男性)
- ・ テレビで一戸建てが全焼し、命まで取られているニュースをよく見かけます。その引火原因、対策を知らないのですずっとマンションに住んでいます。一戸建てを買いたくても不安があります。(40 代 女性)
- ・ スプリンクラーが汚れていて拭きたいが、鳴ったり水が出たりすると怖いので触れていないが、そろそろ交換したいが、どこに連絡したらよいのかわからない。下記のアプリで検索したがゼロであった。(60 代 女性)
- ・ 66 才 1 人暮らしです。アパートの 2 階です。火事など、周囲から火災があった時、外階段 1 つなどで、逃げる事ができません。窓から飛び降りるしかないといつもいつも心配してる自分です。どうしたらよいのでしょうか？(60 代 女性)
- ・ 今年子供が生まれたばかりで、乳児を連れての防災に関して不安があります。(20 代 女性)
- ・ 災害時の避難所、場所（公園等）に対する対応を考えていますか？出勤する場合の道路の確保・規制（特に自家用車による道路封鎖等）大きな避難場所における大量の死者発生を見ている等の心配であればよいのですが。(70 歳以上 男性)
- ・ 私はマンションの管理理事をしております。古いマンション（築 30 年）なので、消防署又は、専門業者による点検で毎年莫大な費用で設備を更新しています。維持管理はかなり大変です。非常灯、消火器等は新調していますが、水道のポンプ更新までは手が回りません。消防署の言うことを 100%聞いていると、マンションの管理費(月 15000 円)を値上げするしかありません。難しい問題です。(70 歳以上 女性)
- ・ 烏山の子供祭りは参加しやすかった。(10 代 女性)
- ・ 出かけるので自宅からバス停に向かって歩いていた時、ご近所の家から煙が出て、火災報知機が鳴っていたので、119 に通報。駆けつけた消防隊員が私の両腕をつかみ、第一発見者が放火犯み

たいに扱われ、次に警察官も同様に腕をつかみ、119 番通報した状況を話すと、通報ありがとうとも言わず、解き放した。第一発見者としての通報は今後しない。(60 代 女性)

- ・ 仕事柄（研究開発）火事を含めて、災害がないようにつとめてきましたが、一度小規模の火事を会社で出しました（装置のインターロックですぐ水素が止まり、すぐ消えましたが）。その時、冷静に状況説明をすることができないんだと実感しました。火事を起こした方は冷静な対応ができないので、聞く側の冷静さが必要なんだろうと思います。(50 代 女性)
- ・ 現在 85 歳、マンション住まいです。防災についてはかなり整備されています。消防署との関係も、化学会社勤務でしたので、かなり熟知していました。この様な回答になり、申し訳なく思います。悪しからず。(70 歳以上 男性)
- ・ 身体の事で救急車を呼んだのに、消防車がいつしよに来ることがある。なぜだろう？と思うことがある。(70 歳以上 女性)
- ・ 最新型の車両を実際に見てみたい。(60 代 男性)
- ・ 山の火災が心配です。(70 歳以上 女性)
- ・ くりかえしがないと、せっかく学んでも忘れてしまうので、マンションの避難訓練を毎年やるのは大切だと思う。いつも来ていただき、ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 亡くなった義父が消防の職員でした。身近に感じていました。(60 代 男性)
- ・ 高齢者の運転、事故を無くしたいです。コロナ禍で家での飲酒飲食増えているが、コロナ収束後の火などの消し忘れが気がかりです。(70 歳以上 女性)
- ・ 以前うちのマンションで消防士の方が来て住民に講習をしてくれた。大変好評で特に女性たちは消防士が素敵だと大騒ぎだった。講習内容もよかったし、こういうのは消防士に対する敬意を醸成して有意義だと思いました。(70 歳以上 男性)
- ・ 直下型大地震 直後は消防、救急は機能しません。(60 代 男性)
- ・ 近所は空き地が多いのでどうしても不審火等起きないか不安になります。以前もちょっとしたボヤ騒ぎが有りましたが、消防車が何台も駆り出されて大騒ぎになりました。夜がやはり気持ち悪いと言うところでしょうか。(40 代 女性)
- ・ 予防課の対応が非常に横柄な消防署がある。(50 代 男性)
- ・ マンションに暮らしていますが、高齢化がすごい勢いで進んでいます。急病になったときの安否確認が課題となっておりますが、プライバシーの問題が壁になっています。なにか対策などはあるのでしょうか。(40 代 男性)